SONY

SONY VGC-LA 1 シリーズ

パーソナルコンピューター

VGC-LA 1シリーズ
取扱説明書

付属マニュアル一覧

取扱説明書類

はじめにお読みください

■ セットアップガイド

設置・接続からバイオを使うための準備までを、
イラストを見ながら知ることができます。

バイオを使う上での基本

■ 取扱説明書（本書）

・付属品を確認する
・準備をする
・インターネットやメールをする
・テレビ／ミュージック／フォト／DVDを楽しむ
・リカバリする
・トラブルの解決
・サービス・サポート情報を見る

バイオの画面で見るマニュアル

すべての情報を集約

■ バイオ電子マニュアル

バイオについてのすべての情報が記載されています。

➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

やりたいことからソフトウェアを選択

■ VAIOナビ

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
→［VAIOナビ］の順にクリックする。

本機に関する重要なお知らせ

■ 重要なお知らせ

バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
→［重要なお知らせ］の順にクリックする。

ソフトウェアの詳しい使いかたを説明

■ ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

➡各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

SONY

パーソナルコンピューター

VGC-LA 1シリーズ

Microsoft® Windows® XP Home Edition 搭載モデル

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
テレビ/ミュージック/フォト/DVD
増設/リカバリ
困ったときは/サービス・サポート
注意事項

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の仕様については、「主な仕様」（220ページ）をご確認ください。

ソニースタイルでご購入の場合は、お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載したラベルが同梱されていますので、そちらもあわせてご確認ください。

ヒント
このマニュアルで使われているイラストについて
このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

このマニュアルで表記されている名称について

- **メモリースティックスロット**
  “メモリースティック”を挿入するスロットのことです。
  マジックゲート対応モデルについては、MEMORY STICK（マジックゲート対応メモリースティック）スロットのことを指します。
- **DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）モデル**
  DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）が搭載されているモデルのことです。
- **デジタルテレビチューナー搭載モデル**
  デジタルテレビチューナーが搭載されているモデルのことです。
- **アナログテレビチューナー搭載モデル**
  アナログテレビチューナーが搭載されているモデルのことです。
- **ダブル録画対応モデル**
  アナログテレビチューナーが2つ搭載されているモデルのことです。
- **子画面表示機能モデル**
  Do VAIOのテレビ視聴機能に、子画面表示機能が付いているモデルのことです。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は「本機に付属されているソフトウェアを確認する」（224ページ）をご覧ください。
- **グラフィックス・メディア・アクセラレータモデルまたはグラフィックアクセラレータモデル**
  各項目で説明しているグラフィックス・メディア・アクセラレータまたはグラフィックアクセラレータが搭載されているモデルのことです。
- **モデム搭載モデル**
  モデムを搭載したモデルのことです。
- **ジョグコントローラー付属モデル**
  ジョグコントローラーが付属されているモデルのことです。

目次

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

テレビ／ミュージック／フォト／DVD

増設／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

注意事項

次ページに続く

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」の使いかたは次ページをご覧ください。

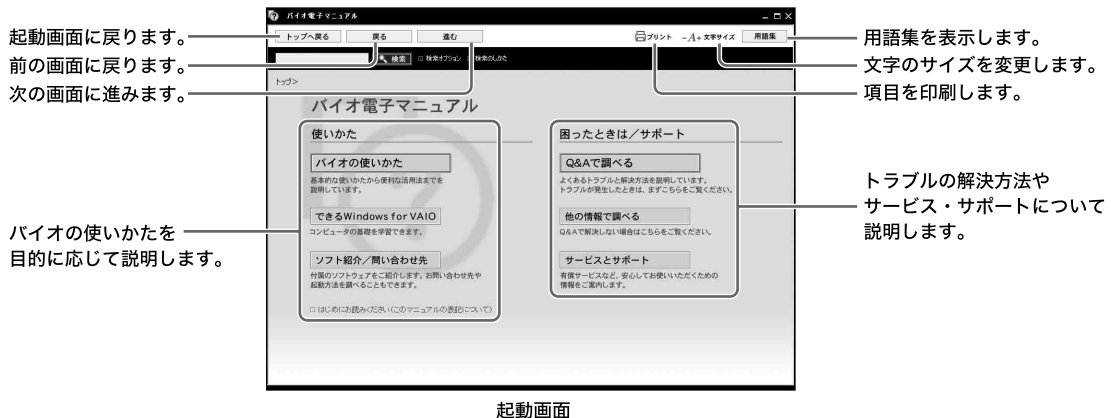
「バイオ電子マニュアル」の使いかた

「バイオ電子マニュアル」は、本機の使いかたや困ったときの解決方法などを画面上で調べることができる電子マニュアルです。

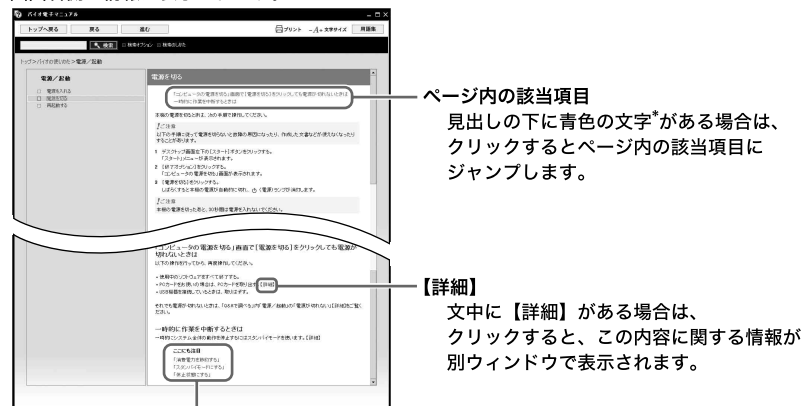
1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 見たい項目をクリックする。

画面の各項目の詳しい説明は、「「バイオ電子マニュアル」を見る」（185ページ）をご覧ください。

起動画面

例：電源の切りかたについて知りたいとき

起動画面の［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［電源／起動］→［電源を切る］の順にクリックする。

ここにも注目
ページの最後に「ここにも注目」が
ある場合は、青色の文字*をクリックすると、
このページに関連する情報のページを表示します。

* ポインタをあてると下線が引かれる文字

バイオ電子マニュアル　目次

バイオの使いかた

「バイオの使いかた」には以下の情報が収録されています。

機能／設定
- ■ 各部の説明
- ■ 設置／拡張
- ■ 電源／起動
- ■ 省電力
- ■ 画面／ディスプレイ
- ■ 音声
- ■ 文字入力／キーボード
- ■ マウス
- ■ リモコン
- ■ BIOS
- ■ ご注意／その他

楽しむ／保存する
- ■ Do VAIOで楽しむ
- ■ LifeFLOWで楽しむ
- ■ インスタントモードとは
- ■ テレビ／ビデオ
- ■ デジタル放送
- ■ 映像
- ■ 写真
- ■ 音楽
- ■ “メモリースティック”
- ■ その他のメモリーカード
- ■ フロッピーディスク
- ■ PCカード
- ■ ExpressCard
- ■ 内蔵カメラ（MOTION EYE）
- ■ FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）
- ■ CD／DVD

インターネット／ネットワーク
- ■ インターネット／電子メール
- ■ ネットワーク（LAN）
- ■ ワイヤレスLAN
- ■ i.LINK
- ■ USB
- ■ プリンタ
- ■ ドライバ

Q&Aで調べる

「Q&Aで調べる」には以下の情報が収録されています。

機能／設定
- ■ 電源／起動
- ■ パスワード
- ■ 画面／ディスプレイ
- ■ 音声
- ■ 文字入力／キーボード
- ■ マウス
- ■ リモコン
- ■ ハードディスク
- ■ ファン

- ■ リカバリ（再セットアップ）
  - ● リカバリについて
  - ● リカバリディスクを作成する
  - ● リカバリする
  - ● パーティションサイズを変更する

楽しむ／保存する
- ■ テレビ再生／録画
- ■ 外部機器からの録画
- ■ デジタル放送
- ■ CD／DVDディスク
  - ● CD／DVDの再生
  - ● CD／DVDの作成
- ■ LifeFLOW
- ■ “メモリースティック”
- ■ フロッピーディスク
- ■ PCカード
- ■ FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）
- ■ ExpressCard
- ■ 内蔵カメラ（MOTION EYE）
- ■ ソフトウェア

インターネット／ネットワーク
- ■ インターネット接続
  - ● ダイヤルアップ
  - ● ADSL
  - ● ネットワーク（LAN）
- ■ インターネット閲覧
- ■ 電子メール
- ■ ワイヤレスLAN
- ■ i.LINK／DV機器
- ■ プリンタ

その他
- ■ カスタマー登録
- ■ エラーメッセージ

できるWindows for VAIO

コンピュータの基礎を学習できます。

ソフト紹介／問い合わせ先

付属のソフトウェアを紹介します。
お問い合わせ先や起動方法を調べることもできます。

他の情報で調べる

Q&Aで解決しない場合にご覧ください。

サービスとサポート

有償サービスなど、安心してお使いいただく
ための情報をご案内します。

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-242N

電波法に基づく認証について

本製品内蔵のレシーバー、ワイヤレスLANカードおよび付属のキーボード、マウスは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品内蔵のレシーバー、ワイヤレスLANカードおよび付属のキーボード、マウスを分解／改造すること
- 本製品内蔵のレシーバー、ワイヤレスLANカードおよび付属のキーボード、マウスに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）について

キーボードに内蔵されているFeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
使用周波数は、13.56 MHz帯です。
キーボードに内蔵されているFeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）を分解、改造したり、型式番号を消すと、法律により罰せられることがあります。周囲で複数のリーダー/ライターをご使用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html
をご覧ください。

インスタントモードに関するお知らせ

インスタントモードをご使用いただく前に、必ず本機に付属の「インスタントモードソフトウェア使用許諾契約・GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ」をお読みください。
お客様によるインスタントモードの使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただいたものとします。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ
ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ
個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[ご注意／その他]→「その他」の[使用済みコンピュータの回収について]の順にクリックする。）

事業者のお客様へ
事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

アナログテレビ放送から、デジタルテレビ放送への移行について（アナログテレビチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

この説明書の説明図や画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

次ページからの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

→

1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜く
3. VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

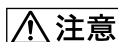
ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータ消去破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修または補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

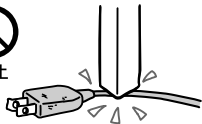
行為を指示する記号

指示

アース線を接続せよ

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いてください。

むやみに内部を開けない

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。
- メモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となることがあります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

落火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにテレホンコードやネットワークケーブル、アンテナ接続ケーブル、電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

本機のLANコネクタに下記のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

通電中のディスプレイ画面や通気孔に長時間触れない

通電中のディスプレイ画面や通気孔に長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因となることがあります。通電中のディスプレイ画面や通風孔には長時間触れないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させせるおそれがあり事故の原因となります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する

WLANスイッチを「OFF」に合わせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くに設置しない

WLANスイッチを「OFF」に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

WLANスイッチを「OFF」に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告
下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

禁止

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意
下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

オプティカルマウス底面の赤い光を直接見ない

注意

マウス底面から発せられている赤い光を直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。

接続するときは電源を切る

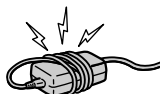
注意

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続コードを使う

注意

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

禁止
断線の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

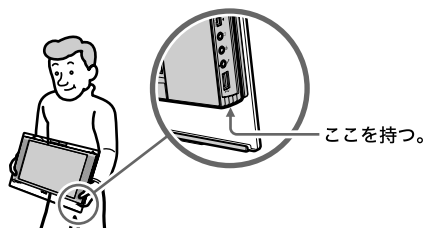
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

安定した場所に置く

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

コンピュータを運搬するときは、本体部分の下部を左右から持ち、安定した姿勢で運んでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。また、本体を設置する際、指などを挟まないようにご注意ください。

本機の上に乗らない、重い物を乗せない

禁止

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させる時は電源コードや接続コードを抜く

注意

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

注意

- コネクタ(接続端子)の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となります。

製品の設置や移動時に机の上でずらさない

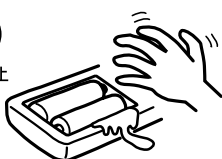
注意

コンピュータを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

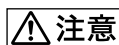
必ず次の処理をする

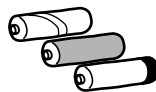
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

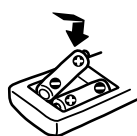
電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

注意

市販のアルカリまたはマンガン電池(単三形)以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

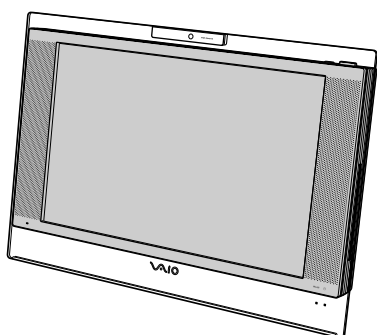
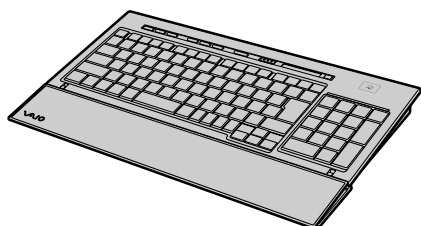
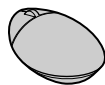
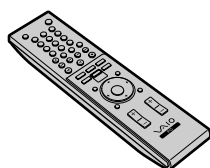
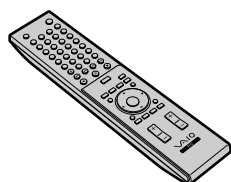
使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

はじめに

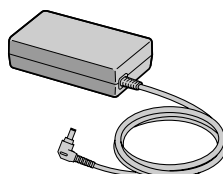
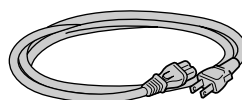
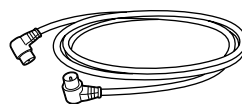
付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

❑ コンピュータ本体

❑ ワイヤレスキーボード
以下「キーボード」と略します。

❑ ワイヤレスマウス
以下「マウス」と略します。

❑ リモコン
アナログテレビチューナー搭載モデル（RM-VC10）

デジタルテレビチューナー搭載モデル（RM-DTU2M）

❑ 単3形乾電池

- キーボード・マウス用アルカリ乾電池（6）
- リモコン用マンガン乾電池（2）

❑ 8cmディスクアダプター

❑ ACアダプタ

❑ 電源コード

❑ アンテナ接続ケーブル

❑ B-CASカード
（デジタルテレビチューナー搭載モデル）

説明書・その他

- ❑ 取扱説明書（本書）
- ❑ デジタル放送取扱説明書（デジタルテレビチューナー搭載モデル）
- ❑ セットアップガイド
- ❑ 保証書
- ❑ VAIOカルテ
- ❑ インスタントモードソフトウェア使用許諾契約・GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ（アナログテレビチューナー搭載モデル）
- ❑ ご注意・お知らせ

  本機に関する大切な情報が記載された紙が付属している場合があります。必ずご覧ください。
- ❑ その他のパンフレット類

  大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。
- ❑ 「Microsoft® Office Personal Edition 2003*」プレインストールパッケージ CD-ROMまたは「Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003*」プレインストールパッケージ CD-ROM

  （「Microsoft Office」ソフトウェアプリインストールモデルに付属）

  お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」（208ページ）をご覧ください。

  * この説明書では以降、「Microsoft Office」または「Office Personal 2003」または「Office Personal Enterprise 2003」と略します。

  特に必要な場合は正式名称を記載します。
- ❑ VAIOでビデオ編集をはじめよう CD-ROM

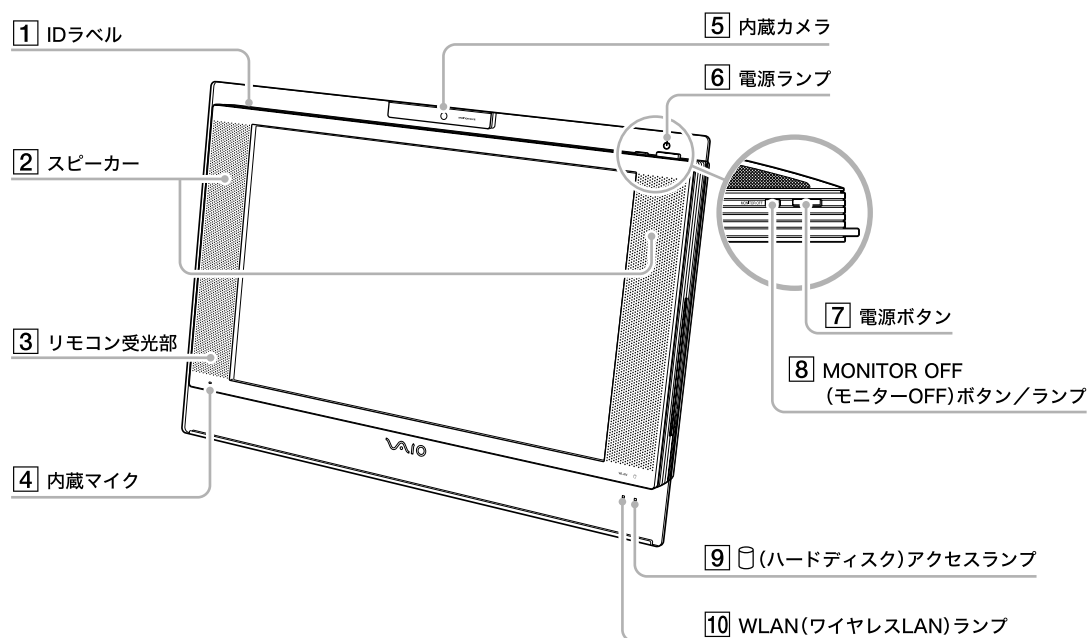
  （「Adobe® Premiere® Elements® 2.0 日本語版」プリインストールモデルに付属）

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（205ページ）をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。詳しくは、「リカバリについて」（140ページ）をご覧ください。

各部の説明

ここでは、本機の各部の説明を行います。詳しい説明については、(　　)内のページおよび「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[各部の説明]の順にクリックする。)

前面

1 IDラベル
型名が記載されています。

2 スピーカー
音楽CDやDVD再生時に音が出ます。

3 リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

4 内蔵マイク
テレビ電話を楽しむときに利用します。

5 内蔵カメラ
テレビ電話を楽しむときに利用します。

6 電源ランプ(58ページ)
本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。スタンバイモード(60ページ)時には、オレンジ色に点灯します。

7 電源ボタン(58ページ)
本機の電源を入／切するときに押します。
本機の動作中にこのボタンを押すと休止状態(60ページ)に入ります。

8 MONITOR OFF(モニターOFF)ボタン／ランプ
ディスプレイのバックライトや音声を消したいときに押します。MONITOR OFF(モニターOFF)ボタンを押すと、MONITOR OFF(モニターOFF)ランプがオレンジ色に点灯します。
就寝中に録画するときなどに使用します。

ヒント
MONITOR OFF(モニターOFF)ボタンを押したときに音声を消したくない場合は、「Monitor off ボタン設定」画面の設定を変更してください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[画面／ディスプレイ]→[設定]→[MONITOR OFF(モニターOFF)ボタンの設定を変更する]の順にクリックする。)

ご注意
MONITOR OFF(モニターOFF)ボタンを押した状態にするとディスプレイのバックライトは消えますが、画面表示自体は消えないので、明るいところではうっすらと画面が見えます。

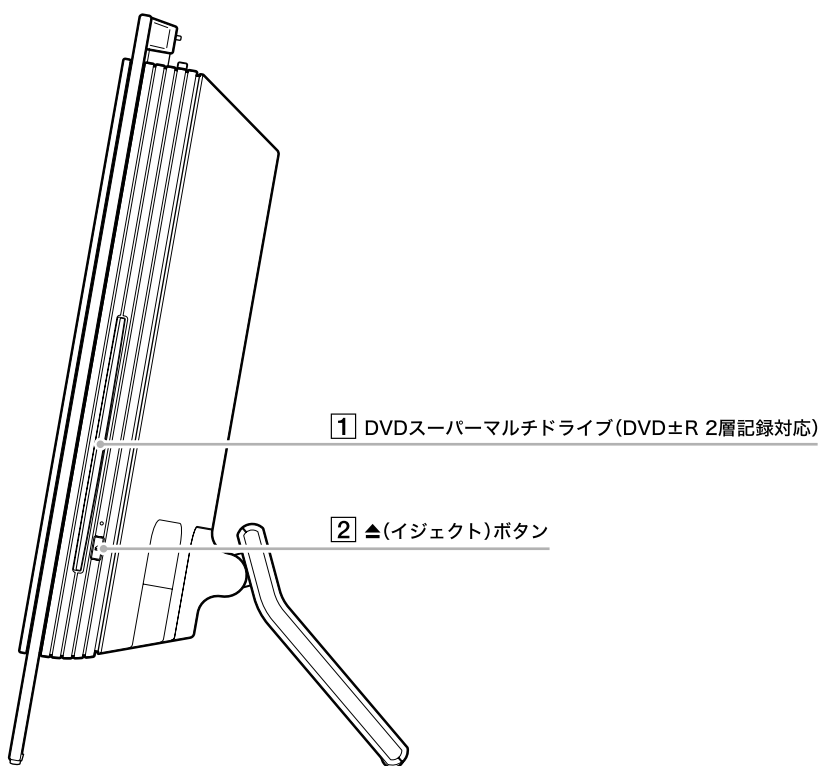
9 (ハードディスク)アクセスランプ
ハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

10 WLAN(ワイヤレスLAN)ランプ
ワイヤレスLANが使える状態のとき、緑色に点灯します。

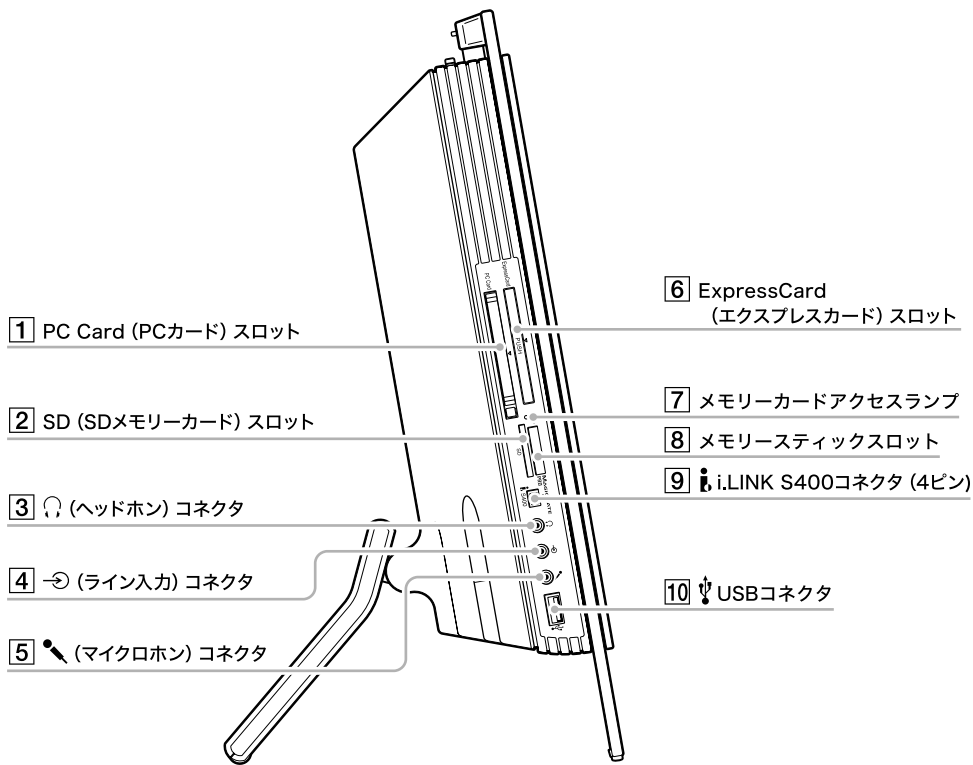
!ご注意

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 電源ランプ、(ハードディスク)アクセスランプ、WLAN(ワイヤレスLAN)ランプの明るさは以下の場合に自動的に制御されます。
  - 特定のソフトウェアが最大化もしくは全画面表示した場合。
  - MONITOR OFF(モニターOFF)ボタンを有効にした場合。

  自動制御の方法は、[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[バイオの設定]をクリックすると表示される「バイオの設定」画面の「ランプ明るさ設定」で変更できます。

右側面

1 **DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)**
CDやDVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします。(226ページ)
以降、ドライブと略します。
ドライブには、ディスクアクセスランプがあります。

2 **⏏(イジェクト)ボタン**
ドライブからディスクを取り出すときに押します。

左側面

1 PC Card(PC**カード)スロット**
PCカードを取り付けます。

2 SD(SD**メモリーカード)スロット**
SDメモリーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

3 **(ヘッドホン)コネクタ**
市販のヘッドホンをつなぎます。

4 **(ライン入力)コネクタ**
オーディオ機器の出力コネクタとつなぎます。

5 **(マイクロホン)コネクタ**
市販のステレオマイクをつなぎます。

6 ExpressCard**(エクスプレスカード)スロット**
ExpressCardを取り付けます。

7 **メモリーカードアクセスランプ**
"メモリースティック"やSDメモリーカードのデータを読み出したり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

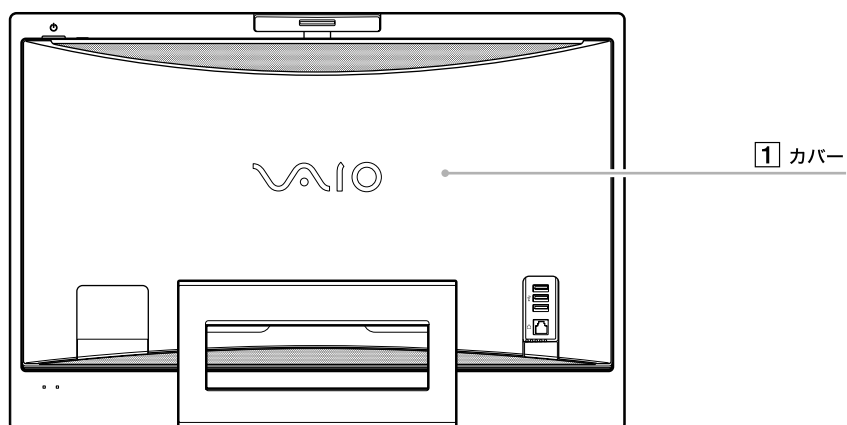
8 **メモリースティックスロット**
"メモリースティック"のデータを読み込んだり、書き込んだりします。

ヒント
本機のメモリースティックスロットは、メモリースティック デュオ アダプターを使用せずに、"メモリースティック デュオ"をそのまま使えます。

9 i.LINK S400**コネクタ(**4**ピン)**
i.LINK対応機器をつなぎます。

10 USB**コネクタ**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

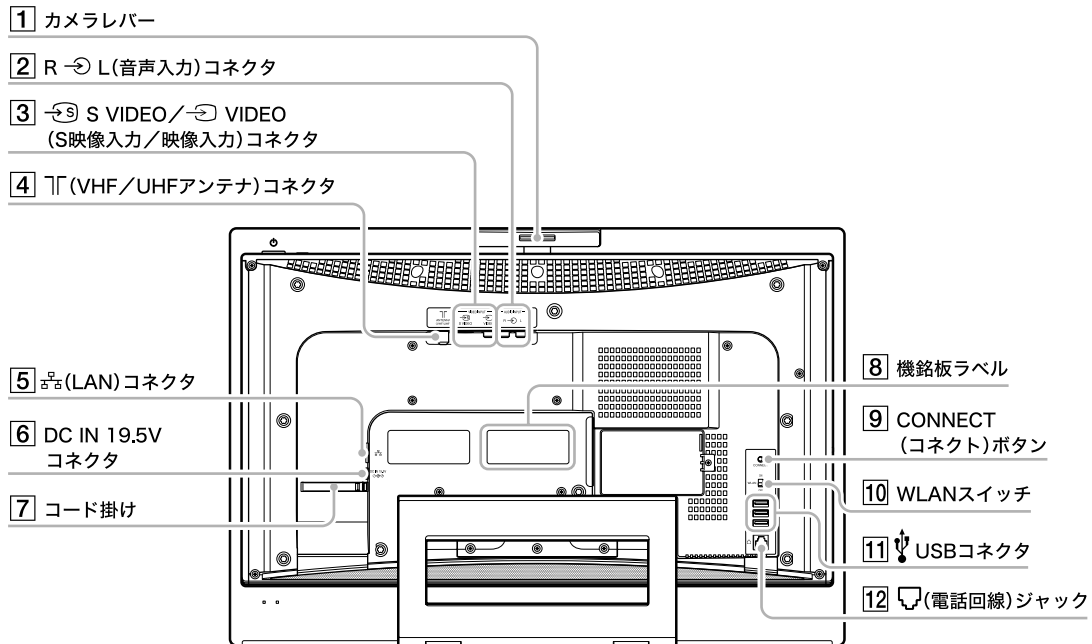
ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

後面

1 **カバー**

後面から配線されるケーブルなどを覆います。

!ご注意

電源を入れているときは、必ずカバーを取り付けてからご使用ください。

アナログテレビチューナー搭載モデル

1 **カメラレバー**
内蔵カメラの向きを上下に動かします。

2 **R ⊸ L（音声入力）コネクタ**
ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの音声出力コネクタとつなぎます。

3 **S VIDEO／VIDEO（S映像入力／映像入力）コネクタ**
- S VIDEO（S映像入力）：
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどのS映像出力コネクタとつなぎます。VIDEOコネクタから入力された映像に比べ、よりきれいな映像を本機で見たり録画することができます。
- VIDEO（映像入力）：
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの映像出力コネクタとつなぎます。映像を本機で見たり録画するときに使います。

4 **（VHF／UHFアンテナ）コネクタ**
アンテナをつなぎます。

5 **（LAN）コネクタ（50ページ）**
ネットワーク（LAN）とつなぎます。

6 **DC IN 19.5 Vコネクタ**
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

7 **コード掛け**
テレビアンテナやネットワーク（LAN）ケーブル、ACアダプタのケーブルなどを配線するときに使用します。

8 **機銘板ラベル**
型名などが記載されています。

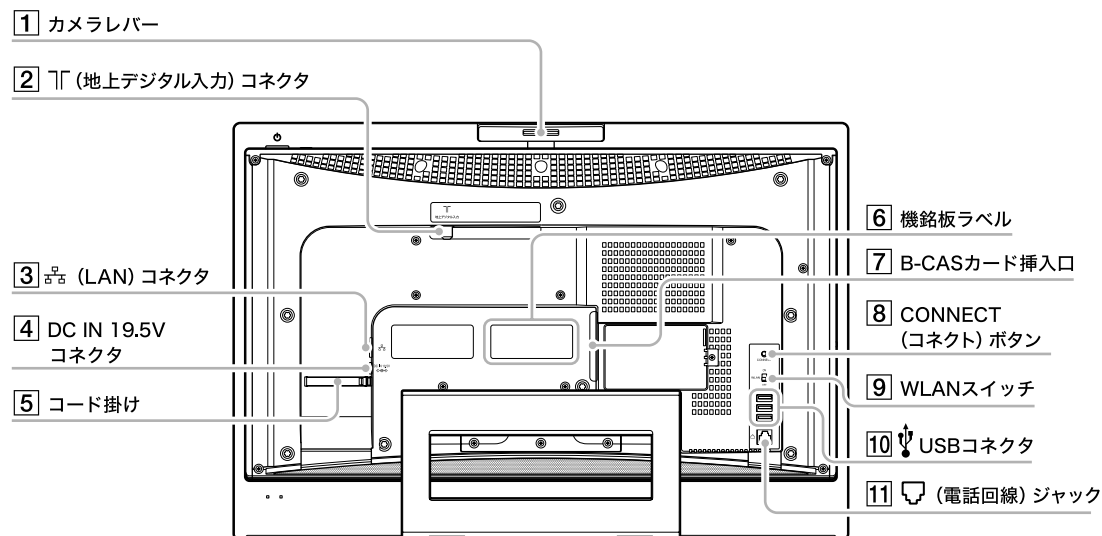
9 **CONNECT（コネクト）ボタン**
付属のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスを本体に認識させるために使用します。

10 **WLANスイッチ**
ワイヤレスLANのオン／オフを切り換えます。

11 **USBコネクタ**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格（High-speed/Full-speed/Low-speed）に対応しています。
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

12 **（電話回線）ジャック（48ページ）**
壁の電話回線とつなぎます。

デジタルテレビチューナー搭載モデル

1 カメラレバー
内蔵カメラの向きを上下に動かします。

2 ╥(地上デジタル入力)コネクタ
地上デジタル放送のアンテナをつなぎます。

3 (LAN)コネクタ(50ページ)
ネットワーク(LAN)とつなぎます。

4 DC IN 19.5 Vコネクタ
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

5 コード掛け
テレビアンテナやネットワーク(LAN)ケーブル、ACアダプタのケーブルなどを配線するときに使用します。

6 機銘板ラベル
型名などが記載されています。

7 B-CASカード挿入口
B-CASカードを抜き差しします。

8 CONNECT(コネクト)ボタン
付属のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスを本体に認識させるために使用します。

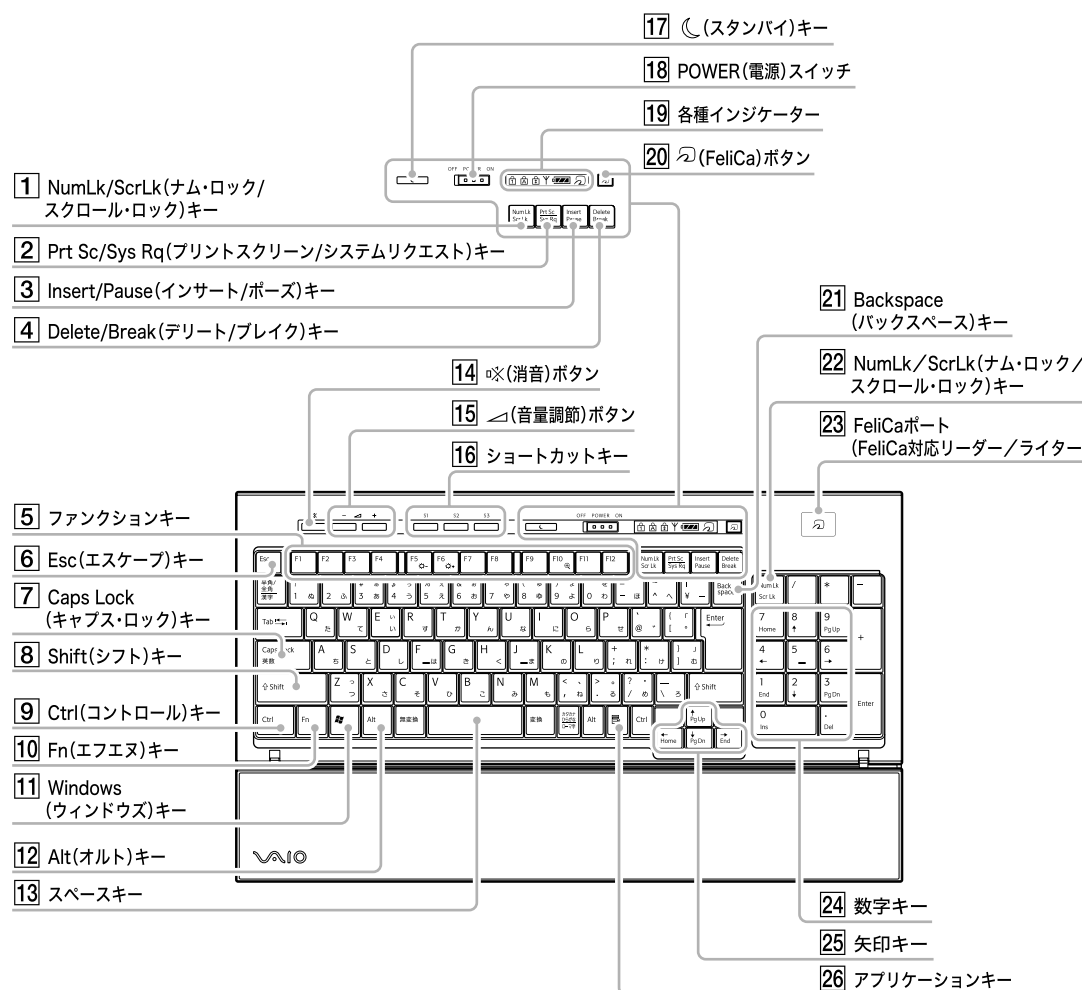
9 WLANスイッチ
ワイヤレスLANのオン／オフを切り換えます。

10 USBコネクタ
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

11 (電話回線)ジャック(48ページ)
壁の電話回線とつなぎます。

キーボードの各部名称

表面

1 NumLk/ScrLk(ナム・ロック/スクロール・ロック)キー

このキーが押されて有効になっているときは、24の数字キーで数字が入力できます。

2 Prt Sc/Sys Rq(プリントスクリーン/システムリクエスト)キー

デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

3 Insert/Pause(インサート/ポーズ)キー

文字を挿入するか、上書きするかを切り換えます。

4 Delete/Break(デリート/ブレイク)キー

画面のカーソル上の文字を消すときに押します。

5 ファンクションキー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。

6 Esc(エスケープ)キー

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

7 Caps Lock(キャプス・ロック)キー

Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押してCaps Lock(キャプス・ロック)が有効になっているときはアルファベットの大文字が入力できます。

8 Shift(シフト)キー

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

9 Ctrl(コントロール)キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

10 Fn(エフエヌ)キー

キーボード上で青字で表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

11 **Windows（ウィンドウズ）キー**
Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

12 **Alt（オルト）キー**
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

13 **スペースキー**
文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

14 **（消音）ボタン**
音を消すときに押します。

15 **（音量調節）ボタン**
音量を調節するときに押します。

16 **ショートカットキー**
これらのキーを押すだけで、好みのソフトウェアなどを起動します。

17 **（スタンバイ）キー**
本機の電源が入っているときに押すと、スタンバイモードに切り換わります。

18 **POWER（電源）スイッチ**
キーボードの電源を入／切します。
長時間使用しないときは「OFF」にすることをおすすめします。

19 **各種インジケーター**

- （バッテリー）インジケーター
キーボードの乾電池の残量が充分な場合は が、残り少ない場合は が表示されます。

ご注意
乾電池の残量が少ないときにFeliCaを使用すると が点滅します。 が点滅したときは、FeliCa動作が不安定になることがありますので、乾電池を交換してください。

- Num Lock（ナム・ロック）インジケーター
Num Lock（ナム・ロック）が有効になっている場合に表示されます。

- Caps Lock（キャプス・ロック）インジケーター
Caps Lock（キャプス・ロック）が有効になっている場合に表示されます。

- Scroll Lock（スクロール・ロック）インジケーター
Scroll Lock（スクロール・ロック）が有効になっている場合に表示されます。

- （コネクト）インジケーター
キーボードは が表示されているときに使用できます。
が消えているときは、コネクトが切れている状態です。

- （FeliCa）インジケーター
キーボード側のFeliCaポートの準備が完了している場合に表示されます。

ヒント
（FeliCa）ボタンを押してから2分で（FeliCa）インジケーターは消えます。また、ポーリング中は点滅します。カードとの通信中は点滅が早くなります。

ご注意
20分間以上キーボードで操作しないと、インジケーターの表示が消えます。この場合、キーボードと本体のコネクトが切れていることがあるので、Fn（エフエヌ）キーを押し、（コネクト）インジケーターが表示されていることを確認してから使用してください。

20 **（FeliCa）ボタン**
FeliCa対応のカードなどを使うときに押します。

21 **Backspace（バックスペース）キー**
画面上のカーソルの左の文字を消すときに押します。

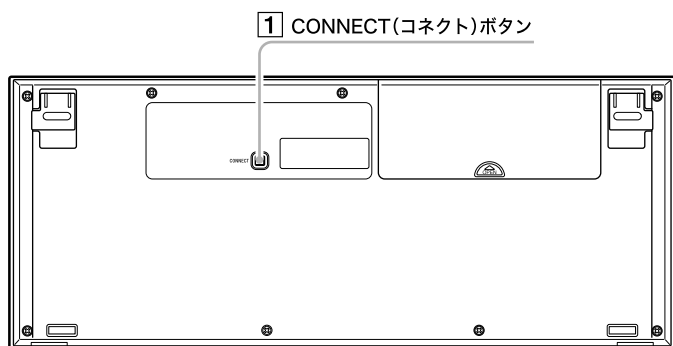
22 **NumLk／ScrLk（ナム・ロック／スクロール・ロック）キー**
このキーが押されて有効になっているときは、24の数字キーで数字が入力できます。

23 **FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）**
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

24 **数字キー**
NumLk／ScrLk（ナム・ロック／スクロール・ロック）キーを押し、Num Lock（ナム・ロック）が有効になっている状態のときは、数字を入力できます。

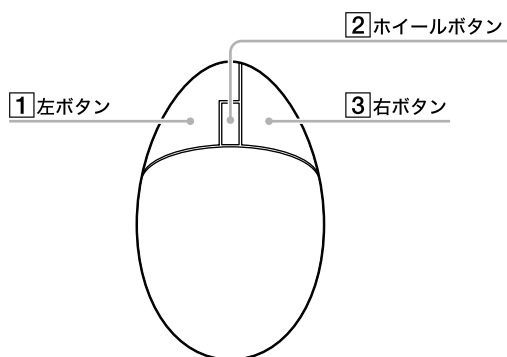
25 **矢印キー**
画面上のカーソルを動かします。

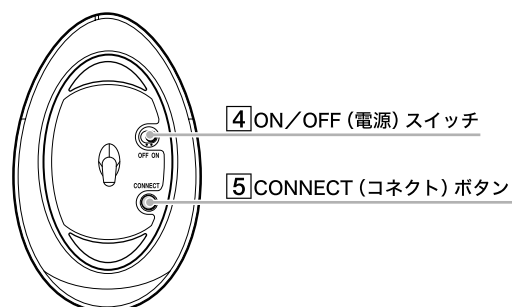
26 **アプリケーションキー**
マウスで右ボタンを押したときと同じ働きをします。

裏面

1 **CONNECT(コネクト)ボタン**
キーボードを本機に認識させるために使用します。

マウスの各部名称

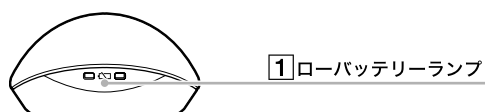
表面

裏面

1 **左ボタン(61ページ)**
文書や画像、ソフトウェアなどを選んだりするときに押します。マウスを使うときは、主にこのボタンを使います。

2 **ホイールボタン**
ウィンドウのスクロールをするときなどに、このボタンを使うと、左ボタンを使うよりも楽に操作できます。
また、ホイールをクリックするとオートスクロール機能を使うことができます。

3 **右ボタン**
文書や画像をコピーするなど、さまざまな操作や設定をすぐに行うためのメニューを表示するときに押します。

4 **ON／OFF(電源)スイッチ(57ページ)**
マウスの電源を入／切します。

5 **CONNECT(コネクト)ボタン(57ページ)**
マウスを本機に認識させるために使用します。

後部

1 **ローバッテリーランプ**
マウスの乾電池の残量が充分でない場合に点滅します。

オプティカルマウスとは

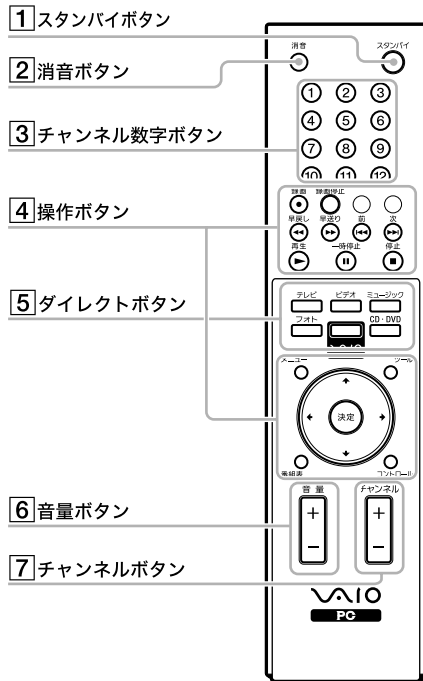
オプティカルマウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影をオプティカルセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上はもちろんのこと、衣類の上や紙の上でも使用することができます。ただし、次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- 透明な素材(ガラスなど)
- 光を反射する素材(光沢のあるビニールや鏡など)
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるマウスパッドや机など

!ご注意

- マウスポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面(机、紙、マウスパッドなど)でマウスを操作してみてください(上記の条件に該当する一部のマウスパッドでは、マウスが正常に動作しない場合があります)。
- オプティカルマウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

リモコンの各部名称

アナログテレビチューナー搭載モデル

1 スタンバイボタン

本機の動作中に押すとスタンバイモードになります。再び押すと、スタンバイモードから復帰します（60ページ）。

2 消音ボタン

一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

3 チャンネル数字ボタン

チャンネルを選択します。
5ボタンに突起が付いています。

4 操作ボタン

Do VAIOの操作に使用します。
以下はDo VAIOで使用するボタンの一部です。

- メニューボタン
  コンテンツ一覧メニューを表示したり非表示にしたりします。
- ツールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、コンテンツを操作するための操作メニューを表示したり非表示にしたりします。
- 番組表ボタン
  番組表を表示します。
- コントロールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、再生操作ボタンを表示したり非表示にします。
- 上、下（↑、↓）ボタン
  メニューをスクロールして、メニュー上の反転表示部を移動します。
- 左（←）ボタン
  前のメニューに戻ります。
- 右（→）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します。
- 中央（決定）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します（コンテンツを選択するメニューでは、反転表示されているコンテンツの再生画面を表示します）。

上下左右ボタンに突起が付いています。

5 ダイレクトボタン

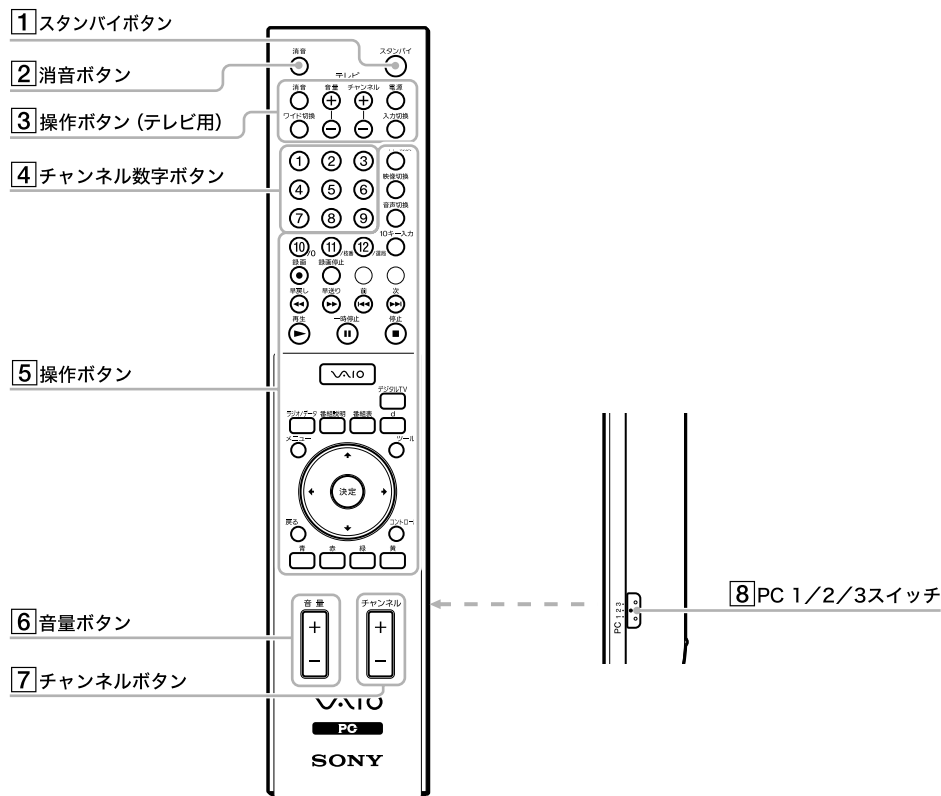
目的に合ったDo VAIOの機能を簡単に表示します。

6 音量ボタン

音量を調節します。

7 チャンネルボタン

テレビのチャンネルを選択します。
＋ボタンに突起が付いています。

デジタルテレビチューナー搭載モデル

1 スタンバイボタン

本機の動作中に押すとスタンバイモードになります。再び押すと、スタンバイモードから復帰します（60ページ）。

2 消音ボタン

一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

3 操作ボタン（テレビ用）

市販のテレビの操作に使用します（34ページ）。

4 チャンネル数字ボタン

チャンネルを選択します。
5ボタンに突起が付いています。

5 操作ボタン

Do VAIOやデジタル放送の操作に使用します。
上下左右ボタンに突起が付いています。

- 上、下（↑、↓）ボタン
  メニューをスクロールして、メニュー上の反転表示部を移動します。
- 左（←）ボタン
  前のメニューに戻ります。
- 右（→）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します。
- 中央（決定）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します（コンテンツを選択するメニューでは、反転表示されているコンテンツの再生画面を表示します）。

6 音量ボタン

音量を調節します。

7 チャンネルボタン

本機のソフトウェアでテレビを見ている場合に、チャンネルを選択します。
＋ボタンに突起が付いています。
市販のテレビのチャンネルを選択する場合は、3 操作ボタン（テレビ用）のチャンネルボタンを利用してください。

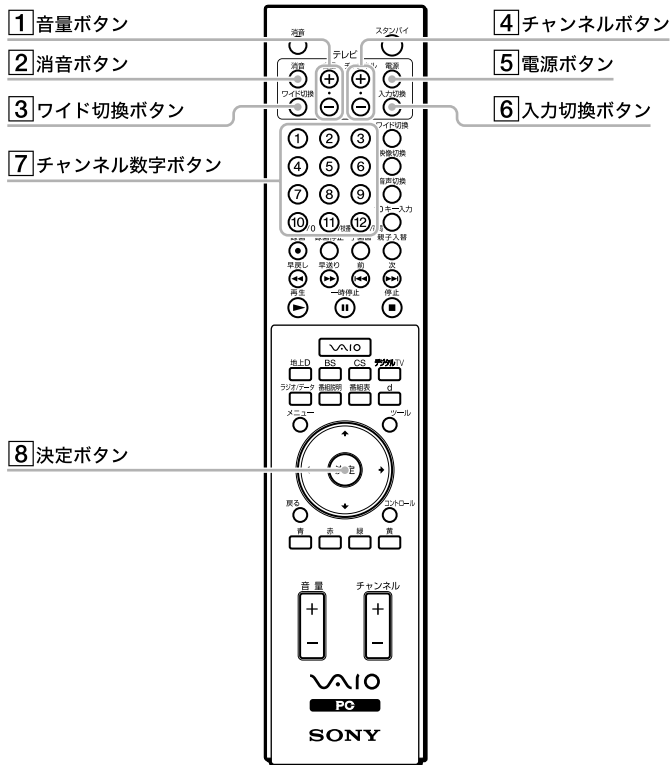
8 PC 1／2／3スイッチ

「リモコンの設定」で設定した番号に合わせます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[リモコン]→[リモコンの設定を変更する]の順にクリックする。）
初期設定は「PC-2」になっています。

ヒント

リモコンの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[リモコン]の順にクリックする。）

リモコンで市販のテレビを操作する（デジタルテレビチューナー搭載モデル）

リモコンで市販のテレビを操作することができます。

1 **音量ボタン**
テレビの音量を調節します。

2 **消音ボタン**
一時的に音を消します。もう1度押すか、音量ボタンを押すと音が出ます。

3 **ワイド切換ボタン**
画面のモードを「ノーマル」「ズーム」「フル」のいずれかに切り換えます。

ヒント
切り換えることができる画面モードの種類は、テレビの機種によって異なります。

4 **チャンネルボタン**
テレビのチャンネルを選択します。
＋ボタンに突起が付いています。

5 **電源ボタン**
テレビの電源を入／切します。

6 **入力切換ボタン**
外部入力された映像に切り換えます。

7 **チャンネル数字ボタン**
決定ボタンと組み合わせて使うと、リモコン信号を各社の設定に変更できます。

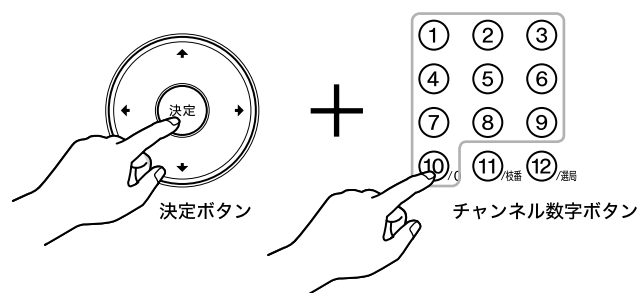
8 **決定ボタン**
チャンネル数字ボタンと組み合わせて使うと、リモコン信号を各社の設定に変更できます。

各社のテレビを操作するとき

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。

設定するには、決定ボタンを押しながら、チャンネル数字ボタンを押します。

例:テレビのメーカーを「ソニー(01)」に合わせる場合

決定ボタンを押しながら ⑩ボタンと ①ボタンを順番に押します。

テレビのメーカー番号は次の表のとおりです。

テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー(R マーク付き)	01
松下電器1*1	02
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機1*1	07
シャープ1*1	08
NEC	09
パイオニア*2	10
富士通ゼネラル	11*3
ソニー(R マーク無し)*2	12*3
松下電器2*1	13
フナイ(PRECIOUS)	14
三洋電機2*1	15
シャープ2*1	16
アイワ	17
三星(SAMSUNG)	18
ディスプレイ(VGP-D23HD1、VGP-D20WM1などのチューナー搭載ディスプレイ)	19

*1 メーカー番号(02、07、08)で操作できないときは同じメーカーのもう1つの番号(13、15、16)にしてください。

*2 入力切換ボタンは使えません。

*3 ⑪ボタンおよび ⑫ボタンは設定に使うことはできません。「11」と入れるときには、決定ボタンを押しながら、①ボタンを2回押します。「12」と入れるときには、決定ボタンを押しながら、①ボタンと ②ボタンを押します。

!ご注意

- テレビによっては、メーカー番号を合わせても操作できなかったり、一部のボタンが使えないことがあります。
- リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号を合わせ直してください。

本機をセットアップする

ステップ1：　設置する

ステップ2：　接続する

ステップ3：　電源を入れる

ステップ4：　Windowsを準備する

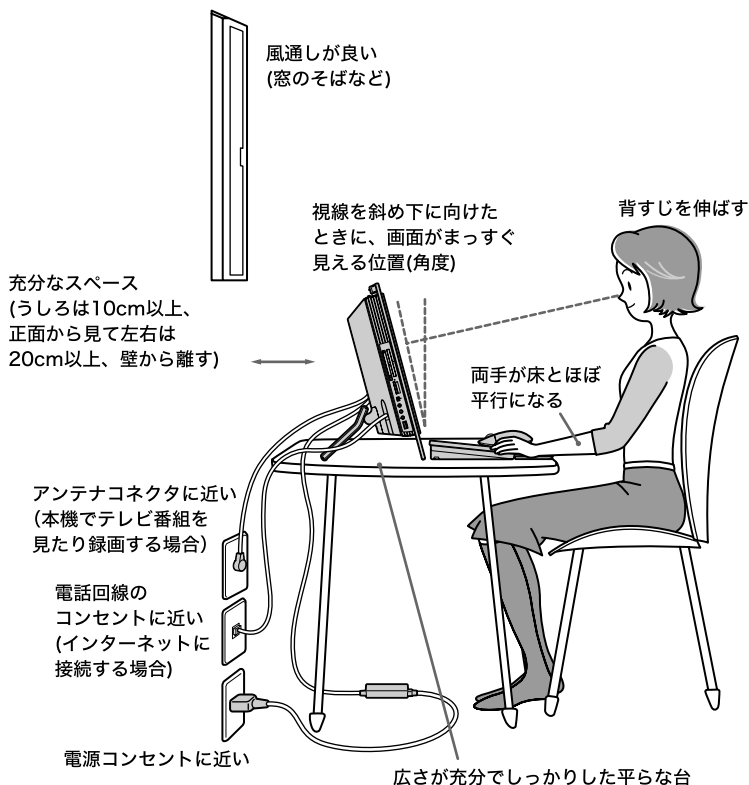
ステップ5：　カスタマー登録する

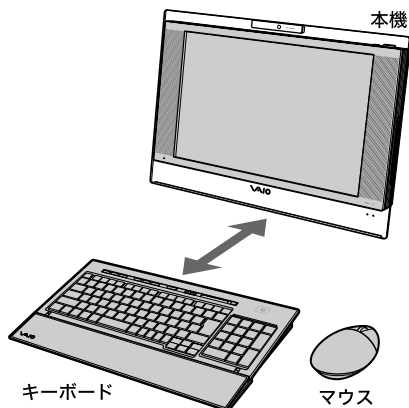
ステップ6：　基本設定を行う

ステップ7：　バイオをはじめる前の準備を行う

ステップ1:
設置する

設置場所

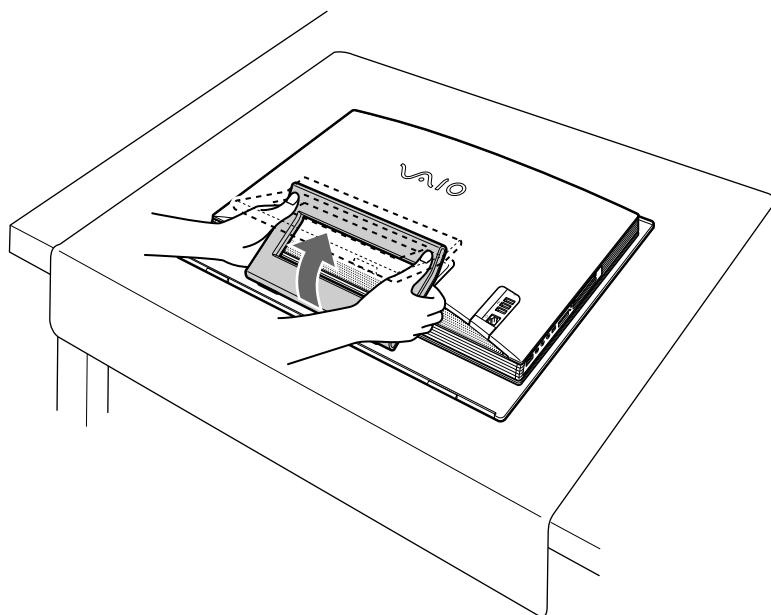
下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

ご使用になる環境について

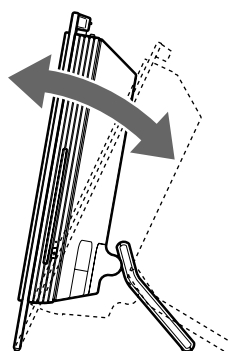
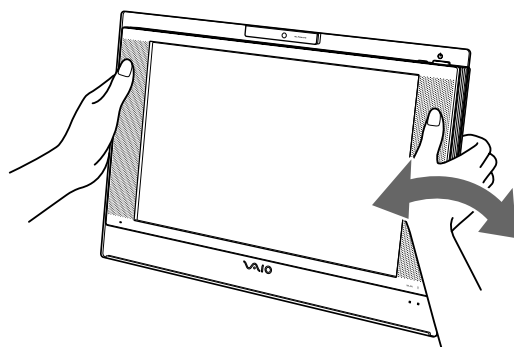
本機とキーボードやマウスの距離は、最長10m離して使うことができます。

!ご注意

- キーボードやマウスの上に水などをこぼさないでください。キーボードやマウスが使用できなくなる場合があります。
- 金属製の机など、キーボードやマウスの近くに金属があると、近距離(10cm以内)での通信に影響を及ぼし、キーボードのキー入力やFeliCa通信、マウスの操作が不安定になる場合があります。キーボードを金属から離すか、本体との距離を離す(15cm以上)ことをおすすめいたします。

スタンドを立てる

本機を設置する場合は、下の図のようにスタンドを立てます。イラストのようにスタンドの両端をつかんで上に押し上げてください。

！ご注意
本機に傷がつかないように布などをしいてください。

ディスプレイの角度を調整するには

ディスプレイの上部を持ち、画面の角度を調整します。

！ご注意
角度を調節する際は、本体やスピーカーグリルの中央部分に、強い圧力をかけないようにご注意ください。強い圧力をかけすぎると、スピーカーグリルやスタンドが破損することがあります。

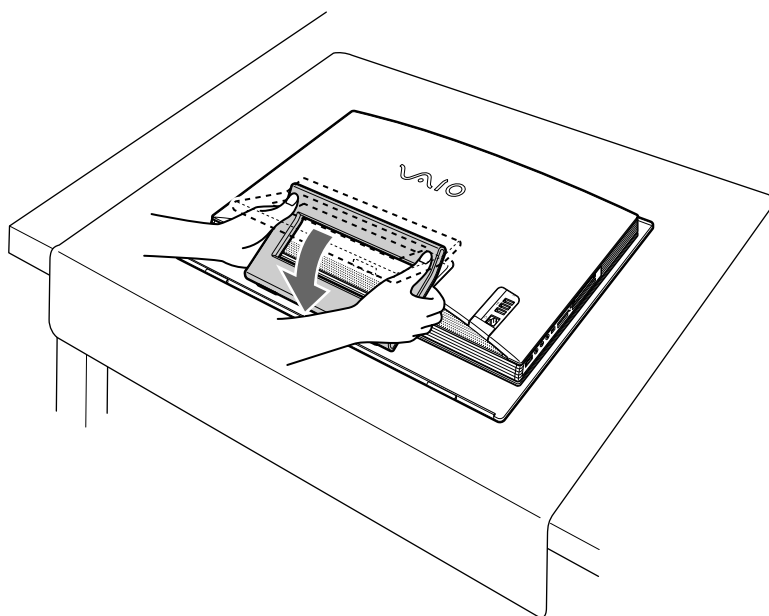
設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

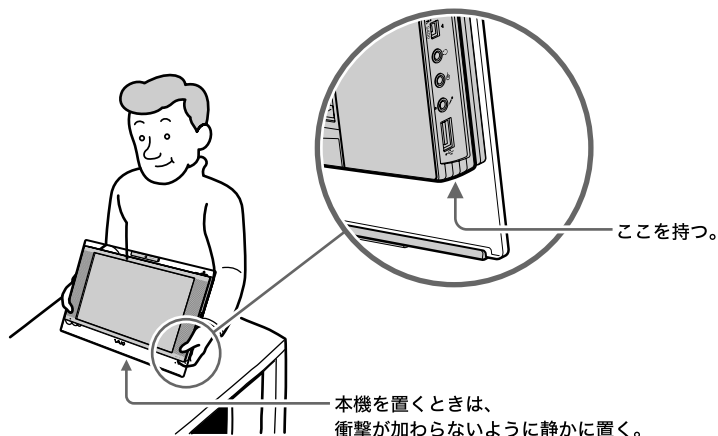
- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

スタンドをたたむ

スタンドを購入時の状態に戻すと運搬時や収納時に便利です。

！ご注意
本機に傷がつかないように布などをしいてください。

！ご注意
スタンドをたたむ場合は、指や手をはさまないようにしてください。

設置時のご注意

次のことをお守りください。

！ご注意

- スタンド部を持たないでください。破損のおそれがあります。
- 本機を持ち上げるとき、液晶ディスプレイのパネル部分へ衝撃を加えないようにご注意ください。
- 持ち運ぶときは、衣類やベルト等で液晶ディスプレイ等にキズがつかないようにご注意ください。
- 持ちかたによっては、転倒するおそれがありますので、本機を持つときには、イラストと同じように持って設置してください。

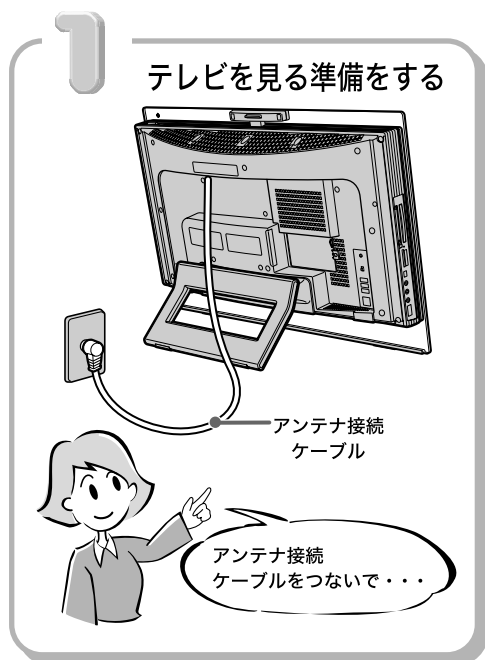
故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
  移動するときは、接続ケーブルをすべて取りはずしてください。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。

設置の際の安全上の注意事項もご覧ください（13ページ）。

ステップ2：

接続する

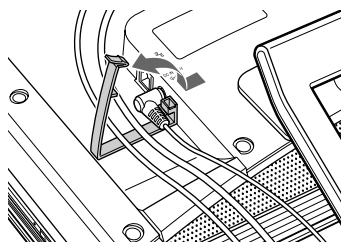
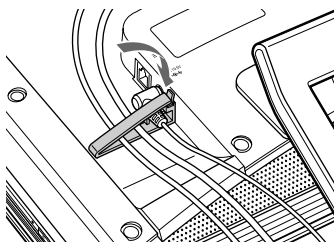
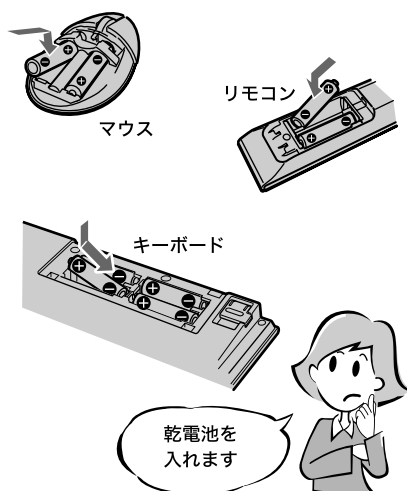
以下の手順に従って、アンテナ、テレホンコード、ACアダプタを接続し、キーボード、マウス、リモコンを準備します。

アンテナの接続について詳しくは、「1 アンテナにつなぐ」（45ページ）をご覧ください。

電話回線の接続について詳しくは、「3 一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ」（48ページ）をご覧ください。

- 「一般の電話回線につなぐときは」（48ページ）
- 「ADSL／FTTH／CATVを利用するときは」（50ページ）
- 「ISDN回線を利用するときは」（50ページ）

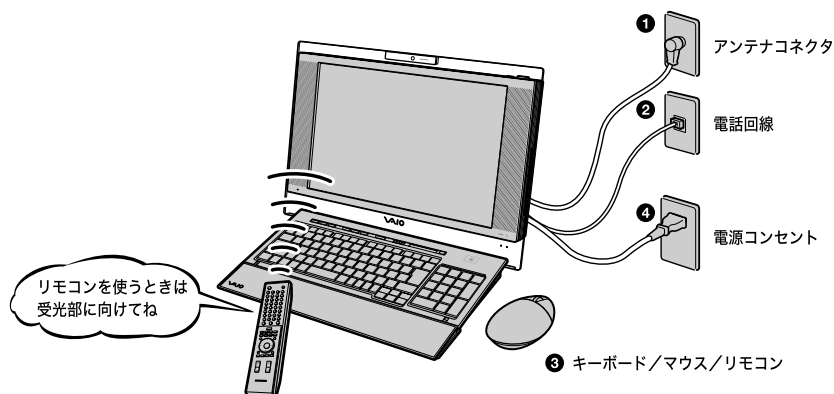
ケーブル類をまとめるときは

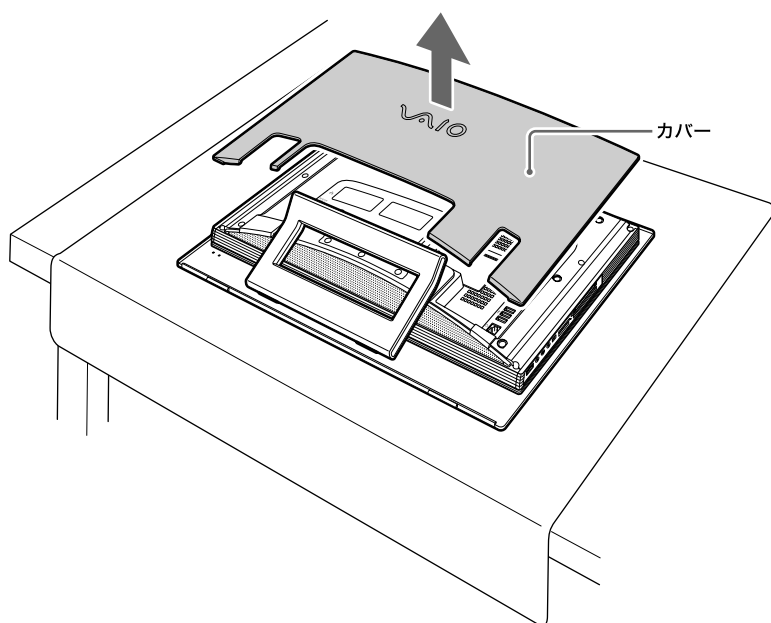
本機後面のフックを使うと、ケーブル類をまとめることができます。

① ロックを引いてフックをはずし、ケーブル類をかける。

② フックをかける。

キーボード、マウス、リモコンの準備について詳しくは、以下のページをご覧ください。

- 「4 キーボードを準備する」（51ページ）
- 「5 マウスを準備する」（53ページ）
- 「6 リモコンを準備する」（54ページ）

ACアダプタの接続について詳しくは、「8 ACアダプタを接続する」（56ページ）をご覧ください。

！ご注意
乾電池の取り扱いについては51、53ページを参照してください。

カバーを取りはずすには

本機後面のコネクタに、アンテナやLANケーブルなどを接続する場合やキーボード、マウスを本体とコネクトする場合は、カバーを手前に引いて取りはずしてください。

1 アンテナにつなぐ

アナログテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合

テレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。

アンテナコネクタの接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

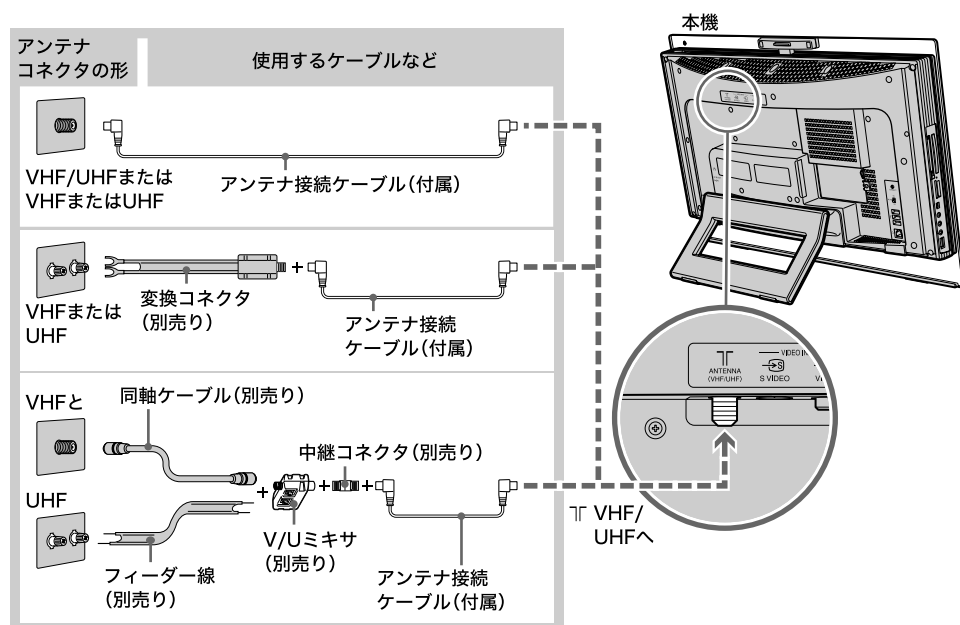
- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

❑ 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

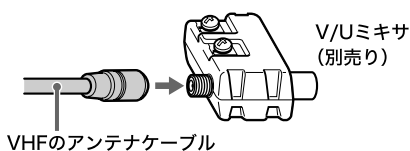
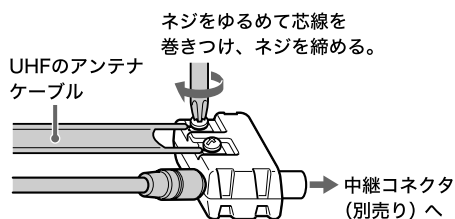
アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

ヒント

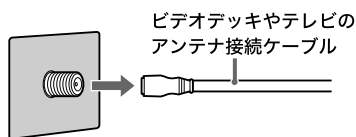
ケーブルは、フックにまとめることができます（42ページ）。

ご注意

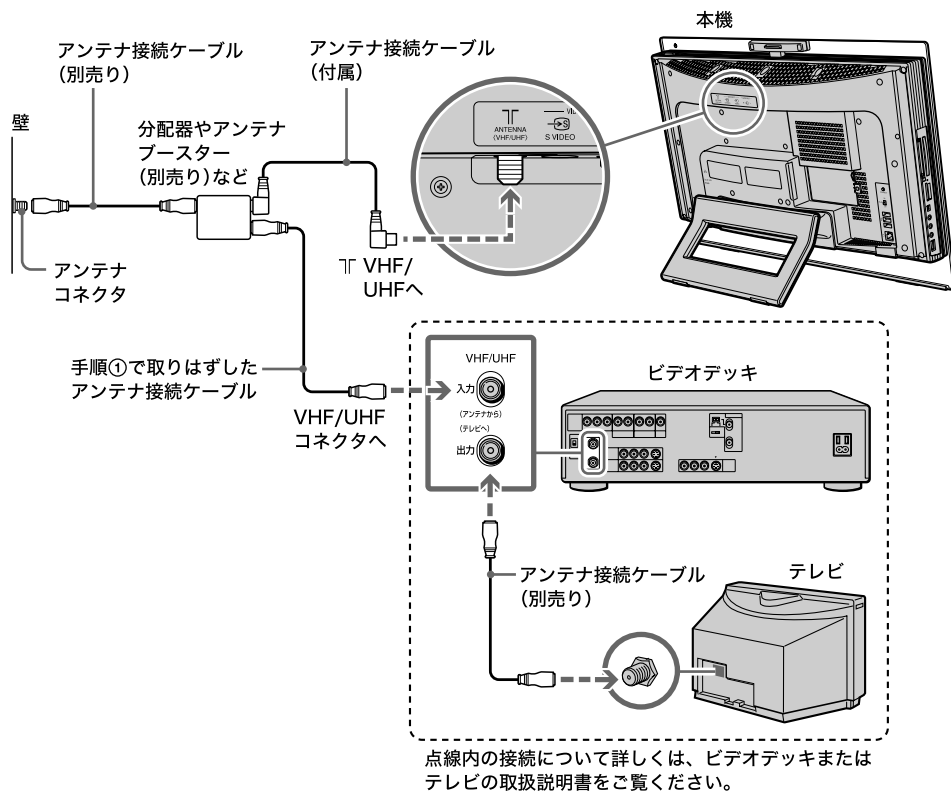
- フィーダー線は同軸ケーブルに比べ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、本機からできるだけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

V/Uミキサをつなぐには

① VHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

② UHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

❑ すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

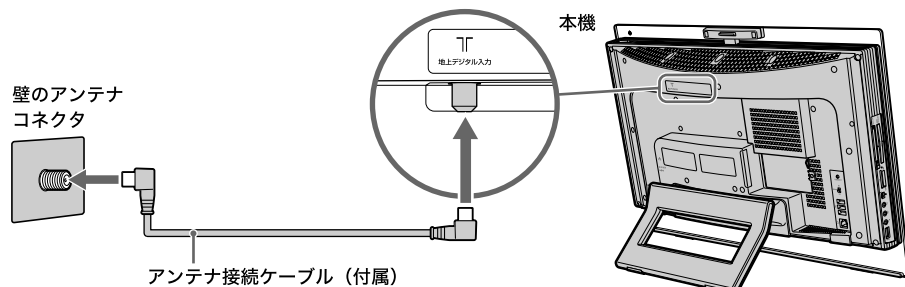
以下のようにアンテナを接続します。

① 壁のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。

② アンテナを接続する。
別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」（45ページ）に記載の例から、最も近いものを選び接続してください。

ヒント
ケーブルは、フックにまとめることができます（42ページ）。

点線内の接続について詳しくは、ビデオデッキまたはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ヒント
ビデオデッキをつなぐなど、アンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

デジタルテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合

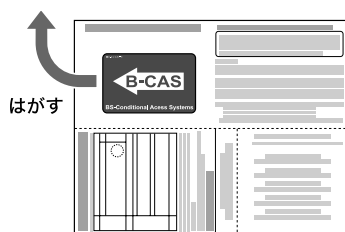
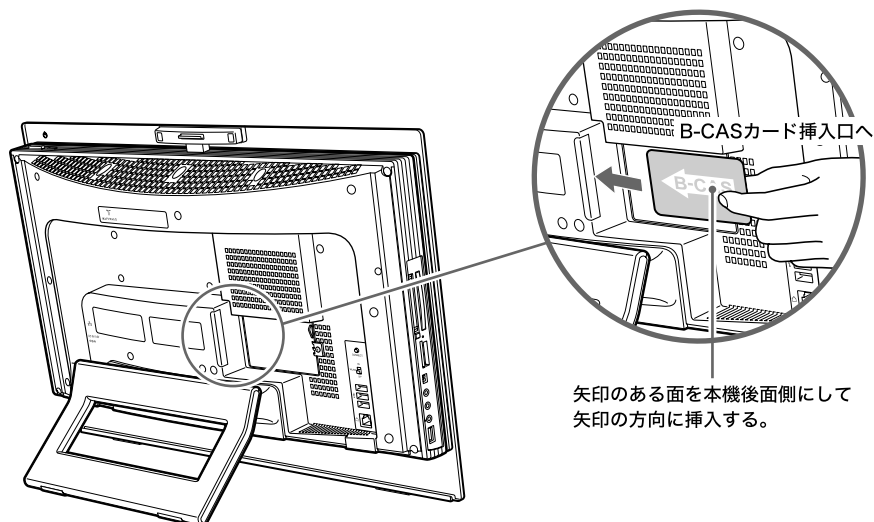
本機は、地上デジタル放送を受信する地上デジタル入力コネクタを搭載しています。
本機で地上デジタル放送を見たり録画したりするときは、地上デジタル入力コネクタにアンテナをつないでください。

2 B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れる(デジタルテレビチューナー搭載モデル)

B-CAS*カード(デジタル放送用ICカード)はお客様と地上デジタルの放送局をつなぐカードです。

2004年4月より、B-CASカードを挿入していないと、番組の著作権保護のため、デジタル放送はスクランブルがかかって視聴することができません。
デジタル放送を視聴するときは、必ずB-CASカードを挿入してください。

デジタル放送では、このカードを利用したCAS(限定受信システム)が採用されています。ご登録いただくと各種サービスが利用できるようになります。
B-CASカードを本機に入れたあと、ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函してください。
また、有料番組やPPV番組を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。
* B-CASは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

!ご注意
ユーザー登録しないと、有料番組が視聴できなかったり、データ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

① 同封の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号:0570-000-250)へお問い合わせください。

② B-CASカードを挿入する。
本機後面のB-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入します。

③ 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。
B-CAS用ユーザー登録はがきの登録作業が終了すると、各種サービスが利用できるようになります。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
テレビ/ミュージック/フォト/DVD
増設/リカバリ
困ったときは/サービス・サポート
注意事項

!ご注意

- B-CAS用ユーザー登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込むときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されているためです。
- 転居などの際は、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

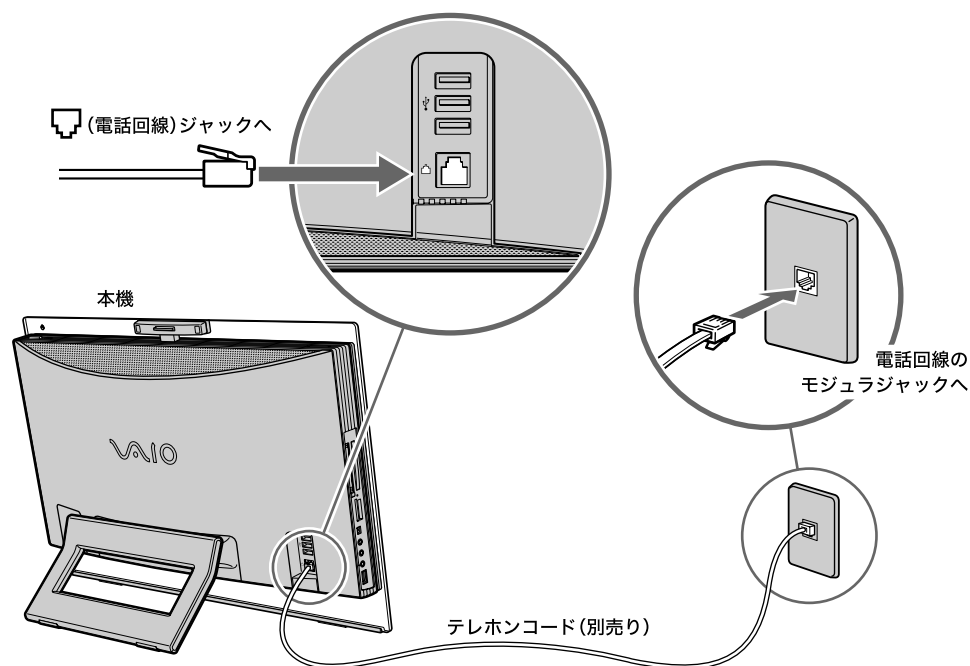
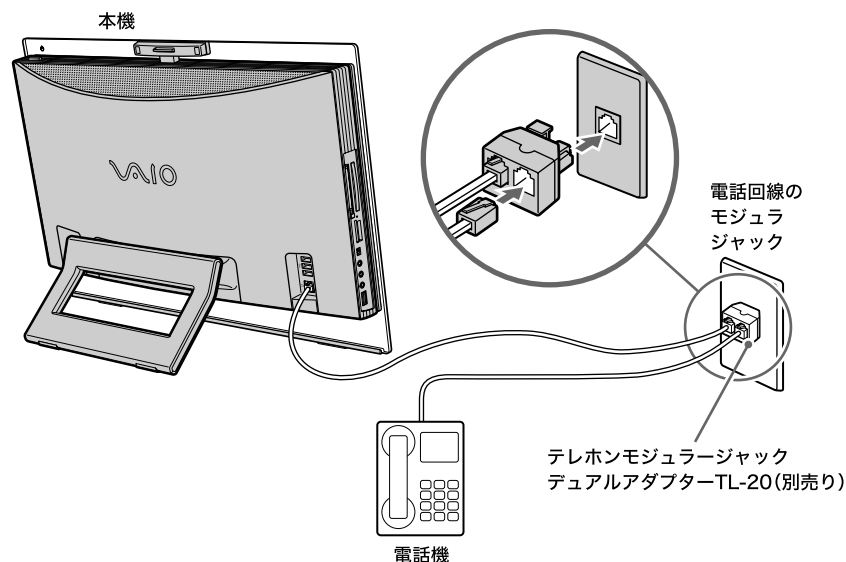
3 一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSLやFTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスやISDN回線に接続する方法があります。

!ご注意

インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

一般の電話回線につなぐときは

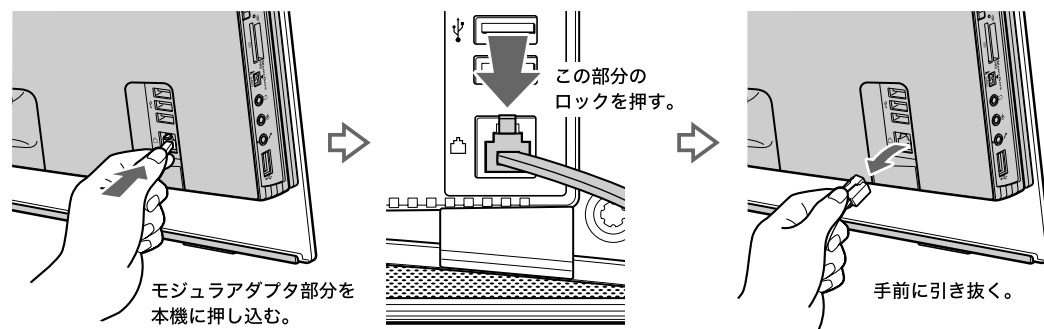
テレホンコード（別売り）の一方を本機の（電話回線）ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込みます。

電話機をつなぐときは、アダプター(テレホンモジュラージャックデュアルアダプターTL-20(別売り)など)を使って接続します。

!ご注意
テレホンコードは本機後面のLANコネクタに接続しないでください。

ヒント
ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となるものがあります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

本機からテレホンコードを取りはずすには

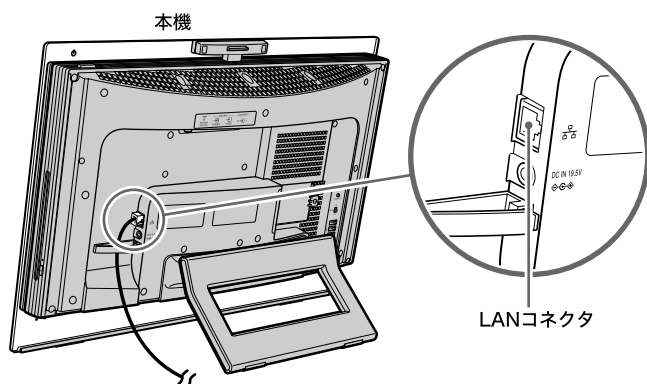
① (電話回線)ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。

② モジュラアダプタのロックを押し、テレホンコード部分といっしょにつかむ。

③ ロックを押しながら引き抜く。

ADSL／FTTH／CATVを利用するときは

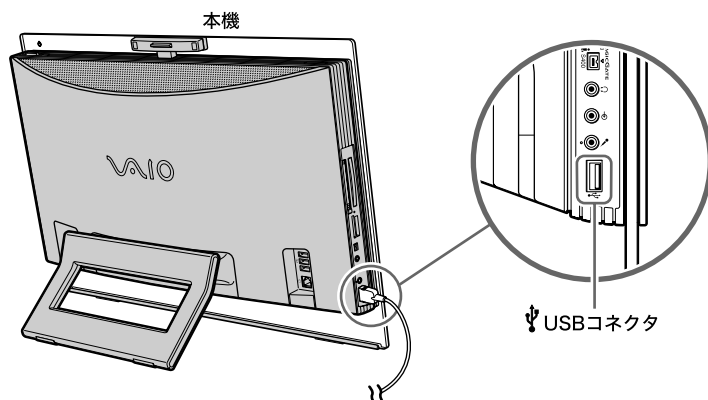
ADSL／FTTH／CATVを利用するときはLANコネクタを使用します。

ヒント

ケーブルは、フックにまとめることができます（42ページ）。

ご注意

LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

ISDN回線を利用するときは

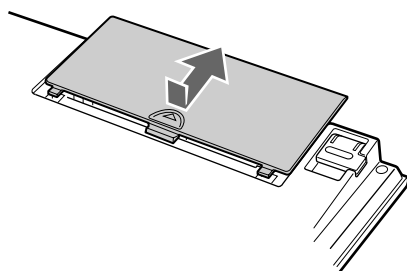
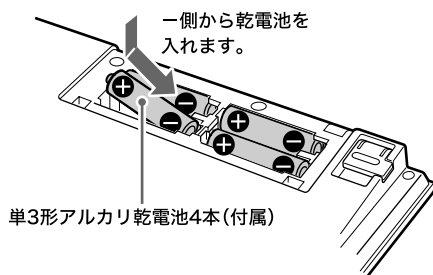
ISDN回線を利用するときはUSBコネクタを使用します。

ヒント

本機右側面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

4 キーボードを準備する

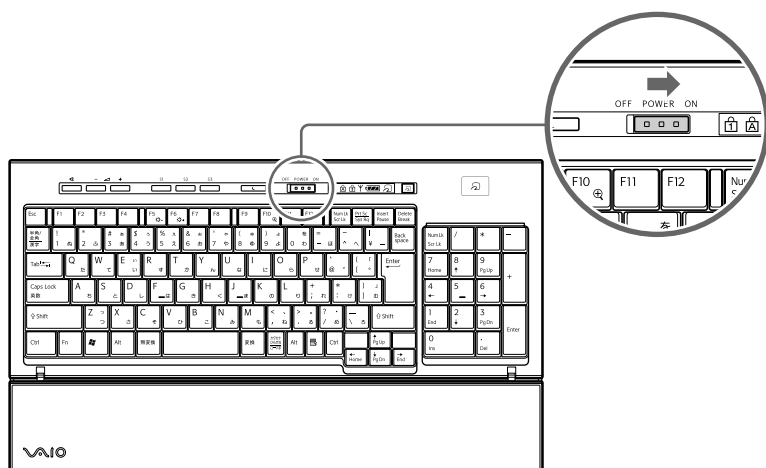
キーボードに単3形アルカリ乾電池を入れる

① キーボードを裏返す。

② キーボード裏面の乾電池入れのふたを開ける。

③ ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形アルカリ乾電池を4本入れる。

!ご注意

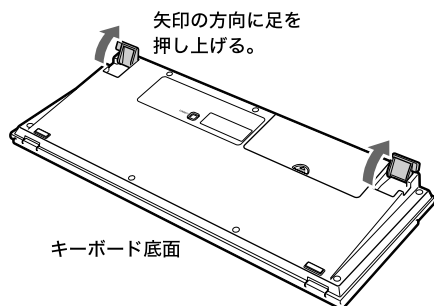
- **乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池という組み合わせなど）を混ぜて使用すると「液もれや破損」の原因となります。**
- **しばらくキーボードを使わないときはPOWER（電源）スイッチを「OFF」にしてください。また、長い間キーボードを使わないときは乾電池を取り出してください。**
- **残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとも機器に入れたままにしておくと液もれを起こす原因となります。**
- 乾電池が液もれしたときは乾電池入れについた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。乾電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液を拭く際はご注意ください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- キーボードの乾電池には、アルカリ乾電池をご使用ください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。

④ 乾電池入れのふたを閉める。

⑤ POWER（電源）スイッチを「ON」にする。

ヒント

- キーボード右上にあるバッテリーインジケーターで、キーボードの乾電池の容量が充分かどうか確認できます。
- キーボードを長時間使わないときは、POWER（電源）スイッチを「OFF」にすると電池寿命が延びます。

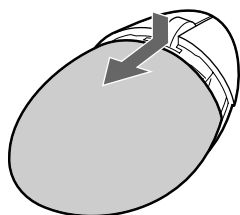
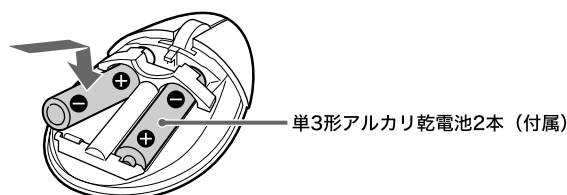
キーボードの足を立てるには

キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。

！ご注意

キーボードの足を開閉するときに爪を折らないように気をつけてください。

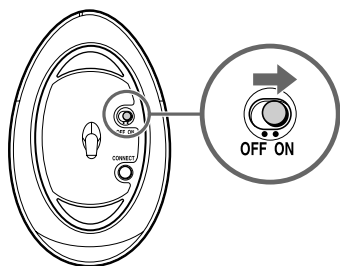
5 マウスを準備する

マウスに単3形アルカリ乾電池を入れる

① マウスの乾電池入れのふたを開ける。

② ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形アルカリ乾電池を2本入れる。

！ご注意

- **乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池という組み合わせなど）を混ぜて使用すると「液もれや破損」の原因となります。**
- **しばらくマウスを使わないときはON／OFF（電源）スイッチを「OFF」にしてください。また、長い間マウスを使わないときは乾電池を取り出してください。**
- **残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとも機器に入れたままにしておくと液もれを起こす原因となります。**
- 乾電池が液もれしたときは乾電池入れについた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。乾電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液を拭く際はご注意ください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- マウスの乾電池には、アルカリ乾電池をご使用ください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。

③ 乾電池入れのふたを閉める。

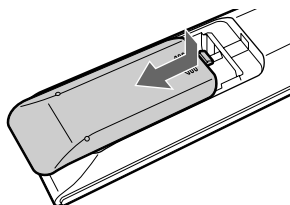
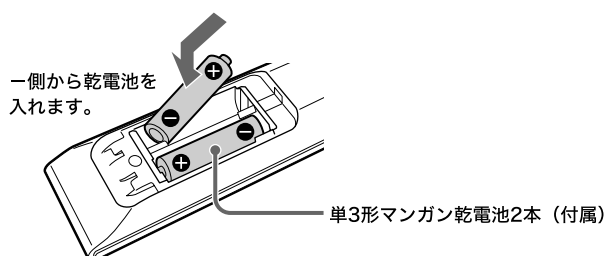
④ ON／OFF（電源）スイッチを「ON」にする。

ヒント

- マウスの後部にあるローバッテリーランプで、マウスの乾電池の残量が充分かどうか確認できます。
- マウスを長時間使用しないときは、ON／OFF（電源）スイッチを「OFF」にすると、乾電池の寿命が延びます。

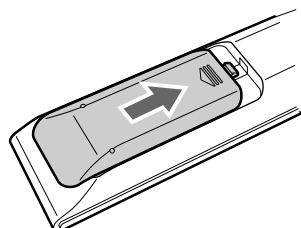
6 リモコンを準備する

リモコンに単3形マンガン乾電池を入れる

① リモコンを裏返す。

② リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。

③ ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形マンガン乾電池を2本入れる。

ご注意

- **乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池という組み合わせなど）を混ぜて使用すると「液もれや破損」の原因となります。**
- **長い間リモコンを使わないときは乾電池を取り出してください。**
- **残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとも機器に入れたままにしておくと液もれを起こす原因となります。**
- 乾電池が液もれしたときは乾電池入れについた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。乾電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液を拭く際はご注意ください。
- 市販の充電式の電池には対応していませんので、乾電池をご使用ください。充電式電池を使用した場合、液もれによる事故・故障につながる可能性があります。
- 乾電池は充電しないでください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。

④ 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。

ヒント

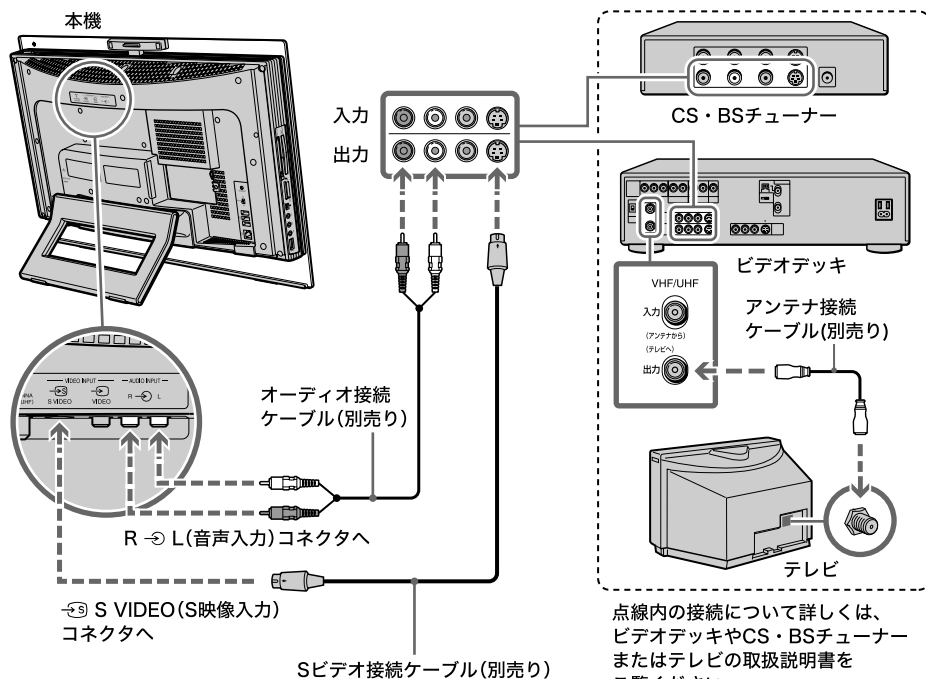
- 本機のリモコン受光部とリモコンの発光部との間に、障害物を置かないでください。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［リモコン］の順にクリックする。）

7 ビデオデッキやCS･BSチューナーを接続する（アナログテレビチューナー搭載モデル）

ヒント
ビデオデッキやCS･BSチューナーは必要に応じて接続してください。

本機とビデオデッキやCS･BSチューナーの映像／音声の入出力コネクタ同士をつなぐと、以下のことができるようになります。

- ビデオデッキやCS･BSチューナーで再生する映像を本機で見る。
- ビデオデッキやCS･BSチューナーで再生する映像を本機に録画する。

ヒント

- ケーブルは、フックにまとめることができます（42ページ）。
- Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続ケーブル（別売り）を本機のVIDEO（映像入力）コネクタにつないで使うことができます。

8 ACアダプタを接続する

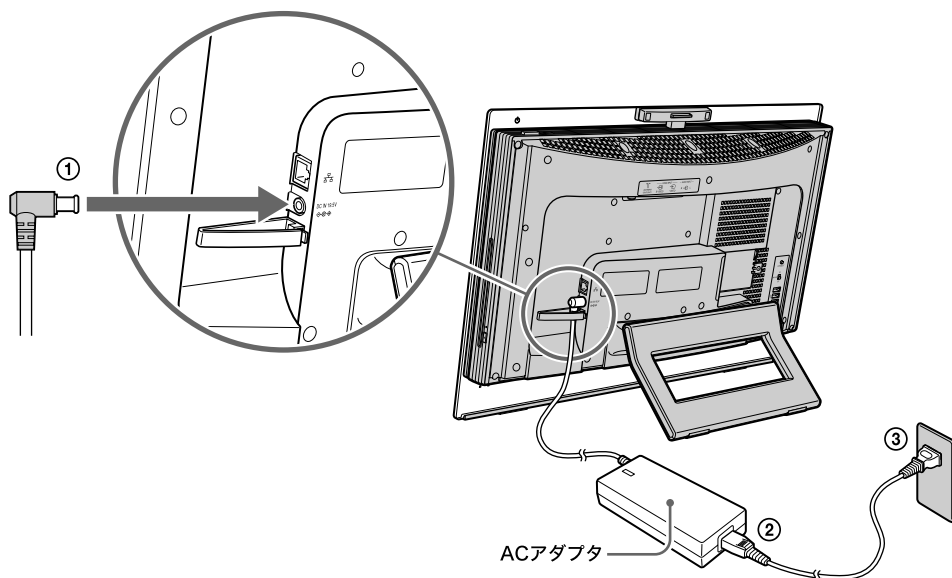
本機にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。

!ご注意

- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は国内専用です。交流100Vでお使いください。

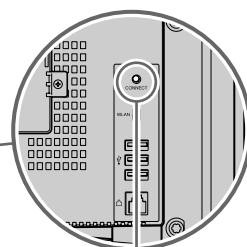
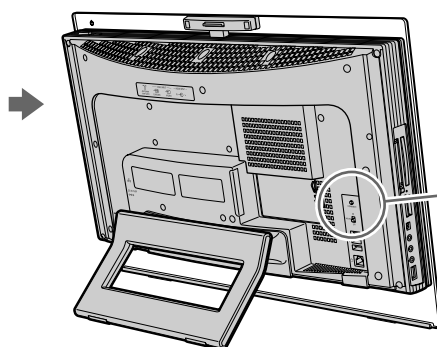
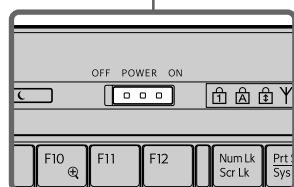
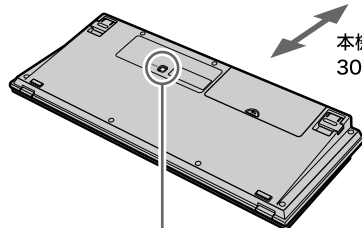
① ACアダプタのプラグを本機に接続する。

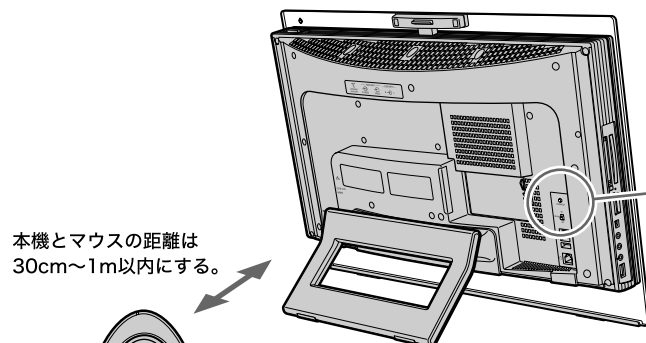
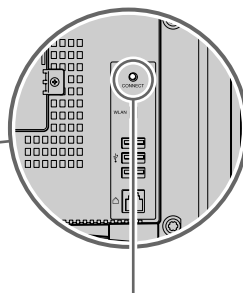
② ACアダプタに電源コードのプラグを差し込む。

③ 壁の電源コンセントに差し込む。

キーボード／マウスのコネクトをするには

通常、キーボードとマウスのコネクトは、Windowsのセットアップ（61ページ）の際、1度だけ行います。キーボードやマウスのコネクトができていないときには、下記の手順でコネクトを行ってください。

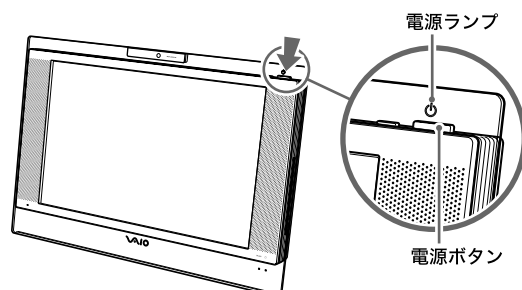
！ご注意
キーボードやマウスのコネクトは本体の電源が入った状態で行ってください。

キーボードのコネクトをする

！ご注意
キーボードのCONNECT（コネクト）ボタンを押すときは、その他のキーやボタンに触れないようにご注意ください。

マウスのコネクトをする

ステップ3:
電源を入れる

本機の電源を入れます。

1 本機の電源ボタンを押す。

本機の電源が入り、電源ランプが緑色に点灯し、Windowsが起動します。

!ご注意
4秒以上電源ボタンを押したままにすると、電源は切れてしまいます。電源ボタンは軽く押し、すぐに離してください。

ヒント
- 電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機の電源ランプがオレンジ色で点灯します。省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」（60ページ）をご覧ください。
- MONITOR OFF（モニターOFF）ランプが点灯している場合は、画面が表示されません。画面を表示するには、MONITOR OFF（モニターOFF）ボタンを押してください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。「Windowsを準備する」（61ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

!ご注意
Windowsのセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

2回目以降に電源を入れるときは

- ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windowsが起動します。
- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
  ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
  「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、「セキュリティについて」（96ページ）をご覧ください。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

ヒント
デスクトップ画面のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

2 ［終了オプション］をクリックし、表示された「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

ご注意
- 本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。
- 「Windowsを準備する」の手順9（65ページ）で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回から本機の電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動してください。

省電力機能について

本機を使用していないときの消費電力を節約するモードとして、「スタンバイモード」と「休止状態」の2つのモードが用意されています。モードごとに特徴がありますので、使用状況に合わせて設定をしてください。

	スタンバイモード	休止状態
本機の電源ランプ	オレンジ色に点灯	消灯
本機の状態	現在作業中の状態を保持したまま、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。また、通常動作モードへ短時間で復帰できるので、Do VAIOを常時使用しているときなどに便利です。	本機の主電源が切れ、内部の主電源部のファンは停止します。現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。2〜3日、本機を使わないようなときに便利です。
各モードに入るには	• キーボードのスタンバイキーを押す。 • [スタート]ボタンをクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[スタンバイ]をクリックする。 • 付属のリモコンのスタンバイボタンを押す。	• 本機の電源ボタンを押す。 • [スタート]ボタンをクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[休止状態]をクリックする。
通常の動作モードに戻すには	• 本機の電源ボタンを押す。 • 付属のリモコンのスタンバイボタンを押す。	本機の電源ボタンを押す。
ご注意	スタンバイモードは本機の電源が切れた状態ではなく、本機の電力の消費を抑えている状態です。スタンバイモードのときに、電源コードを電源コンセントから抜かないでください。作業を中断する前の状態に戻れなくなります。また、本機の故障の原因となることがあります。	• 休止状態に入った場合は、リモコンを使って本機を通常の動作モードに戻すことはできません。 • 休止状態に入った場合は、キーボードのスタンバイキーを押しても通常のモードには戻りません。

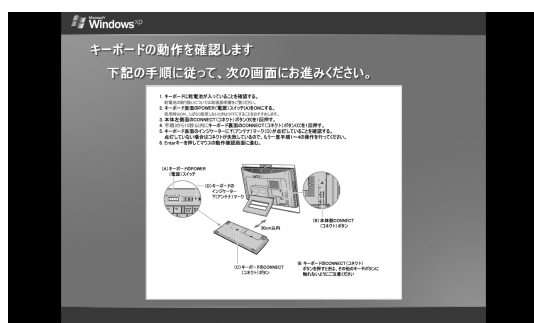
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[省電力]の順にクリックする。）

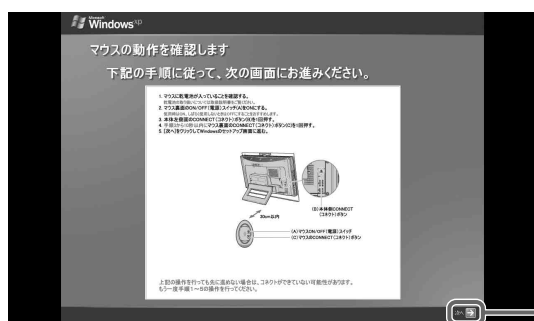
ステップ4：
Windowsを準備する

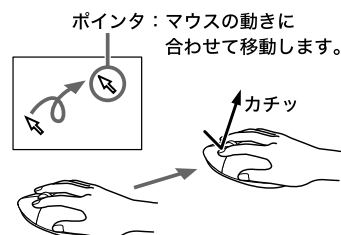
本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。
以下の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

ヒント
次の手順で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。表示される画面に従って操作してください。

！ご注意
以下の手順を行う前に、あらかじめキーボードとマウスを使えるように準備しておいてください（51ページ、53ページ）。

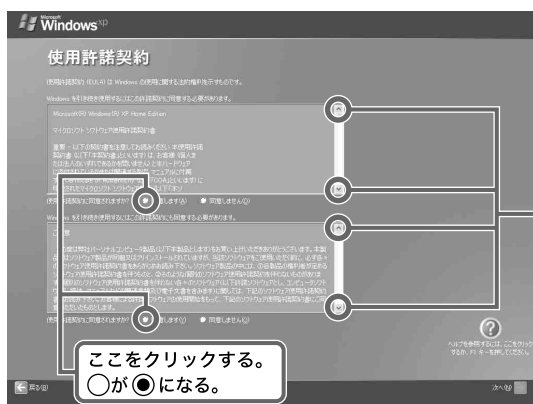
1 「キーボードの動作を確認します」画面が表示されたら、画面に表示された手順1～6を行う。

次の画面に進まない場合は手順1～6をもう1度行ってください。

2 「マウスの動作を確認します」画面が表示されたら、画面に表示された手順1～5を行う。

マウスを動かしてもマウスポインタが動かない場合は、画面に表示された手順1～5を行ってください。

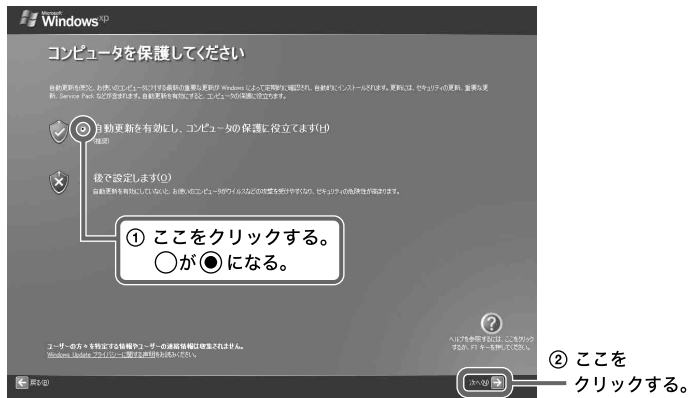
ヒント
マウスを動かして［→］（次へ）の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」と言います。
詳しくは、「パソコンの基本操作について」（79ページ）の「マウスとタッチパッドの基本操作」をご覧ください。

3 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある→(次へ)をクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

！ご注意
Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

4 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは2か所の[同意します]の◯をそれぞれクリックして◉にし、→(次へ)をクリックする。

「コンピュータを保護してください」画面が表示されます。

！ご注意
どちらか一方でも[同意しません]の◯をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

5 [自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます]の◯をクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

6 コンピュータ名を変更したい場合は、コンピュータ名を変更し、➡(次へ)をクリックする。

「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示されます。

ヒント

- 名前の入力は省略してもかまいません。
- コンピュータの名前やコンピュータの説明は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。
- 文字入力について詳しくは、「パソコンの基本操作について」(79ページ)の「文字入力」をご覧ください。

7 「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示された場合は、▷▷（省略）をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。
「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

ヒント
「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面でお使いの接続方法の ○ をクリックして →（次へ）をクリックすると、接続方法によってはインターネットへ接続するための設定画面が表示されます。その場合は画面の指示に従って操作してください。
また、インターネットに接続するための設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。詳しくは「インターネットを始める」（93ページ）をご覧ください。

8 ［いいえ、今回はユーザー登録しません］の○をクリックして◉にし、→（次へ）をクリックする。

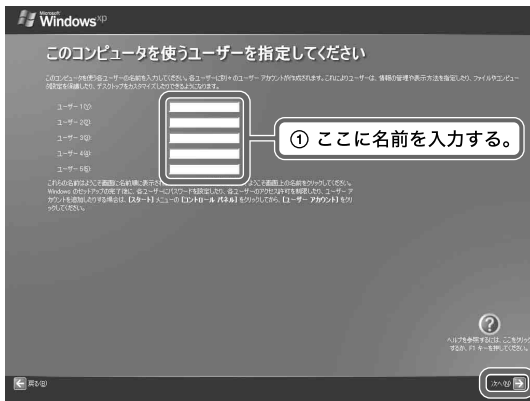
「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

9 お使いになる方の名前などをユーザー名として入力し、(次へ)をクリックする。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

ヒント

- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます(キーボードの半角／全角｜漢字キーで入力を切り替えられます)。
  ユーザー名の例：
  SONY太郎
  hanakoのパソコン
  など
- Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。

ユーザーの追加や文字の入力方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

10 (完了)をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

ヒント

起動後、日時が合っていない場合は以下の手順で合わせてください。

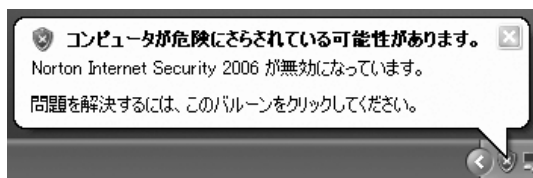
① [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックして表示される画面で、[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

② [日付と時刻]タブをクリックし、「日付」と「時刻」を現在の日時に合わせる。

③ [OK]をクリックする。
日時の設定が有効になります。

！ご注意

本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモを取るなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」という警告について

Windowsのセットアップの完了後に、「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」という警告が表示されることがあります。この警告は、コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続といった危険からコンピュータを守るソフトウェアがインストールまたはセットアップされていなかったり、無効に設定されていたりするときに表示されます。
本機には、コンピュータを危険から守るソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされていますが、初期設定が行われるまでは動作しないため、前述の警告が表示されることがあります。コンピュータを危険から守るために、Windowsのセットアップが完了したらすぐに「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続などによる被害からコンピュータを守るためには、あらかじめきちんと対策しておく必要があります。本機には、「Norton Internet Security（ノートン・インターネット セキュリティ）」ソフトウェアがインストールされており、前述の危険からコンピュータを適切に保護することができます。ただし、「Norton Internet Security」ソフトウェアは初期設定を行うまでは動作しないため、Windowsのセットアップの終了後にあわせて設定を行ってください。

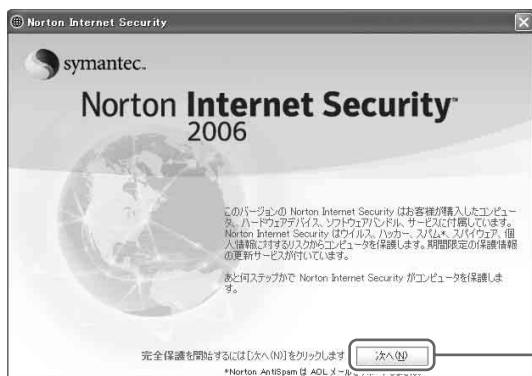
「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行う

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にポインタを合わせ、[Norton Internet Security]をクリックすると表示される「Norton Internet Security」画面で行えます。

ヒント

- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行う前に、あらかじめインターネットに接続してください。インターネットに接続されていない場合、最新のデータを利用することができません。
- 「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行っていない状態で本機の起動回数が2回目以降になると、起動直後に「Norton Internet Security」画面が表示されます。この画面が表示されたら、画面の指示に従って「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

1 「Norton Internet Security」画面での設定

使用許諾契約や更新サービス有効期間の確認が行われます。設定が終わると、「ホームネットワークウィザード」に進みます。

以降の手順は表示される画面の指示に従って進めてください。

2 「ホームネットワークウィザード」画面での設定

本機にLANケーブルを接続していると表示されます。本機が接続されているネットワークの環境について設定します。設定が終わると、「LiveUpdate」に進みます。

以降の手順は表示される画面の指示に従って進めてください。

ヒント

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定時にホームネットワークウィザードが行われなかった場合は、ネットワークに接続後、以下の手順でホームネットワークウィザードを実行してください。

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にポインタを合わせ、[Norton Internet Security]をクリックする。
「Norton Internet Security」画面が表示されます。

② 中央の[ファイアウォール]をクリックして右下の[設定]ボタンをクリックする。
ファイアウォールの設定画面が表示されます。

③ [ネットワーク]をクリックして[ウィザード]をクリックする。
「ホームネットワークウィザード」画面が表示されるので画面の指示に従って設定してください。

3 「LiveUpdate」画面での最新版への更新

インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。

以降の手順は表示される画面の指示に従って進めてください。

ヒント

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定をしていると、LiveUpdateの実行前後に「緊急の注意」、「ウイルス定義ファイルの警告」などが表示されます。これらについて、いったん無視してLiveUpdateを完了してください。詳しくは「「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定中に表示される警告について」(68ページ)をご覧ください。

！ご注意

LiveUpdateによって「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新する場合、インターネットへの接続が必要です。インターネット接続サービスを提供する会社(インターネットサービスプロバイダ)との契約を行っていないなどの理由でインターネットに接続できない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックした場合、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定中に表示される警告について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定中、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

❑「緊急の注意」画面、「注意が必要」画面

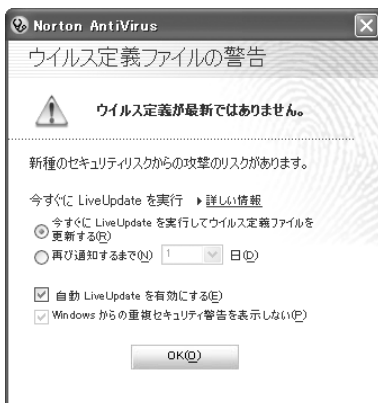
「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。初期設定時に表示された場合は[閉じる]をクリックしていったん閉じてください。

ヒント

初期設定時のLiveUpdateが終了すると「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面左の[Norton Protection Center]をクリックすると表示される画面で「保護の状態」が「緊急の注意」または「注意が必要」になっている場合は、[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

❑「アウトブレーク警告」画面

被害報告が増えているコンピュータウイルスなどがあるときに表示されます。内容を確認して[閉じる]をクリックしてください。

❑「ウイルス定義ファイルの警告」画面

「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新が長期間行われていないと表示される警告です。初期設定時に表示された場合は、LiveUpdateの完了後、「ウイルス定義ファイルの警告」画面の[OK]をクリックして指示に従ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについてのお問い合わせは以下となります。

シマンテック
SONYユーザ様用サービスページ（ユーザ登録・サポート登録・更新方法）
ホームページ：http://www.symantec.co.jp/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

以上で、本機を使う準備ができました。

ステップ5:
カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社(以下、「ソニー」)は「バイオ」をご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。
なお、保証については「保証書とアフターサービス」(204ページ)をご覧ください。
VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。
詳しくは、「お問い合わせ先について」(202ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

VAIOカスタマー登録を行っていただきますと以下をご提供します。

① セキュリティや品質などに関する重要な情報をご提供

② 充実したサービス・サポートをご提供

❑ ご利用いただける有償サービス

- 大切なバイオを安心してお使いいただくために、「VAIO延長保証サービス」(200ページ)をご用意しております。
- 海外で安心してお使いいただくために「VAIO Overseas Service(海外サポート修理サービス)」(200ページ)をご用意しております。
- ソフトウェア・ダウンロード販売サイト、「VAIOソフトウェアセレクション」(201ページ)がご利用できます。
- 「部品提供サービス」(201ページ)および「VAIOカスタマイズサービス」(202ページ)をWebサイトからお申し込みいただけます。

❑ ご利用いただけるサポート

- お客様ひとりひとりにあわせたサポート情報をご提供する「マイサポーター」(192ページ)をご利用いただけます。マイサポーターでは下記のサポートなどをご提供しています。
  - バイオに関する技術的な質問をインターネット経由で受け付け、電子メールでご返信する「テクニカルWebサポート」
    詳しくは、「マイサポーターでテクニカルWebサポートを利用する」(193ページ)をご覧ください。
  - ホームページから、電話サポートのご予約をしていただける「VAIOコールバック 予約サービス」
    詳しくは、「マイサポーターでVAIOコールバック予約サービスを利用する」(193ページ)をご覧ください。
  - オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、使いかたなどのご案内をさせていただく「VAIOリモートサービス」
    詳しくは、「VAIOリモートサービス」(189ページ)をご覧ください。
- バイオユーザーの皆様どうしでバイオに関する「投稿」、「質問」、「回答」などのやりとりを行う情報交換サイト「VAIO Hot Street(バイオホットストリート)」(194ページ)をご利用いただけます。

※2006年6月現在

VAIOカスタマー登録を行っていただいた場合に発行されるもの

❑ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。

ひとつのIDとパスワードで、ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスでのお客様ご本人の認証（ログイン＝ご本人様であることの確認）に利用でき、またすでに他のIDをご所有の場合もそれらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。

My Sony IDとMy Sony ID用パスワードの文字列はお客様が設定された任意の文字列で取得できます。

このMy Sony IDは、VAIOホームページやソニーグループの各種ホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただくために大切なものです。My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

VAIOカスタマー登録は、インターネット経由で行うことができます。

！ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などの登録内容の変更手続きは、VAIOホームページ内（http://www.vaio.sony.co.jp/）のページ上で行うことができます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［VAIOオンラインカスタマー登録］をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、または後でするときは、画面を閉じてください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」と「お客様サポート番号」が表示されます。

!ご注意
表示された番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。

ヒント
「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

!ご注意
VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

ステップ6:
基本設定を行う

Do VAIOの設定をする

Do VAIOとは

Do VAIOは、映像や音楽、デジタル写真などをコンピュータで楽しむための統合プレーヤーです。

はじめてDo VAIOを使うときは、次の手順に従ってテレビを見るためのチャンネル設定（アナログテレビチューナー搭載モデル）や、Do VAIOで使用するフォルダの設定を行ってください。
アナログテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合、基本設定はアンテナを接続してから行ってください（45ページ）。

！ご注意
Do VAIOの準備を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。

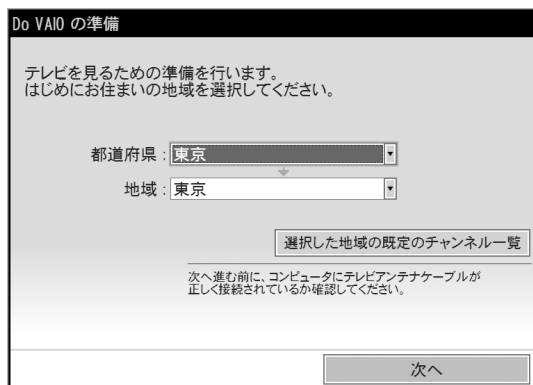
❑ アナログテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合

1 **リモコンのVAIOボタンを押すか、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。**

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

2 **[次へ]をクリックする。**

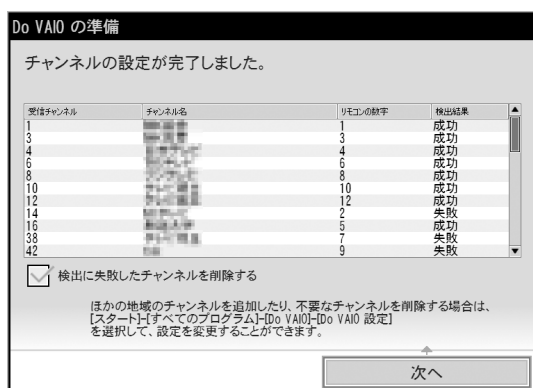
「テレビを見るための準備を行います。はじめにお住まいの地域を選択してください。」画面が表示されます。

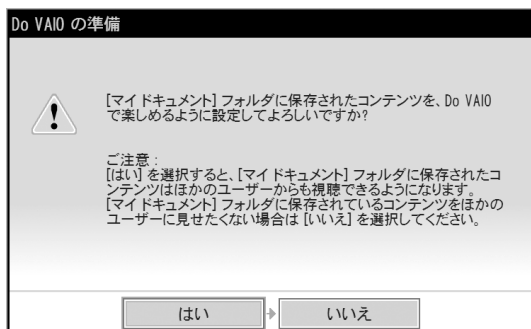
3 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。

「制限付きアカウント」をもつユーザーでログオンしている場合、テレビの設定を行うことはできません。そのまま、手順4に進んでください。

ヒント
[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

5 [検出に失敗したチャンネルを削除する]が☑になっていることを確認して[次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOを使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。

ヒント
- [検出に失敗したチャンネルを削除する]を☐にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。チャンネルの追加や削除はあとで行うことができるため（75ページ）、通常は☑のままにしておくことをおすすめします。
- 「制限付きアカウント」をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOを使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。手順6に進んでください。

6 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを、Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。

Do VAIOの基本設定が完了します。

ヒント

[はい]をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。
また、[いいえ]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで利用しません。

ヒント

- Do VAIOの基本設定をあとから変更する場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。
- Do VAIOの操作方法については、「バイオ電子マニュアル」([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]の順にクリックする。)またはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

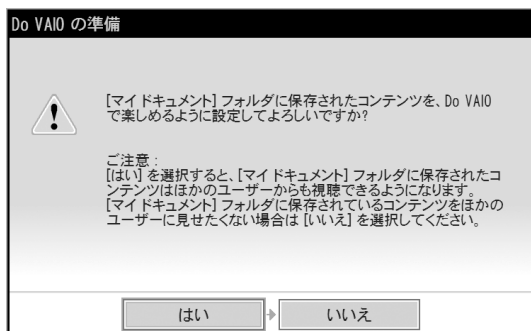
❑ デジタルテレビチューナー搭載モデルをお使いの場合

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

2 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを、Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

3 [はい]をクリックする。

「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。

Do VAIOの基本設定が完了します。

ヒント

[はい]をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。
また、[いいえ]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで利用しません。

ヒント

- Do VAIOの基本設定をあとから変更する場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。
- Do VAIOの操作方法については、「バイオ電子マニュアル」([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]の順にクリックする。)またはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

チャンネル設定を変更する(アナログテレビチューナー搭載モデル)

Do VAIOをはじめて使うときに行う「Do VAIOの準備」で、チャンネル設定をしても映らないチャンネルがあったり、ご使用の地域で受信できるチャンネルと実際のチャンネルが異なる場合は、次の手順でチャンネル設定を変更することができます。

!ご注意
「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてから行ってください。

一部のチャンネルが映らない場合

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO設定]をクリックする。

「設定」画面が表示されます。

2 [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。

「チャンネルの設定」画面が表示されます。

3 チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、[削除]をクリックする。

4 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

選択したチャンネルが一覧から削除されます。

5 ［追加］をクリックする。

「チャンネルの追加」画面が表示されます。

6 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、［OK］をクリックする。

［OK］をクリックすると、一覧にチャンネルが追加されます。
映らないチャンネルについて、手順3〜6を繰り返し、設定してください。

ヒント
チャンネル名は、［指定した地域のチャンネル］または［ほかの地域のチャンネル］の一覧から選択してください。ご希望のチャンネルが一覧に含まれていない場合は、［指定した地域のチャンネル］の一覧にチャンネル名を入力することができます。

すべてのチャンネルが映らない場合

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO設定］をクリックする。

「設定」画面が表示されます。

2 ［テレビ・ビデオ（チャンネル設定）］をクリックする。

「チャンネルの設定」画面が表示されます。

3 ［チャンネル一覧の作り直し］をクリックする。

ここを
クリックする。

4 確認画面が表示されるので、［はい］をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

5 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。

Do VAIO の準備

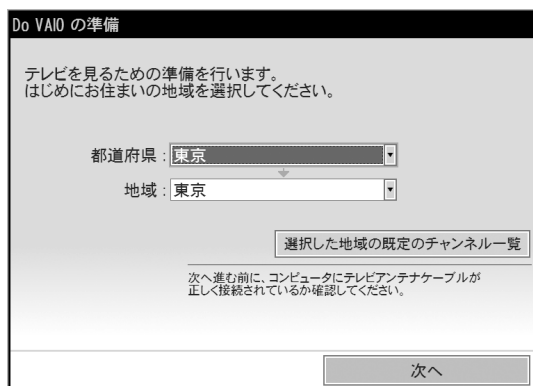
テレビを見るための準備を行います。
はじめにお住まいの地域を選択してください。

都道府県：東京
地域：東京

選択した地域の既定のチャンネル一覧

次へ進む前に、コンピュータにテレビアンテナケーブルが
正しく接続されているか確認してください。

次へ

ヒント
［選択した地域の既定のチャンネル一覧］をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

6 ［次へ］をクリックする。

チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

7 ［検出に失敗したチャンネルを削除する］が☑になっていることを確認して［完了］をクリックする。

ヒント
［検出に失敗したチャンネルを削除する］を☐にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。通常は☑のままにしておくことをおすすめします。

ステップ7:
バイオをはじめる前の準備を行う

引き続き、「バイオをはじめる前の準備」で設定を行います。
「バイオをはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、[バイオをはじめる前の準備]をクリックする。

「バイオをはじめる前の準備」が表示されます。

ヒント
「バイオをはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

❑ **マウスの使いかた・文字入力について知りたい。**
→次ページをご覧ください。

❑ **インターネットに接続したい。**
→94ページをご覧ください。

❑ **Windowsの基本操作を知りたい。**
→「できるWindows for VAIO」をご覧ください。
(「バイオ電子マニュアル」の[できるWindows for VAIO]をクリックする(8ページ)。)

パソコンの基本操作について

ここでは、パソコンの基本的な使いかたである「マウスやタッチパッドの操作」「文字入力」「データのバックアップ」について説明します。

マウスとタッチパッドの基本操作

マウスやタッチパッドは、画面上の矢印 (ポインタ) を動かしてパソコンに指示を送るためのものです。
ポインタは、マウスやタッチパッドの動きと同じ動きをします。

指示を送るには、まず (ポインタ) を移動させて、指示を送るためのボタンなどの上にポインタをあわせる必要があります。

ヒント
マウスやタッチパッドで (ポインタ) を動かすと、場所や作業の状態によってポインタの形が変わります。

■マウスを使う場合

マウスは机の上などの平らな場所に置いて使います。(マウスパッドの使用をおすすめします。)
マウスを動かすと、マウスの動きと同じように画面上の (ポインタ) も動きます。

「これ以上マウスを動かすことができない!」という場合
マウスを持ち上げている間は (ポインタ) は動かないため、いったんマウスを上に持ち上げて、操作しやすい場所にマウスを置き直してください。

■タッチパッドを使う場合

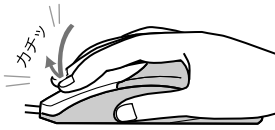
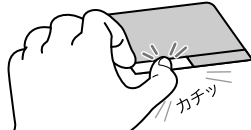
タッチパッドは、指でなぞって使います。
タッチパッド上を指でなぞると、指の動きと同じように画面上の (ポインタ) も動きます。

「タッチパッドの端まで指がきてしまい、これ以上動かせない!」という場合
いったん指をタッチパッドから離し、操作しやすい場所に指を置き直してください。

ヒント
(ポインタ) を移動させる場合は、タッチパッドから指が離れないように動かしてください。タッチパッドを軽くたたいてしまうと、ポインタに異なる指示を与えることになります。

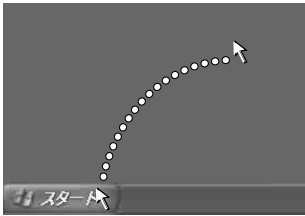
マウスの基本操作（その1）

【クリックする】
左ボタンをゆっくり1回「カチッ」と押して、指を離します。

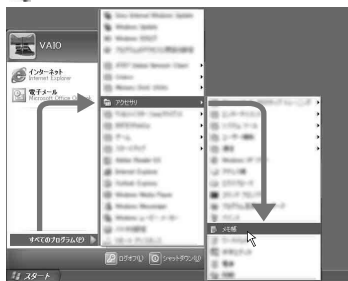
マウス

タッチパッド

■メモ帳の開きかた

クリックを使って、メモ帳の開きかたを説明します。

1 [スタート] ボタンに（ポインタ）をあわせる。
マウスやタッチパッドを操作して、ポインタを動かします。

2 [スタート] ボタンをクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

3 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [メモ帳] の順に（ポインタ）をあわせる。

4 [メモ帳] をクリックする。
メモ帳が表示されます。

5 （閉じる）をクリックする。

メモ帳が終了します。

ヒント
タッチパッドを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

右クリックする
クリックと同じように、右ボタンをゆっくり1回「カチッ」と押して、指を離します。
次ページで説明するダブルクリックが上手にできない場合は、右クリックして表示されたメニューを選択することで、ダブルクリックと同じ働きをします。

ヒント
メモ帳でテキストファイルの表示や編集をすることができます。
メモ帳に文字を入力するには、「文字入力」の項目をご覧ください。

ヒント
「スタート」メニューが表示されるまで、時間がかかる場合があります。
あせって何度も [スタート] ボタンをクリックしないようにしてください。

ヒント
▶が付いているメニューに（ポインタ）をあわせると、新たなメニューが表示されます。
この場合は、ポインタをあわせるだけでクリックをする必要はありません。

マウスの基本操作（その2）

【ダブルクリックする】
左ボタンを2回続けて「カチカチッ」と押して、指を離します。

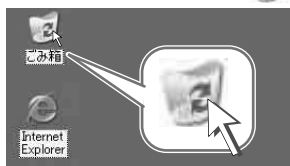
マウス

タッチパッド

ヒント
- タッチパッドを軽く2回続けてたたいても同じ働きをします。
- デスクトップ上などのアイコンは、ダブルクリックで開くことができます。
- すばやく2回続けて左ボタンを押すことができない場合は、ダブルクリックの機能とは異なる働きをする場合があります。その場合は、いったんデスクトップ上の余白をクリックし、操作をやり直してください。

■ごみ箱の開きかた

ダブルクリックを使って、ごみ箱の開きかたを説明します。

1 デスクトップ画面上の（ごみ箱）に（ポインタ）をあわせる。

2 （ごみ箱）をダブルクリックする。

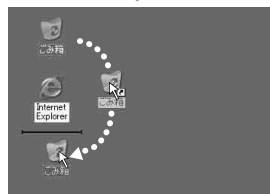
ごみ箱が開きます。
開いたごみ箱は、（閉じる）をクリックして閉じます。

ヒント

ポインタの形状が や になっている場合は、操作が遅くなったりウィンドウが開くまでに時間がかかる場合があります。ポインタの形状が になるまで待ってから、次の操作を行うようにしてください。

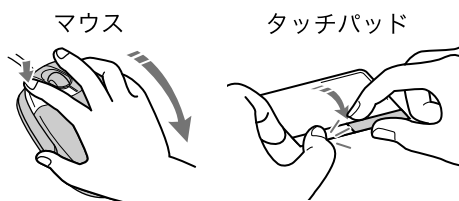
マウスの基本操作（その3）

【ドラッグアンドドロップする】
ごみ箱の位置の変更を例として、ドラッグアンドドロップのしかたを説明します。

ごみ箱に（ポインタ）をあわせます。

ドラッグする

左ボタンを押したまま、マウスや、タッチパッド上の指を動かしたい方向に動かします。

マウス

タッチパッド

ドロップする

目的の場所で左ボタンを離します。
ごみ箱の位置が一番下に変更されました。

文字入力

ひらがなや漢字を入力するには、「ローマ字入力」と「かな入力」という2つの方法があります。
例えば「さ」と入力したい場合…
ローマ字入力では「S」と「A」を順に押し、かな入力では「さ」を押します。
かな入力の方が押すキーが少ないのですが、ローマ字入力で使用するキーの方が数が少ないので覚えたり探したりしやすいという利点があります。
ここでは、「ローマ字入力」について説明することにします。

■使用するキー

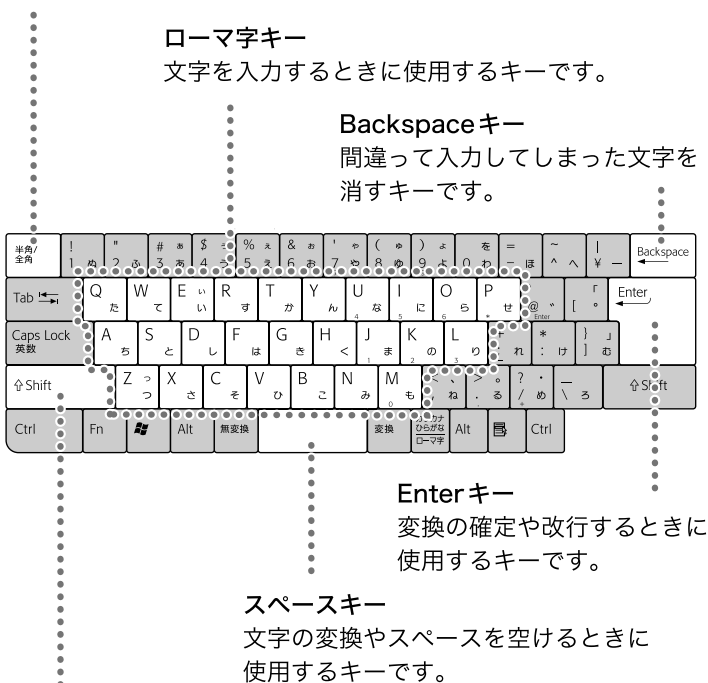
キーボードにはたくさんのキーがありますが、文字入力で使用する主なキーは以下になります。
たとえ入力したいキーが見つからなくても、あせらずゆっくり探せば良いのです。

半角/全角キー
入力モードを切り替えるキーです。

ローマ字キー
文字を入力するときに使用するキーです。

Backspaceキー
間違って入力してしまった文字を消すキーです。

Enterキー
変換の確定や改行するときに使用するキーです。

スペースキー
文字の変換やスペースを空けるときに使用するキーです。

Shiftキー
各キーの上半分に印字されている文字を入力するときに使用するキーです。

※キーボードの形は一例です。

句読点などを入力する場合

入力したい文字	押すキー
句点（。）	＞。 ．る
読点（、）	＜、 ，ね
カギカッコ（「 」）	｛「 ［。 、 ｝」 ］む

■ローマ字変換早見表

【清音】

ん NN(XN)	わ WA	ら RA	や YA	ま MA	は HA	な NA	た TA	さ SA	か KA	あ A
	ゐ* WI	り RI	ゆ YU	み MI	ひ HI	に NI	ち TI(CHI)	し SI(SHI)	き KI	い I
	う WU	る RU	よ YO	む MU	ふ HU(FU)	ぬ NU	つ TU(TSU)	す SU	く KU	う U
	ゑ* WE	れ RE		め ME	へ HE	ね NE	て TE	せ SE	け KE	え E
	を WO	ろ RO		も MO	ほ HO	の NO	と TO	そ SO	こ KO	お O

*:変換が必要です。

【濁音、拗音】

ぱ PA	ば BA	だ DA	ざ ZA	が GA
ぴ PI	び BI	ぢ DI	じ ZI(JI)	ぎ GI
ぷ PU	ぶ BU	づ DU	ず ZU	ぐ GU
ぺ PE	べ BE	で DE	ぜ ZE	げ GE
ぽ PO	ぼ BO	ど DO	ぞ ZO	ご GO

【小さい文字】

ゃ LYA(XYA)	っ LTU(XTU)	ぁ LA(XA)
ゅ LYU(XYU)		ぃ LI(XI)
ょ LYO(XYO)		ぅ LU(XU)
		ぇ LE(XE)
		ぉ LO(XO)

■文字の入力

例題をもとに入力方法を説明します。

例題：VAIO　ひらがな　カタカナ　漢字　！

文字を入力する場合は、単語ごとに入力することをおすすめします。

では、マウス操作の項目を参照しながらメモ帳を開いて、文字を入力します。
文字はカーソルの位置から入力されます。

■英数字（アルファベット）の入力方法

1 **半角/全角（半角/全角キー）を押して、入力モードを英数字入力にする。**
デスクトップ画面右下の方に表示されている言語バーの表示を確認します。

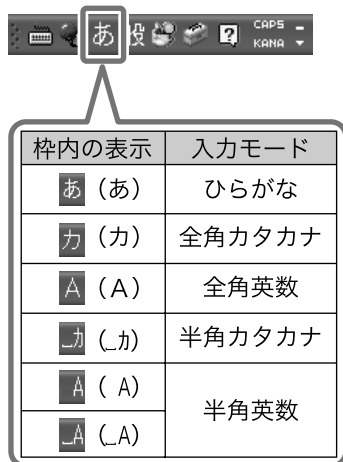
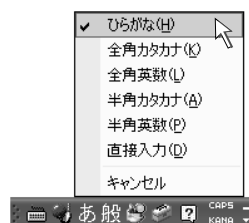
ここが「A」になっていることを確認する。

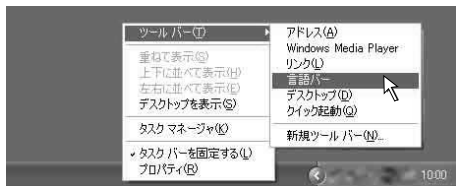
2 **Shiftキーを押しながら「VAIO」と入力する。**

小文字で入力する場合は、そのまま「vaio」と入力してください。

ヒント

文字の入力モードは言語バーの表示で確認することができます。

枠内の表示	入力モード
あ（あ）	ひらがな
カ（カ）	全角カタカナ
A（A）	全角英数
_ｶ（_ｶ）	半角カタカナ
A（ A）	半角英数
_A（_A）	

入力モードは言語バーから変更することができます。
入力モード表示部分をクリックして表示されたメニューから、お好みの入力モードにポインタをあててクリックしてください。

（言語バー）の表示について

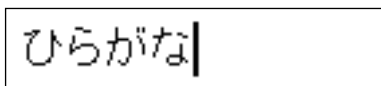
- 言語バーの一部しか表示されていない場合や、タスク バー上にある言語バーをデスクトップ上に移動させたい場合は、言語バー左の（キーボード）をクリックして表示されたメニューから[言語バーの表示]をクリックします。
- 言語バーが画面上のどこにも見当たらない場合は、タスク バーのいずれかの場所を右クリックして表示されたメニューの［ツール バー］にポインタをあわせて、［言語バー］をクリックします。

■ひらがなの入力方法

1 **半角/全角（半角/全角）キーを押して、入力モードをひらがな入力にする。**
デスクトップ画面右下の方に表示されている言語バーの表示を確認します。

ここが「あ」になっていることを確認する。

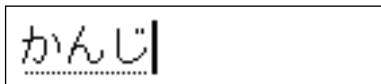
2 **「ひらがな」と入力する。**
H→I→R→A→G→A→N→Aの順にキーを押します。

ひらがな

3 **Enterキーを押す。**
下線部分が消えて、入力が確定されます。

ひらがな

■漢字の入力方法

1 **ひらがなが入力できる状態で「かんじ」と入力する。**
K→A→N→N→J→Iの順にキーを押します。

かんじ

2 **スペースキーを押す。**
「かんじ」が「漢字」に変換されます。

漢字

3 **Enterキーを押す。**
下線部分が消えて、入力が確定されます。

漢字

ローマ字入力できない場合

押したキーの右下に印字されているひらがなが入力されてしまう場合は、かな入力になっています。
（言語バー右下の「KANA」が濃い青色になっています）
ローマ字入力に変更するためには、CAPS KANA（KANA）をクリックしてください。

ヒント
小さい文字を入力する場合は、「ローマ字変換早見表」を参照してください。

ヒント
スペースキーを押すたびに文字は変換されます。

ヒント
「幹事」を入力したい場合は、手順2で「幹事」が表示されるまでスペースキーを押してください。

■カタカナの入力方法

1 ひらがなが入力できる状態で「カタカナ」と入力する。

K→A→T→A→K→A→N→Aの順にキーを押します。

2 「カタカナ」が表示されるまでスペースキーを数回押す。

「かたかな」が「カタカナ」に変換されます。

カタカナ

3 Enterキーを押す。

下線部分が消えて、入力が確定されます。

カタカナ

入力モードが「半角カタカナ」から元に戻せなくなった場合

無変換（無変換キー）を押します。

(言語バー)の入力モードを確認しながら、無変換キーを数回押してください。

ヒント

F7キーを押しても、カタカナに変換することができます。

■記号の入力方法

1 Shiftキーを押しながら1キーを押す。

2 Enterキーを押す。

下線部分が消えて、入力が確定されます。

ヒント

Shiftキーを押しながらキーを押すと、キー左上に印字されている記号を入力することができます。

特殊な記号を入力するには

「〒」などは、スペースキーを数回押して変換することもできます。

例：「ゆうびん」→「〒」、
　　「おんぷ」→「♪」など。

■間違って入力した文字を削除するには

消したい文字の右側にカーソルをおいて、Backspaceキーを押します。

（例１）

カタカマ

カタカ

（例２）

ケタカナ

タカナ

BackspaceキーとDeleteキーの主な違い

カーソルが置かれている側のどちらの文字を削除するかが違います。

キー	削除される文字
Backspaceキー	カーソルの左側
Deleteキー	カーソルの右側

◎**文字入力の追記**

改行する

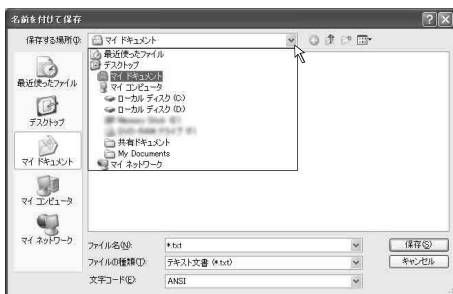
改行をしたい位置でEnterキーを押します。

保存する

入力した文章を保存します。

1 [ファイル] をクリックする。

2 表示されたメニューから、[名前を付けて保存] に (ポインタ) をあわせてクリックする。
「名前を付けて保存」画面が表示されます。

3 「保存する場所」の をクリックする。

4 表示されたリストから [デスクトップ] をクリックする。
ここでは、例としてデスクトップに保存します。

5 「ファイル名」にファイルに付けたい名前を入力する。

6 [保存] をクリックする。
デスクトップ画面上に文書が保存されます。

違う文字が入力されてしまう場合

- ローマ字入力になっているか確認してください。
- Num Lockランプが消灯しているか確認してください。Num Lockランプが点灯している場合は、Num Lkキーを押すとNum Lockランプが消灯します。

新しく文字を入力すると、入力済みの文字が消えてしまう場合

Insert または Insert Pause (Insertキー) が押されている可能性があります。
再度 Insert または Insert Pause (Insertキー) を押してから、入力し直してください。

ヒント
表示されたリストから保存したい場所を指定して、お好きな場所に保存することができます。

ヒント
保存したファイルは、ダブルクリックして開くことができます。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
テレビ/ミュージック/フォト/DVD
増設/リカバリ
困ったときは/サービス・サポート
注意事項

データのバックアップ

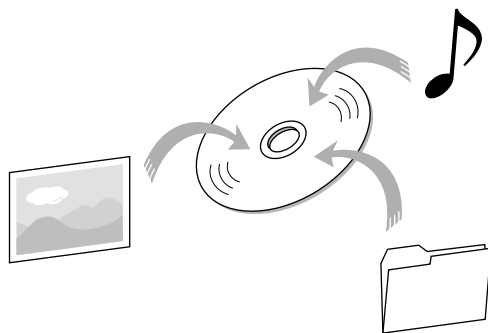
お手持ちのバイオを使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルカメラで撮った写真などさまざまなデータが保存されていきます。
保存したデータをそのままにしておくと、バイオのハードディスクの容量を使い切ってしまったり、なんらかのトラブルやコンピュータウイルスの感染などでデータが壊れてしまう可能性があります。
このようなことを防ぐためにも、CDやDVDにデータのバックアップをすることをおすすめします。

バックアップとは？
バイオ内に保存してあるデータを、別の記録メディア（CDやDVD、“メモリースティック”など）に同じ内容のデータを保存することです。

例えばこんなデータ

- 大切なデータや作成したデータ
  （友人とのメール、アドレス帳、家計簿など）
  ⇨万一のトラブルに備えておきます。
- デジタルカメラで撮影した写真
  ⇨アルバム代わりとしたり、友人に送ったりするのに便利です。
- ハードディスクに撮りためたテレビ番組（テレビモデル）
  ⇨バックアップしたデータを削除することでハードディスク容量を確保できます。

店頭で売られているディスクには、さまざまな種類があります。
目的にあったディスクを使用するようにしてください。

お使いの機種により、使用できるCD／DVDが異なる場合があります。
使用できるディスクについては、この説明書の索引前にある「使用できるディスクとご注意」のページをご覧ください。
また、「使用できるディスクとご注意」は、「バイオ電子マニュアル」でもご覧になれます。

万一のトラブルに備えてバックアップを行ってください。

ここでは、データのバックアップに使用する「ディスクの種類」について説明します。

■ディスクの種類

CD

保存可能な最大容量は650 MBと700 MBの2種類が一般的で、650 MBのディスクでフロッピーディスクのおよそ450枚分のデータを保存することができます。
写真や音楽を保存するのに適しています。

データ保存用CDには「CD-R」と「CD-RW」があります。

ヒント

CD-R／CD-RWには「音楽用」と「データ用」の2種類がありますが、中身はまったく同じです。この2つの異なる点は値段で、「音楽用」には音楽などの著作物を私的に使用することを目的とした録音に対する著作権への補償金が含まれています。音楽を保存する場合は「音楽用」のCD-R／CD-RWをご使用ください。

【CD-RとCD-RWの違い】

どちらも見た目には違いはありませんが、以下のような違いがあります。

CD-R	保存したデータを変更したり、削除したりすることはできません。 ただし、容量が残っている場合は追加保存することもできます。
CD-RW	保存したデータを変更したり、削除したりすることができます。 使用するドライブやプレーヤーによっては、CD-RWのデータを読めないことがあります。

＊CD-RWに保存したデータを削除する場合は、そのCD-RWに保存されているデータを一括で削除します。部分的に削除することはできません。

【使い分けかた】

CD-R	●デジタルカメラで撮影した写真などを友人に送る場合 ●仕事のデータを取引先に納品する場合　など
CD-RW	●データを定期的にバックアップする場合 ●何度もデータを変更する可能性がある場合　など

ご注意

一部の再生機器では、データを保存したCD-R／CD-RWを認識できない場合があります。

DVD

大きさはCDと同じですが、片面１層記録DVDの場合はCDのおよそ7倍の4.7 GBの容量を保存することができます。
DVDには大容量のデータが保存できるため、デジタルビデオカメラで撮影した映像などを保存する際によく使用されます。

ヒント
DVDには大きく分けて「ビデオDVD」と「データDVD」の２種類がありますが、中身はまったく同じです。
この２つの異なる点は値段で、「ビデオDVD」にはテレビ番組などを録画するための私的録画補償金が含まれています。

【各ディスクの違い】

DVD-R	•保存したデータを変更したり、削除したりすることはできません。 ただし、容量が残っている場合は追加保存することもできます。 •再生可能なDVDプレーヤーが最も多く、低価格なので配布用メディアとして適しています。
DVD-R DL (Dual Layer)	•記録層を２つ持ち、一般的なDVD（片面１層）のおよそ2倍の8.5 GBのデータを保存することができます。 •記録層の数をのぞけばDVD-Rと構造はほぼ同じで、DVDプレーヤーで再生可能です。 •一番新しいフォーマットのため、再生できない機器もあります。
DVD-RW	•保存したデータを変更したり、削除したりすることができます。 •再生できない機器もあります。
DVD+R	•保存したデータを変更したり、削除したりすることはできません。 ただし、容量が残っている場合は追加保存することもできます。 •再生可能なDVDプレーヤーが多く、低価格なので配布用メディアとして適しています。
DVD+R DL (Double Layer)	•記録層を２つ持ち、一般的なDVD（片面１層）のおよそ2倍の8.5 GBのデータを保存することができます。 •記録層の数をのぞけばDVD+Rと構造はほぼ同じで、DVDプレーヤーで再生可能です。 •新しいフォーマットのため、再生できない機器もあります。
DVD+RW	•保存したデータを変更したり、削除したりすることができます。 •再生できない機器もあります。
DVD-RAM	•カートリッジに入っているタイプのものと、入っていないタイプのものがあります。 •DVD-RAM対応の機器でのみ再生や保存ができます。

＊DVD+RW／DVD-RWに保存したデータを削除する場合は、そのDVD+RW／DVD-RWに保存されているデータを一括で削除します。部分的に削除することはできません。

「+」と「ー」の違い
「DVD+」も「DVD-」も基本的な仕組みはほぼ同じです。
この２つの異なる点は、「DVD+」ではDVDプレーヤーなどで再生可能にするための処理（ファイナライズ）が必要ない点です。

【使い分けかた】

DVD-R DVD+R	デジタルカメラで撮影した旅行の写真や 編集したムービーを友人に送ったりする場合　など	• 再生できる機器が多い • 低価格
DVD-RW DVD+RW	• 録画したテレビ番組を保存する場合 • 編集したムービーや音楽ファイルを 保存する場合　など	何度も変更が可能
DVD-RAM	ハードディスクをバックアップする場合　など	何度も変更が可能

ご注意

DVDには、「−」「+」「R」「RW」「RAM」とさまざまな種類があります。DVDメディアを購入する際には、お手持ちのバイオのドライブがどのメディアに対応しているのかをチェックしておく必要があります。
お手持ちのバイオで使用できるディスクは「使用できるディスクとご注意」をご確認ください。
また、データを渡す場合には、渡す相手の環境がどのDVDメディアを読み込むことができるのかなども忘れずに確認することをおすすめします。

■バックアップ/保存する

- お手持ちのバイオには「Roxio DigitalMedia」ソフトウェアなどのディスク作成のためのソフトウェアが付属されています。
  作成方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
- バックアップについてはVAIOカスタマーリンク ホームページ内「バックアップ講座」(http://vcl.vaio.sony.co.jp/howto/backup/) でも紹介しています。
- リカバリ (ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すこと) を行う前には、データのバックアップを行ってください。
  リカバリ前のバックアップについては、「リカバリについて」をご覧ください。

ご注意

バックアップ/保存するデータには、著作権保護などの注意が必要なものがあります。
「著作権について」や「使用できるディスクとご注意」をご確認ください。

「バイオ電子マニュアル」について

「バイオ電子マニュアル」には、ここで紹介した「マウスやタッチパッドの使いかた」「文字入力」「データのバックアップ」の他にも、いろいろなバイオの使いかたなどが記載されています。

「バイオ電子マニュアル」を見るには…

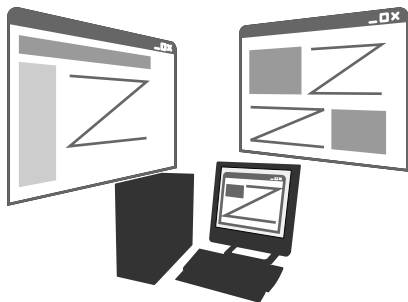
[スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル] をクリックします。

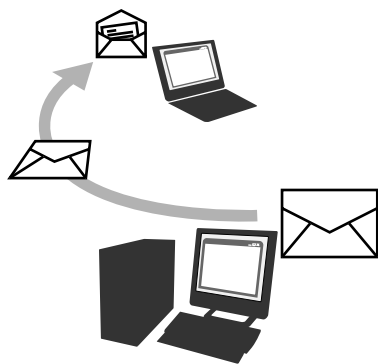
インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社(プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ(ISP)などと呼びます)と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

インターネットでできること

ホームページを見る

ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする

インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。

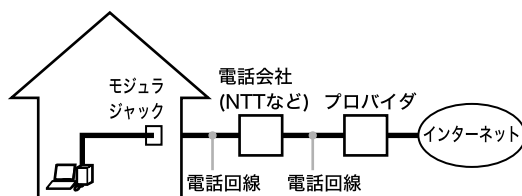
こんなこともできます

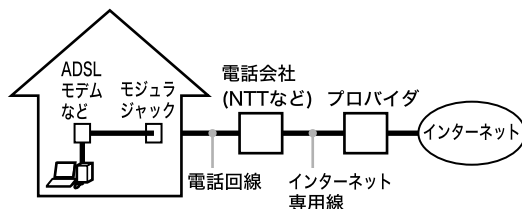
- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー(IM)というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット(文字による会話)などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作ってほかのインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開して他の人に見てもらえるようにすることができます。

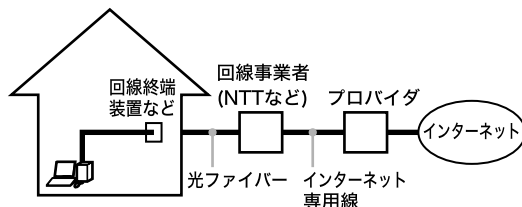
インターネット接続サービスの種類

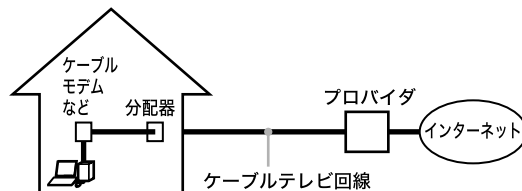
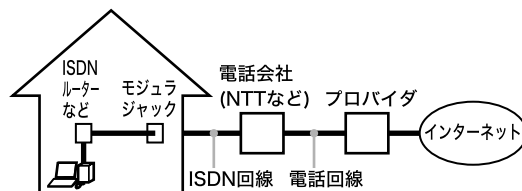
インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

❑ 一般電話回線

一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータならほかに機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光（FTTH）ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ 光（FTTH）

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

❑ その他の接続サービス

- CATVインターネット
  ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光（FTTH）と同程度で接続ができます。
  すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
光（FTTH）	△	◎	◎
CATVインターネット	△	○／◎	◎
ISDN	○	△	△

◎：最適　○：適している　△：あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。
プロバイダについて詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISPサインアップ」（207ページ）をご覧ください。
また、契約の際に本機を電話回線に接続する必要がある場合は、「一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ」の「一般の電話回線につなぐときは」（48ページ）をご覧ください。

!ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。
なお、本機のコネクタ部分については、「一般電話回線／インターネット接続用機器につなぐ」（48ページ）でご確認いただけます。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報（電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど）がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレスあてに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られるようになる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書（WordやExcelなど）を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内の他の文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。

- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。
コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。

!ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton Internet Security」ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、下記のシマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

ウイルス定義ファイルなどのアップデートについて
本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行してください。なお、「LiveUpdate」を実行するには、インターネットに接続している必要があります。次の手順で「LiveUpdate」を行ってください。

1. [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]→[Norton Internet Security]をクリックする。
2. 表示される画面の、[LiveUpdate]をクリックする。
3. 指示に従って「LiveUpdate」を実行してください。

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター
ホームページ:http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

!ご注意
本センターをご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入いただくか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。
※ テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレスあてに通知いたします。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
本機取扱説明書の「Windowsを準備する」(61ページ)の手順に従ってWindowsをセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。
また、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順にクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

!ご注意
Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html
Windows XPサービスパック関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**
  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモしたうえで、国民生活センターなどにお問い合わせください。
- **フィッシング詐欺**
  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。
  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。
- **インターネットオークション詐欺**
  インターネットオークションでお金だけ支払わせて商品を送らない、商品を送らせておいてお金を支払わないという詐欺です。
  取引相手が信頼できるかどうかを過去の取引履歴などから判断することが重要です。取引履歴をどう読み取るかなどの詳しい判断方法についてはインターネットオークションのサービス提供者が提供する情報をご覧ください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力をやめるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口
電話番号：（0466）30-3016
受付時間：平日 10:00～20:00
土・日・祝日 10:00～17:00

テレビ／ミュージック／フォト／DVD

Windowsを起動したとき ➩（100ページ）

Windowsを起動しない「インスタントモード」で ➩（121ページ）

テレビ／ミュージック／フォト／DVDを楽しむには

本機には、Windowsを起動し、Do VAIOなどのソフトウェアを使って、テレビやDVD･音楽･写真などを楽しむ方法がいろいろあります。ここでは一例として、以下のようなことがしたいときの操作方法を説明します。

こんなことがしたい	ソフトウェア	ページ
テレビ		
テレビを見たい	Do VAIO	（101ページ）
録画予約したい	Do VAIO	（102ページ）
録画した番組を見たい	Do VAIO	（103ページ）
ミュージック		
音楽CDからコンピュータに取り込みたい	Do VAIO	（105ページ）
音楽を聞きたい	Do VAIO	（106ページ）
音楽CDを作りたい	SonicStage	（107ページ）
フォト		
デジタルカメラから写真を取り込みたい	Do VAIO	（109ページ）
写真を見たりスライドショーをしたい	Do VAIO	（111ページ）
フォトアルバムを作りたい	PictureGear Studio	（112ページ）
DVD		
DVDを見たい	Do VAIO	（115ページ）
録画した番組をDVDにしたい	Do VAIO	（116ページ）
オリジナルDVDを作りたい	Click to DVD	（119ページ）

！ご注意

Do VAIOを使うときは準備が必要です。「基本設定を行う」（72ページ）をご覧になり、テレビを見るためのチャンネル設定や使用するフォルダの設定を行ってください。

ヒント

Windowsを起動しなくても、手軽にインスタントモードでテレビやDVD、音楽などが楽しめます。インスタントモードについて詳しくは、「インスタントモードを使う」（アナログテレビチューナー搭載モデル）（121ページ）をご覧ください。

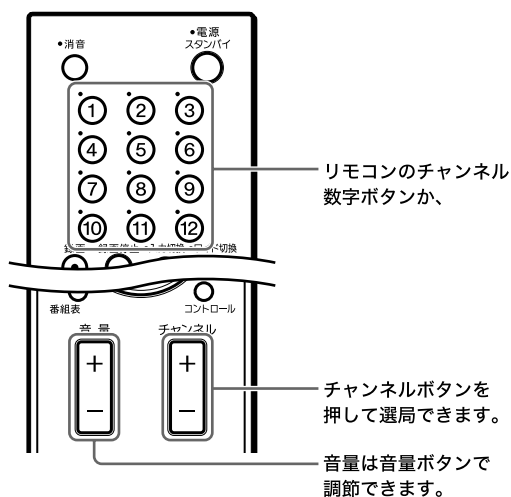
テレビ・ビデオ
（アナログテレビチューナー搭載モデル）

テレビ番組を見る

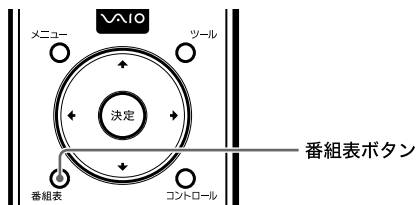
テレビ番組の視聴はDo VAIOで行います。起動も選局もリモコンで操作できます。

1 リモコンのテレビボタンを押す。

Do VAIOが起動し、テレビ画面が表示されます。

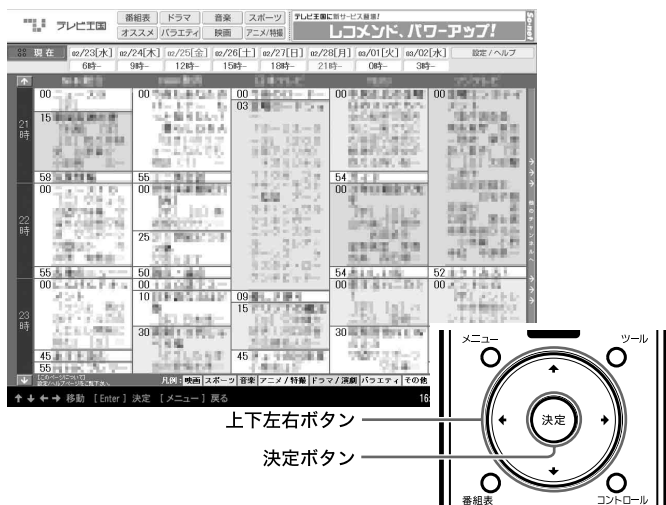
2 見たいチャンネルを選ぶ。

録画予約する

テレビ番組の録画予約はインターネット電子番組表から行います。わずか3ステップで予約が完了します。

1　リモコンの番組表ボタンを押す。

Do VAIOが起動し、インターネット電子番組表が表示されます。

! ご注意

- この操作を行うときは、インターネットに接続している必要があります。
- この操作を行うためには、画面の解像度を1024 × 768 以上にしている必要があります。

2　録画したい番組をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。

「録画の設定」画面が表示されます。

3 ［録画予約を追加］をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押す。

録画予約が設定されます。

！ご注意
録画予約を設定しても、予約録画開始時に本機の電源が切れていると予約録画は行われません。予約録画開始前は本機の電源を切らず、スタンバイモードまたは休止状態にしてください。

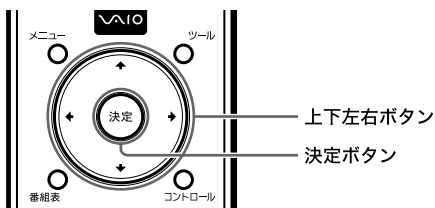
録画したテレビ番組を見る

録画したテレビ番組の再生もリモコンから操作できます。サムネイルを使って一覧表示されるので目的のテレビ番組を簡単に見つけられます。

1 Do VAIOのメニューを表示する。

Do VAIOが起動しているときはリモコンのテレビボタンを押してからメニューボタンを押して、起動していないときはVAIOボタンを押して表示してください。

2 ［テレビ・ビデオ］をリモコンの上下ボタンで選んで右ボタンを押し、次に［すべてのビデオ］を上下ボタンで選んで右ボタンを押す。

3 見たいテレビ番組をリモコンの上下ボタンで選び、決定ボタンを押す。

テレビ番組の再生が始まります。

ヒント
録画したテレビ番組をすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。
先頭から再生したい場合は、見たい番組を選んだあとに［ツール］ボタンを押して表示されるメニューから［先頭から再生］を選んでください。

ミュージック

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音できます。自分だけの音楽ライブラリができあがります。

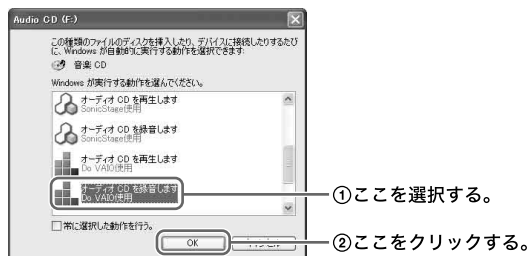
！ご注意
音楽CDの曲情報の取得にはCDDBサービスを利用しています。CDDBサービスの利用にはインターネット接続環境が必要です。インターネット接続については、「インターネットを始める」をご覧ください。

1 取り込みたい音楽CDを、本機のドライブに入れる。

音楽CDを取り込むソフトウェアを選ぶ画面が表示されます。

2 [オーディオCDを録音します Do VAIO使用]を選んで[OK]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
コンピュータの設定によっては、音楽CDを入れてもソフトウェアを選ぶ画面が表示されないことがあります。この場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[音楽]→[Do VAIOで音楽を取り込む]の順にクリックする。）

3 音楽の取り込みが自動的に始まります。

ヒント
- はじめてCDDBサービスを利用するときは、CDDBへの登録確認画面が表示されます。画面の指示に従って、CDDBへの登録を行ってください。
- 以前曲を取り込んだことがある音楽CDをドライブに入れている場合、録音を開始してよいかどうかを確認するメッセージ画面が表示されます。

音楽を聞く

取り込んだ音楽コンテンツをジュークボックス感覚で楽しむことができます。音楽CDを交換する手間はありません。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

2 [ミュージック]→[すべてのアルバム]の順にクリックする。

3 再生したいアルバムをクリックする。

音楽コンテンツの再生が始まります。

ヒント
音楽を聞くときにリモコンで操作する方法（アナログテレビチューナー搭載モデル）や、音楽CDを再生する方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[音楽]→[Do VAIOで音楽を聞く]の順にクリックする。）

音楽CDを作る

音楽CDの作成はSonicStageで行います。曲やアルバムを選んでお好みの音楽CDを作れます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［SonicStage］の順にポインタを合わせ、［SonicStage］をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 データの書き込まれていないCD-R／CD-RWを、本機のドライブに入れる。

3 ［音楽を転送する］にポインタを合わせ、［音楽CDの作成］をクリックする。

4 CDにしたい曲やアルバムを選択し、[→]をクリックする。

①曲を選択する。　②ここをクリックする。

「音楽CD」に曲が登録されます。

5 CDにしたい曲やアルバムをすべて登録したら、[◎]をクリックする。

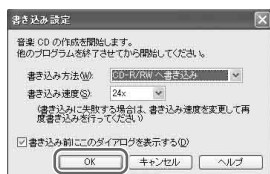
ここをクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

6 [OK]をクリックする。

ここをクリックする。

書き込みが始まります。

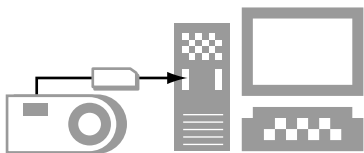
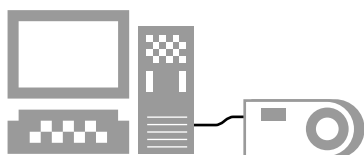
ヒント

- 曲の一覧は、アルバムをダブルクリックすると表示されます。
- マイ ライブラリの曲をCD-R／CD-RWに書き込む場合は、書き込みたい曲をあらかじめ「プレイリスト」などにまとめておくと便利です。

フォト

写真を取り込む

デジタルスチルカメラの写真を取り込んでバイオで管理できます。スライドショーやフォトアルバム作成で楽しめます。

!ご注意
写真を取り込むには、Do VAIOで楽しむコンテンツを保存するためのフォルダとして「マイ ピクチャ」フォルダが登録されている必要があります。詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

1 USBコネクタにデジタルスチルカメラを接続するか、“メモリースティック”などのメモリーカードをスロットに入れる。

Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されます。

ヒント
- ご利用可能なメモリーカードの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。
- デジタルスチルカメラやメモリーカードなどのメディアをコンピュータに接続する方法については、お使いの機器やメディアの取扱説明書をご覧ください。

2 [写真を取り込みます Do VAIO使用]をクリックし、[OK]をクリックする。

ヒント
コンピュータの設定によっては、メモリーカードを入れてもWindowsが実行する動作を指定する画面が表示されないことがあります。この場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[Do VAIOで写真を取り込む]の順にクリックする。）

3 [取り込み開始]をクリックする。

写真の取り込みが始まります。取り込みが終わると、取り込み結果を知らせるメッセージ画面が表示されます。

ヒント
写真の取り込み先や方法を設定することができます。
設定方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[Do VAIOで写真を取り込む]の順にクリックする。）

4 [閉じる]をクリックする。

ヒント
「取り込みの完了」画面で[スライドショー]をクリックすると、取り込んだフォトのスライドショーが始まります。

写真を見る

取り込んだ写真をDo VAIOで見ることができます。簡単な操作でスライドショーを楽しめます。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
写真を見るときにリモコンで操作する方法（アナログテレビチューナー搭載モデル）については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[写真]→[写真を見る]の順にクリックする。）

2 [フォト]→[フォルダ]の順にクリックする。

ヒント
手順2で[フォルダ]ではなく、[年]、[月]、[日]、[時間]、[曜日]を選ぶと、選んだ方法で並び替えられたデジタル写真がスライドショーで表示されるので、その中からデジタル写真を選ぶことができます。

3 見たいデジタル写真があるフォルダをクリックする。

スライドショーが開始されます。

フォトアルバムを作る

思い出の写真をフォトアルバムとしてまとめられます。作成はPictureGear Studioで行います。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［PictureGear Studio］→［ツール］の順にポインタを合わせ、［フォトアルバム］をクリックする。

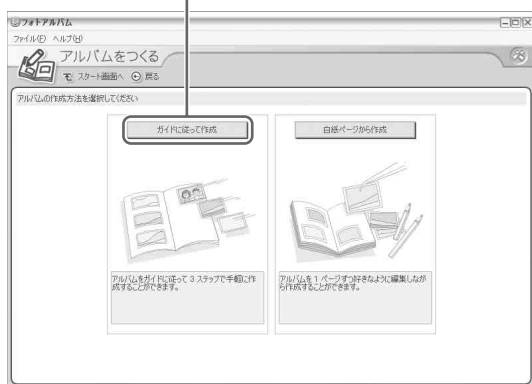
「フォトアルバム」画面が表示されます。

2 ［アルバムを作る］をクリックする。

ここをクリックする。

「アルバムをつくる」画面が表示されます。

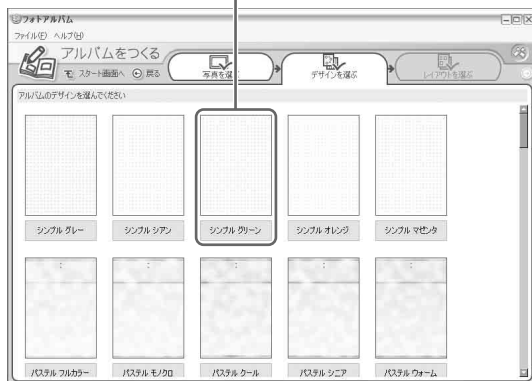
3 ［ガイドに従って作成］をクリックする。

ここをクリックする。

「写真を選ぶ」画面が表示されます。

4 アルバムにしたいカテゴリをクリックする。

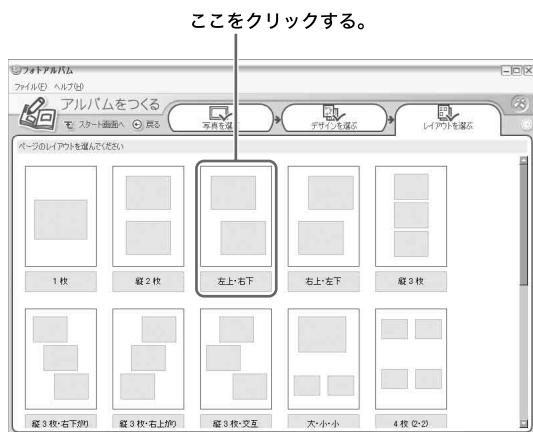
ここをクリックする。

「デザインを選ぶ」画面が表示されます。

5 アルバムのデザインを選んでクリックする。

ここをクリックする。

「レイアウトを選ぶ」画面が表示されます。

6 アルバムのデザインを選んでクリックする。

ここをクリックする。

フォトアルバムが完成します。

ヒント

編集機能を使用して、文字を入力したり、スタンプマーク／図形／カレンダーを貼り付けることができます。
また、完成したフォトアルバムは、保存／印刷／出力することもできます。
操作方法については「PictureGear Studio」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

DVD

DVDを見る

DVDの再生もDo VAIOで行えます。Do VAIOを起動してDVDをセットすればすぐに再生が始まります。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。**

Do VAIOが起動します。

ヒント
DVDを見るときにリモコンで操作する方法（アナログテレビチューナー搭載モデル）については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[映像]→[Do VAIOでDVDを見る]の順にクリックする。）

2 **再生したいDVDを、本機のドライブに入れる。**

DVDの再生が始まります。

！ご注意
ディスクの種類によっては自動的に再生が開始されないことがあります。このような場合は、[CD・DVD]→[DVD]の順にクリックし、DVDを入れたドライブ名をクリックしてください。

ヒント
DVDをすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。このとき、先頭から再生したい場合は、マウスを動かすと表示される画面下部の操作メニューから[ツール]をクリックし、表示されたメニューから[先頭から再生]をクリックしてください。先頭から再生されます。

録画したテレビ番組をDVDにする（アナログテレビチューナー搭載モデル）

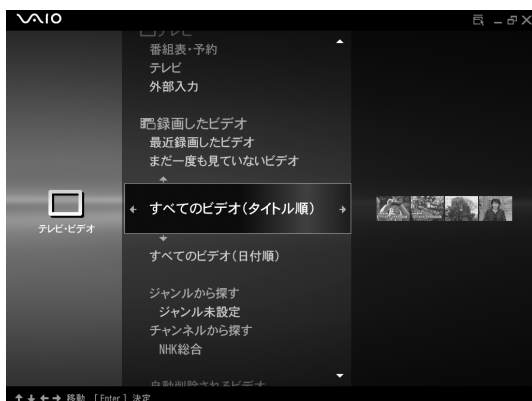
バイオに録りためたテレビ番組をDVDとして残すことができます。直感的な操作で簡単にDVDを作れます。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOが起動します。

ヒント
DVDへの記録方法をあらかじめ設定することもできます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ／ビデオ]→[録画したテレビ番組をDVDにする]の順にクリックする。）

2 [テレビ・ビデオ]→[すべてのビデオ]の順にクリックする。

録画したビデオの一覧が表示されます。

ヒント
[すべてのビデオ]以外にも、特定のジャンルに関連付けられたテレビ番組や、録画後に1度も見たことがないテレビ番組から選んでDVDに書き込むことができます。書き込みたいテレビ番組のあるメニューを選択してください。

3 DVDに書き込みたいテレビ番組を選択し、をクリックする。

ここをクリックする。

録画したテレビ番組の操作メニューが表示されます。

4 [DVDへ書き込む]をクリックする。

5 データの書き込まれていない記録用DVDを、本機のドライブに入れる。

「DVD へ書き込み」画面が表示されます。

ご注意
ご利用可能な記録用DVDの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。

6 [DVD作成開始]をクリックする。

ここをクリックする。

「DVD の作成」画面が表示されます。

ヒント
他のテレビ番組もいっしょにDVDに書き込むときは、[複数のビデオを選択]をクリックして「複数のビデオをDVD へ書き込み」画面を表示させ、DVDに書き込むテレビ番組を選択してください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ／ビデオ]→[録画したテレビ番組をDVDにする]の順にクリックする。)

7 [作成開始]をクリックする。

ここをクリックする。

選択したテレビ番組のDVDへの書き込みが始まります。
書き込みが終了すると、「書き込み完了」画面が表示されます。

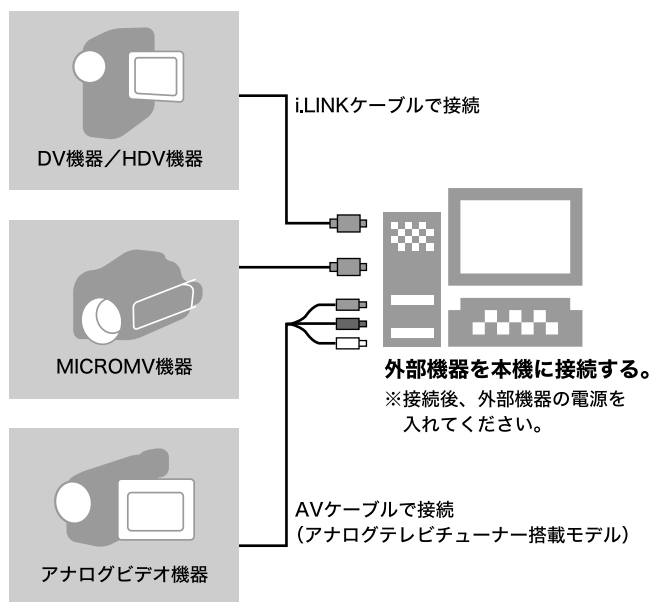
ヒント
DVD作成にかかる時間は、記録する映像の長さとコンピュータの処理速度によって異なります。

8 同じ内容のDVDを続けてもう1枚作成するときは[もう1枚作成]を選択し、DVDの作成を終了するときは[終了]を選択する。

[もう1枚作成]を選択したときは、「ディスクの挿入」画面が表示され、書き込みが完了したディスクが排出されますので、新しいディスクを入れてください。自動的に書き込みが開始されます。[終了]を選択したときは、書き込みが完了したディスクが排出されます。ディスクを取り出したら、DVDの作成は終了です。

撮影した素材からDVDを作る

デジタルビデオカメラレコーダーで撮影した思い出の映像や、アナログビデオテープに録りためた映像は、Click to DVDでオリジナルDVDにすることができます。

1 本機に外部機器を接続し、外部機器の電源を入れる。

ヒント

- アナログビデオ機器の接続について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください（アナログテレビチューナー搭載モデル）。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[テレビ／ビデオ]→[接続／準備]→[ビデオデッキやCS･BSチューナーをつなぐ]の順にクリックする。）
- DVD-Videoフォーマット、DVD+VR･DVD-VRフォーマットで記録されたDVDからもデータを読み込むことができます。
- 外部機器を接続したとき、「デジタル ビデオ デバイス」画面が表示された場合は、[撮ったビデオでDVD作成！]をクリックし、[OK]をクリックします。「Click to DVD」画面が表示されるので手順3に進んでください。

！ご注意

市販のDVDなど、コピー制御信号を含むDVDから読み込むことはできません。

2 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Click to DVD]の順にポインタを合わせ、[Click to DVD]をクリックする。

「Click to DVD」画面が表示されます。

3 画面左下の[ビデオモード]タブをクリックして、基本的な設定を行う。

ヒント

ここでは、「DVDおまかせ作成」のビデオモードでDVDに書き込むときの手順を説明します。その他の方法については、「Click to DVD」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 データの書き込まれていない記録用DVDを本機のドライブに入れ、[作成開始]をクリックする。

DVDの作成が始まります。

ご注意

- ご利用可能な記録用DVDの種類については、「主な仕様」などでご確認ください。
- DVD-RAMへの書き込みは、VRモードでDVDおまかせ作成をするときのみ可能です。

インスタントモードを使う
（アナログテレビチューナー搭載モデル）

インスタントモードとは、Windowsを起動しなくても、テレビや録画したテレビ番組、DVD、音楽CDの視聴ができるモードのことです。

！ご注意
インスタントモードの起動は、本機の電源が切れている状態で行います。
スタンバイや休止状態のような省電力動作モードになっている場合は、インスタントモードではなく、Windowsに復帰します。

インスタントモードでできること

本機では、Windowsを起動しなくても、リモコンのテレビボタンなどを使って次のことができます。

テレビの視聴（アナログ放送のみ）
テレビ番組を見ることができます。

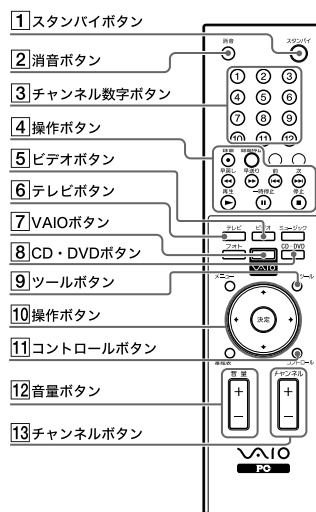
テレビ番組の録画（アナログ放送のみ）
テレビ番組をハードディスクまたは直接DVDに録画することができます。

録画したテレビ番組の再生
インスタントモードでハードディスクに録画したテレビ番組を再生することができます。

DVDの再生
DVDを再生することができます。

CDの再生
音楽CDを再生することができます。

リモコンで操作する

本機前面のリモコン受光部にリモコンを向けて、インスタントモードを操作します。

1 スタンバイボタン
インスタントモードを終了します。

2 消音ボタン
一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

3 チャンネル数字ボタン
テレビのチャンネルを選択します。
5ボタンに突起がついています。

4 操作ボタン
- 録画ボタン：
  ハードディスクまたはDVDにテレビ番組の録画を開始します。
- 録画停止ボタン：
  ハードディスクまたはDVDにテレビ番組を録画中に、録画を停止します。
- 早戻しボタン／早送りボタン：
  早戻ししたり、早送りします。
  押すたびに再生速度が切り換わります。
- 前ボタン／次ボタン：
  前のチャプター／曲に戻ったり、次のチャプター／曲に進みます。
  録画した映像を再生中は、前ボタンを押すと映像の先頭に戻ります。
- 再生ボタン：
  CDの曲／DVDや録画した映像を再生します。
  サムネイル表示画面では、選択した番組を再生します。
- 一時停止ボタン：
  CDの曲／DVDや録画した映像を一時停止します。
- 停止ボタン：
  CDの曲／DVDや録画した映像を停止します。

5 ビデオボタン

インスタントモードを起動し、サムネイル表示画面を表示します。

6 テレビボタン

インスタントモードを起動し、テレビ画面を表示します。

7 VAIOボタン

インスタントモードを起動し、メインメニューを表示します。

8 CD・DVDボタン

インスタントモードを起動し、CD／DVD再生画面を表示します。

9 ツールボタン

設定メニュー表示のオン／オフを切り換えます。

10 操作ボタン

- 上下左右ボタン：
  メニューを操作します。
- 決定ボタン：
  選択されているメニューを実行／決定します。

11 コントロールボタン

操作ガイド表示のオン／オフを切り換えます。

12 音量ボタン

音量を調節します。

13 チャンネルボタン

テレビのチャンネルを選択します。
＋ボタンに突起がついています。

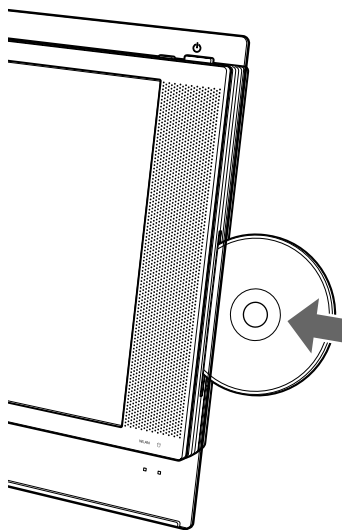
ヒント

テレビボタンやビデオボタン、CD・DVDボタンを押すことで、インスタントモードを終了することなくモード（テレビモード/ビデオモード/CD・DVDモード）の切り換えをすることができます（録画時以外）。

ディスクを入れる／取り出す

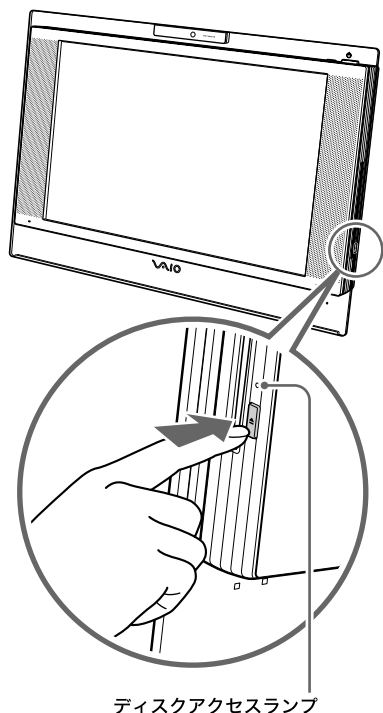
ディスクを入れるには

インスタントモードを起動してから、ドライブにディスクを入れます。

1 レーベル面（文字が書いてある面）を前にしてディスクをスロットに差し込む。

ご注意

ディスクを入れるときは、記録面には絶対に触れないようにしてください。

ディスクを取り出すには

ドライブのアクセスランプが点滅していないことを確認してから、イジェクトボタンを押します。

ディスクアクセスランプ

!ご注意

- DVDに録画中は、ディスクを取り出すことはできません。
- 設定メニューを表示している場合は、メニューを非表示にしてからイジェクトボタンを押してください。

インスタントモード使用時のご注意

DVDの再生について

インスタントモードでは、市販のDVD、ビデオフォーマットのDVD、ビデオレコーディングフォーマットのDVD-RW/DVD-RAMの再生を行うことができます。
インスタントモードで対応していないDVDの再生は、Windowsを起動して、Do VAIOまたは「WinDVD」ソフトウェアで行ってください。
また、DTS形式の音声の再生はサポートしていません。

Do VAIOとの制限事項について

Do VAIOで録画予約している場合は、録画開始の約5分前に確認画面が表示されます。
インスタントモードを終了して、Do VAIOでの予約録画を行う場合は、[すぐに再起動]を選択してください。自動的にWindowsを起動して、Do VAIOでの録画を開始します。ただし、ディスクのファイナライズやフォーマットを行っている場合は、これらの作業が終了するまでDo VAIOを起動することはできません。
また、[キャンセル]を選択した場合は、Do VAIOでの録画予約はキャンセルされます。

ヒント
確認画面で30秒以上選択を行わなかった場合は、Windowsを起動してDo VAIOでの予約録画を行います。

画面が消えたときは

インスタントモードを起動してしばらく各機能を使用していないと、液晶ディスプレイに何も表示されなくなることがあります。
キーボードのいずれかのキーを押すと、元の画面に戻ります。

テレビを見る／録画する
（インスタントモード）

テレビを見る準備をする

はじめてインスタントモードでテレビを見るときは、設定を行う必要があります。
以下の手順で操作してください。

！ご注意

- テレビを見る前にアンテナをつないでください（45ページ）。
- 事前にDo VAIOでチャンネル設定をしておく必要があります（72ページ）。

1 テレビボタンを押す。

インスタントモードが起動し、設定画面が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 チャンネル設定を行う。

① ツールボタンを押す。
設定メニューが表示されます。

② 上下ボタンで［チャンネル設定］を選択し、決定ボタンを押す。

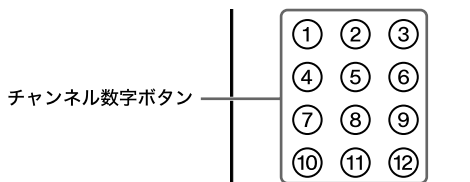
③ 完了画面が表示されたら、決定ボタンを押す。

テレビを見る

1 テレビボタンを押す。

インスタントモードが起動し、テレビ画面が表示されます。

❑ チャンネルを変更するには

チャンネル数字ボタンを押して、見たいチャンネルを選びます。

ヒント

チャンネルボタンでもチャンネルを変更することができます。
また、UHF局などのチャンネル割り当てはDo VAIOとは異なることがあります。映らないチャンネルがある場合は、チャンネルボタンを押して選択してください。

❑ 音量を変更するには

音量ボタンを押して、音量を調節します。

ヒント

消音ボタンを押すと、音を消すことができます。

❑ 設定を変更するには

ツールボタンを押して、表示された設定メニューから「画質調整」や「二重音声切り換え」などの設定を変更します。
設定メニューについては130ページをご覧ください。

❑ インスタントモードを終了するには

- リモコンのスタンバイボタンを押します。
- 本体の電源ボタンを押すか、リモコンのVAIOボタンを押して表示されたメインメニューから［電源オフ］を選択します。

❑ Windowsを起動するには

VAIOボタンを押して表示されたメインメニューで［Windowsの起動］を選択します。

テレビをハードディスクに録画する

インスタントモードでは、テレビ番組をハードディスクに録画することができます。

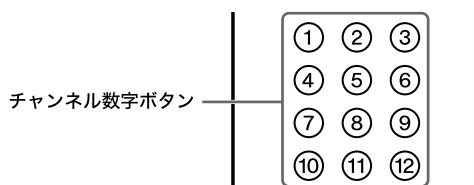
ヒント
インスタントモードでハードディスクに録画した番組は、Do VAIOの「パーソナルビデオ」で再生することができます。
詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]→[テレビ／ビデオ]→[録画したテレビ番組を見る]の順にクリックする。)

!ご注意
リカバリの際に、パーティションサイズの選択でC:ドライブにすべてのハードディスクの容量を割り当てた場合、ハードディスクに録画することができなくなります(153ページ)。

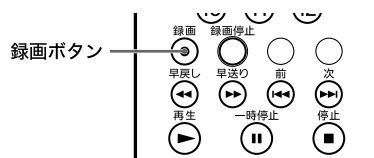
ヒント
- 録画の開始と停止には、ボタンを押してから数秒かかることがあります。
  実際に録画を開始するときは、数秒早くボタンを押してください。
- 録画中は以下の操作しかできません。
  - 録画の停止
  - インスタントモードの終了
  - 消音
  - ボリューム変更
  - 操作ガイドの表示／非表示

1 テレビボタンを押す。

インスタントモードが起動し、テレビ画面が表示されます。

2 チャンネル数字ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ。

ヒント
チャンネルボタンでもチャンネルを変更することができます。
また、UHF局などのチャンネル割り当てはDo VAIOとは異なることがあります。映らないチャンネルがある場合は、チャンネルボタンを押して選択してください。

3 録画ボタンを押す。

表示されているチャンネルの録画が開始されます。

ヒント
テレビモードの設定メニュー(130ページ)で「録画先選択」が[オート]に設定され、録画可能なDVDがドライブに挿入されている場合は、録画先選択画面が表示されるので、[ハードディスク]を選択してください。

テレビをDVDディスクに録画する

インスタントモードでは、テレビ番組を直接DVDディスクにVRモードで録画することができます。
録画に使用できるDVDディスクは、DVD-RWとDVD-RAMです。

録画時間について

未使用のDVD-RWまたはDVD-RAM(片面4.7 Gバイト)で約2時間の録画をすることができます。

ヒント
VRモード以外でフォーマットされているディスクは、あらかじめ初期化をする必要があります(126ページ)。

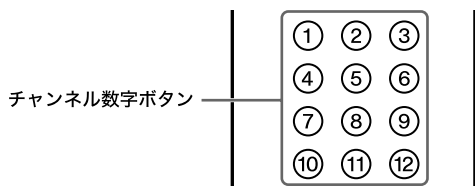
!ご注意
- 録画の開始と停止には、ボタンを押してから数秒かかることがあります。
  実際に録画を開始するときは、数秒早くボタンを押してください。
- DVDに録画中は以下の操作しかできません。
  - 録画の停止
  - インスタントモードの終了
  - 消音
  - ボリューム変更
  - 操作ガイドの表示／非表示

1 テレビボタンを押す。

インスタントモードが起動し、テレビ画面が表示されます。

2 チャンネル数字ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ。

チャンネル数字ボタン

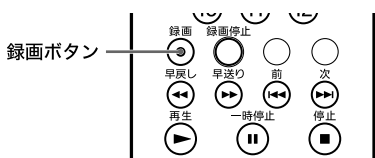
ヒント

チャンネルボタンでもチャンネルを変更することができます。
また、UHF局などのチャンネル割り当てはDo VAIOとは異なることがあります。映らないチャンネルがある場合は、チャンネルボタンを押して選択してください。

3 VRモードにフォーマットされたDVD-RWまたはDVD-RAMをドライブに入れる（122ページ）。

ヒント

テレビモードの設定メニュー（130ページ）で「録画先選択」を［オート］に設定してください。

4 録画ボタンを押す。

表示されているチャンネルの録画が開始されます。

5 録画先選択画面で［DVD］を選択する。

！ご注意

「Disc確認中」の表示が出た場合は、再度録画ボタンを押してください。

6 録画場面が終了したら、録画停止ボタンを押す。

！ご注意

DVD-RWに録画した場合は、録画終了後にファイナライズを行ってください（127ページ）。
また、DVD-RAMに録画した場合は、ファイナライズをする必要はありません。

ディスクを初期化するには

VRモードにフォーマットされていないDVD-RWやDVD-RAMは、初期化する必要があります。

1 テレビモードの状態で、初期化したいディスクをドライブに入れる（122ページ）。

2 設定メニューを表示させる。

ツールボタンを押します。

3 ［DVD管理...］を選択する。

上下ボタンで選択し、決定ボタンを押します。

4 ［初期化設定］を選択する。

上下ボタンで選択し、右ボタンを押します。

5 ［クイックフォーマット］または「フルフォーマット」を選択する。

上下ボタンで選択し、決定ボタンを押します。

ヒント

次のような場合は、「フルフォーマット」を選択してください。

- 「クイックフォーマット」を何度か行っても、ディスクが認識されない場合
- 録画に失敗する場合
- データを書き込んだことのあるディスクを使用する場合

6 確認画面で［はい］を選択する。

初期化が開始されます。
左右ボタンで選択し、決定ボタンを押します。

7 完了画面が表示されたら、［OK］を選択し決定ボタンを押す。

ディスクをファイナライズするには

録画したDVDを、Windows起動後の本機や他のDVD機器で再生可能にするために、ファイナライズを行います。

！ご注意
DVD-RWに録画した場合は、ファイナライズを行ってください。
また、DVD-RAMに録画した場合は、ファイナライズする必要はありません。

1 テレビモードの状態で、ファイナライズしたいディスクをドライブに入れる（122ページ）。

2 設定メニューを表示させる。

ツールボタンを押します。

3 [DVD管理...]を選択する。

上下ボタンで選択し、決定ボタンを押します。

！ご注意
[DVD管理...]を選択して「Disc確認中」と表示された場合、再度[DVD管理...]を選択してください。

4 [ファイナライズ]を選択する。

上下ボタンで選択し、決定ボタンを押します。

5 確認画面で[はい]を選択する。

ファイナライズが開始されます。
左右ボタンで選択し、決定ボタンを押します。

6 完了画面が表示されたら、[OK]を選択し決定ボタンを押す。

ハードディスクに録画した番組を見る

インスタントモードでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を見ることができます。

1 ビデオボタンを押す。

インスタントモードが起動し、サムネイル表示画面が表示されます。

2 見たい番組を選び、決定ボタンを押す。

テレビ番組の再生が始まります。

ヒント
再生中に別の録画した番組を見たい場合は、再生を停止してから別の番組を選択してください。

❑ 録画した番組を操作するには

- 早送りボタン：
  録画した映像を早送りします。
  押すたびに再生速度が切り換わります。
- 早戻しボタン：
  録画した映像を早戻しします。
  押すたびに再生速度が切り換わります。
- 再生ボタン：
  録画した映像を再生します。
- 前ボタン：
  映像の先頭に戻ります。
- 停止ボタン：
  再生を停止します。
- 一時停止ボタン：
  再生を一時停止します。

❑ 音量を変更するには

音量ボタンを押して、音量を調節します。

ヒント
消音ボタンを押すと、音を消すことができます。

❑ 設定を変更するには

ツールボタンを押して、表示された設定メニューからサムネイル表示時と再生時の設定を変更します。
設定メニューについては130ページをご覧ください。

❑ 録画した番組を削除するには

サムネイル表示画面で上下左右ボタンで削除したい番組を選択し、ツールボタンを押し、[データの削除]を選択して決定ボタンを押します。
表示される確認画面で左右ボタンで[はい]を選択して決定ボタンを押します。

❑ インスタントモードを終了するには

- リモコンのスタンバイボタンを押します。
- 本体の電源ボタンを押すか、リモコンのVAIOボタンを押して表示されたメインメニューから[電源オフ]を選択します。

CD／DVDを再生する

(インスタントモード)

CDを再生する

1 CD・DVDボタンを押す。

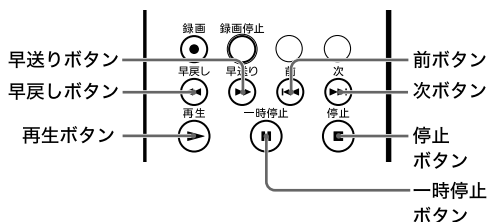
インスタントモードが起動し、CD再生画面が表示されます。

2 再生したい音楽CDをドライブに入れる(122ページ)。

音楽CDが再生されます。

!ご注意
ディスクの種類によっては、自動的に再生が開始されないことがあります。
このような場合は、再生ボタンを押してください。

ヒント
- 再生を停止するときは、停止ボタンを押してください。
- 本機の電源が切れている状態で、音楽CDをドライブに入れると、インスタントモードが起動し、音楽CDが再生されます。

❑ CDを操作するには

- 早送りボタン:
  曲を早送りします。
- 早戻しボタン:
  曲を早戻しします。
- 再生ボタン:
  CDの曲を再生します。
- 前ボタン:
  前の曲に戻ります。
- 次ボタン:
  次の曲に進みます。
- 停止ボタン:
  再生を停止します。
- 一時停止ボタン:
  再生を一時停止します。

❑ 音量を変更するには

音量ボタンを押して、音量を調節します。

ヒント
消音ボタンを押すと、音を消すことができます。

❑ 設定を変更するには

ツールボタンを押して、表示された設定メニューから「リピート」や「シャッフル」などの設定を変更します。
設定メニューについては130ページをご覧ください。

❑ インスタントモードを終了するには

- リモコンのスタンバイボタンを押します。
- 本体の電源ボタンを押すか、リモコンのVAIOボタンを押して表示されたメインメニューから[電源オフ]を選択します。

❑ Windowsを起動するには

VAIOボタンを押して表示されたメインメニューで[Windowsの起動]を選択します。

DVDを再生する

1 CD・DVDボタンを押す。

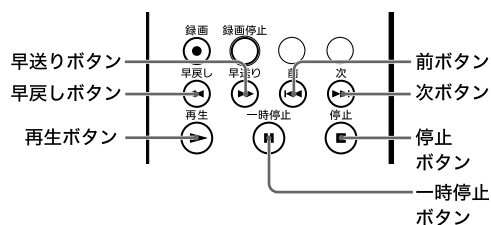
インスタントモードが起動し、CD再生画面が表示されます。

2 再生したいDVDディスクをドライブに入れる(122ページ)。

DVDディスクが再生されます。

!ご注意
ディスクの種類によっては、自動的に再生が開始されないことがあります。
このような場合は、再生ボタンを押してください。

ヒント
- 再生を停止するときは、停止ボタンを押してください。
- DVDをすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。
  最初から再生したい場合は、停止した状態で停止ボタンを押してください。
- 本機の電源が切れている状態で、DVDディスクをドライブに入れると、インスタントモードが起動し、DVDディスクが再生されます。

❑ DVDを操作するには

- 早送りボタン:
  DVDの映像を早送りします。
  押すたびに再生速度が切り換わります。
- 早戻しボタン:
  DVDの映像を早戻しします。
  押すたびに再生速度が切り換わります。
- 再生ボタン:
  DVDの映像を再生します。
- 前ボタン:
  前のチャプターに戻ります。
- 次ボタン:
  次のチャプターに進みます。
- 停止ボタン:
  再生を停止します。
- 一時停止ボタン:
  再生を一時停止します。

❑ 音量を変更するには

音量ボタンを押して、音量を調節します。

ヒント
消音ボタンを押すと、音を消すことができます。

❑ 設定を変更するには

ツールボタンを押して、表示された設定メニューから「画質調整...」や「二重音声切り換え」などの設定を変更します。
設定メニューについては130ページをご覧ください。

❑ インスタントモードを終了するには

- リモコンのスタンバイボタンを押します。
- 本体の電源ボタンを押すか、リモコンのVAIOボタンを押して表示されたメインメニューから[電源オフ]を選択します。

❑ Windowsを起動するには

VAIOボタンを押して表示されたメインメニューで[Windowsの起動]を選択します。

設定を変更する
（インスタントモード）

設定の変更は、リモコンのツールボタンを押して表示される設定メニューより行います。

ヒント
設定メニューの表示中は、音量調整、チャンネル変更などの一部の操作を行うことはできません。設定メニューを非表示にしてから操作してください。

設定を変更するには

1 設定メニューを表示する。

ツールボタンを押します。

2 設定を変更する。

上下左右ボタンと決定ボタンで設定します。

ヒント
設定を変更しても設定メニューが画面上に残ってしまう場合は、リモコンのツールボタンを押して、設定メニューを閉じてください。

設定メニューを操作するには

メニューにより操作が異なります。

❑ 基本操作（▶の付いていない項目）

3次元Y/C分離 ▶
二重音声切り換え ▶
チャンネル設定

設定を変更したい項目を上下ボタンで選択し、決定ボタンを押します。

❑ 基本操作（▶の付いている項目）

画質調整...
ワイド切り換え ▶
3次元Y/C分離 ▶

✓オン
オフ

設定を変更したい項目を上下ボタンで選択し、右ボタンを押して新たなメニューを表示します。
表示されたメニューから、上下ボタンで項目を選択し、決定ボタンを押します。
また、左ボタンで設定メニューに戻ります。

❑「画質調整 ...」の操作

「色合い」を選択した場合

[画質調整 ...]を上下ボタンで選択し、決定ボタンを押して新たなメニューを表示します。
表示されたメニューから、「色合い」（設定を変更したい項目）を上下ボタンで選択し、右ボタンを押して調整画面を表示します。
左右ボタンで設定を調整し、決定ボタンを押します。

設定メニューを消すには

リモコンのツールボタンを押します。

設定メニューの項目について

各モードでの設定メニューは次のとおりです。

❑ テレビモード

メニュー名	選択項目	説明
LCD輝度調整	−	画面の明るさを調節します。
画質調整 ...	−	別表（画質調整）を参照してください。
ワイド切り換え	• ノーマル *1 • フル	ワイド表示を切り換えます。
3次元Y/C分離	• オン *1 • オフ	3次元Y/C分離のオン／オフを行います。
二重音声切り換え （二カ国語音声のみ）	• 主音声（L） • 副音声（R） • 主音声（L）／副音声（R） *1	二カ国語音声を切り換えます。
チャンネル設定	−	チャンネルをスキャンします（124ページ）。

メニュー名	選択項目	説明
録画先選択	• オート [*1] • ハードディスク	録画先を選択します。「オート」に設定すると、録画時に録画先をハードディスクとDVDから選択することができます。
DVD管理...	–	別表(DVD管理)を参照してください。
情報表示On/Off	–	チャンネル番号表示のオン／オフを切り換えます。
一般設定...	–	別表(一般設定)を参照してください。

*1 お買い上げ時の設定

❑ DVD管理

メニュー名	選択項目	説明
初期化設定	• クイックフォーマット • フルフォーマット	ディスク初期化時の方法を選択します。
ファイナライズ	–	ファイナライズを行います。
メニューに戻る	–	メニューに戻ります。

❑ ビデオモード(サムネイル表示時)

メニュー名	選択項目	説明
データの削除	–	選択した録画データを削除します。
LCD輝度調整	–	画面の明るさを調節します。
情報表示On/Off	–	チャンネル番号表示のオン／オフを切り換えます。
一般設定...	–	別表(一般設定)を参照してください。

❑ ビデオモード(再生時)

メニュー名	選択項目	説明
リピート	• オン • オフ [*1]	リピートのオン／オフを切り換えます。
LCD輝度調整	–	画面の明るさを調節します。

メニュー名	選択項目	説明
画質調整...	–	別表(画質調整)を参照してください。
ワイド切り換え	• ノーマル [*1] • フル	画面サイズを切り換えます。
二重音声切り換え(二カ国語音声のみ)	• 主音声(L) • 副音声(R) • 主音声(L)／副音声(R) [*1]	二カ国語音声の音声を切り換えます。
情報表示On/Off	–	本機ではご使用になれません。
一般設定...	–	別表(一般設定)を参照してください。

*1 お買い上げ時の設定

❑ DVDモード

メニュー名	選択項目	説明
DVDトップメニュー	–	DVDのトップメニューを表示します。
DVDメニュー	–	DVDのメニューを表示します。
LCD輝度調整	–	画面の明るさを調節します。
画質調整...	–	別表(画質調整)を参照してください。
ワイド切り換え	• オート [*1] • フル	画面サイズを切り換えます。
音声言語切り換え	再生可能な音声言語	再生するDVDに複数の音声言語が設定されている場合に、音声言語を切り換えます。
二重音声切り換え	• 主音声(L) • 副音声(R) • 主音声(L)／副音声(R) [*1]	音声を切り換えます。
字幕切り換え	表示可能な字幕表示	再生するDVDに複数の字幕表示が設定されている場合に、字幕を切り換えます。
アングル切り換え	再生可能なアングル	再生するDVDにアングルが設定されている場合に、アングルを切り換えます。

メニュー名	選択項目	説明
クローズド キャプション	• オン • オフ[*1]	再生するDVDがクローズドキャプション表示に対応している場合に、クローズドキャプション表示のオン／オフを切り換えます。
情報表示On/Off	–	タイトル、チャプター番号表示のオン／オフを切り換えます。
一般設定...	–	別表（一般設定）を参照してください。

*1 お買い上げ時の設定

❑ 画質調整

メニュー名	選択項目	説明
色合い	–	色合いを調整します。
コントラスト	–	コントラストを調整します。
輝度	–	輝度を調整します。
彩度	–	彩度を調整します。
初期値に戻す	–	お買い上げ時の設定に戻ります。
メニューに戻る	–	メニューに戻ります。

❑ CDモード

メニュー名	選択項目	説明
リピート	• 全曲リピート • 1曲リピート • オフ[*1]	リピートの種類を切り換えます。
シャッフル	• オン • オフ[*1]	シャッフルを切り換えます。
LCD輝度調整	–	画面サイズを切り換えます。
情報表示On/Off	–	本機ではご使用になれません。
一般設定...	–	別表（一般設定）を参照してください。

*1 お買い上げ時の設定

❑ 一般設定

メニュー名	選択項目	説明
スリープタイマー	• オフ • 30分後 • 60分後 • 90分後	自動的に電源を切るまでの時間を設定します。設定後は残り時間が表示されます。
バージョン情報	–	バージョンを表示します。
ガイド表示On/Off	–	操作ガイド表示のオン／オフを切り換えます。
メニューに戻る	–	メニューに戻ります。

キーボード操作一覧表

インスタントモードでの操作は、キーボードで行うこともできます。使用できるキーは以下のとおりです。

操作		使用するキー（ショートカットキー）
全般	テレビの表示	Ctrl+T
	CD･DVDの再生	Ctrl+D
	音量調整	音量調節＋/－ボタン
	消音	🔇（消音）ボタン
	設定メニューの表示	（アプリケーション）キー
	操作ガイドのオン／オフ	F1
	メインメニューの表示	F9
テレビ	チャンネル+	右矢印キー
	チャンネル–	左矢印キー
	録画	R
	録画の停止	S
CD/DVD	次	N
	前	P
	再生／一時停止	スペースキー
	停止	S
	早送り	F
	早戻し	B

ヒント

電源ボタンを押して本機の電源を入れ、「VAIO」ロゴが表示中にF9キーを押すとインスタントモードが起動します。

増設／リカバリ

メモリを増設する

メモリを増設するときのご注意

本機内部の拡張メモリスロットにメモリを増設することができます。
メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

!ご注意

- **メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。**
- **メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。**
- **ソニー製のメモリをご購入された方、またはご購入予定の方で、ご自分で取り付けられない場合は、VAIOカスタマーリンクで有料取り付けサービスを承っております。**

- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- **本機の電源を切って、電源コードを抜いて、1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっておりやけどをするおそれがあります。**
- **ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの挿し忘れ、メモリの逆挿し、半挿しなどにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。**
- メモリ以外のデバイスの交換・増設は行わないでください。本機の故障の原因となります。

メモリを増設するには

VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）で画面右側から有償サービスの項目を選んで表示される画面よりご依頼ください。
VAIOカスタマー修理窓口、または販売店でもメモリの増設サービス（有料）をご依頼いただけます。
詳しくは、「VAIOカスタマイズサービス」（202ページ）をご覧ください。

取り付けられるメモリモジュール

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つあり、最大2Gバイトまでメモリを増設できます。
本機に搭載されているメモリの構成については、「主な仕様」(220ページ)をご覧ください。

!ご注意
取り付けるメモリモジュールは、以下のサービスにて提供しています。

- VAIO カスタマイズサービス
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Customize/
  - 本機をお預かりし、ソニーでメモリモジュールを増設したあとに返却するサービスです。
- 部品提供サービス
  https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/index.html
  - 所有の機種に応じた部品や付属品の一部を有償で送付するサービスです。お客様ご自身でメモリモジュールを増設できます。

* 上記サービスのご利用には My Sony ID もしくは VAIOカスタマーIDが必要となります。

!ご注意

メモリモジュールを選ぶときのご注意

- メモリモジュールには、さまざまな種類のものが存在します。市販のメモリモジュールを取り付ける際には、その製品が本機での動作保証を明記していることをご確認ください。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

!ご注意
メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。

メモリモジュールを取り付ける/取りはずす

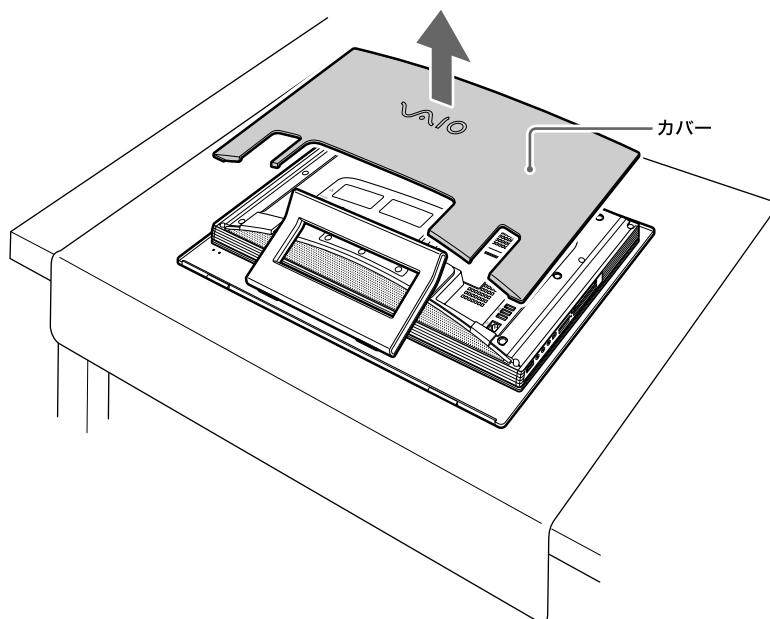
メモリモジュールを取り付ける/取りはずすときのご注意

メモリモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。

- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。
- メモリモジュールには向きがあります。
- メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ(溝の内側)部分の突起の位置を正しく合わせてください。
- 無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

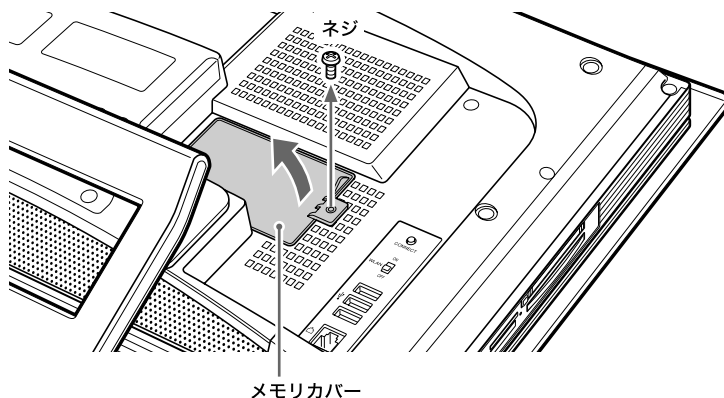
メモリモジュールを取り付けるには

1 本機と周辺機器の電源を切る。

2 本機後面のカバーを取りはずし、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。

!ご注意

- 本体の電源を切って、電源コードを抜いて、1時間ほどおいてから作業を行ってください。
  電源を切ったあとすぐは、本機の内部やメモリモジュールが熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機に傷がつかないように布などをしいてください。

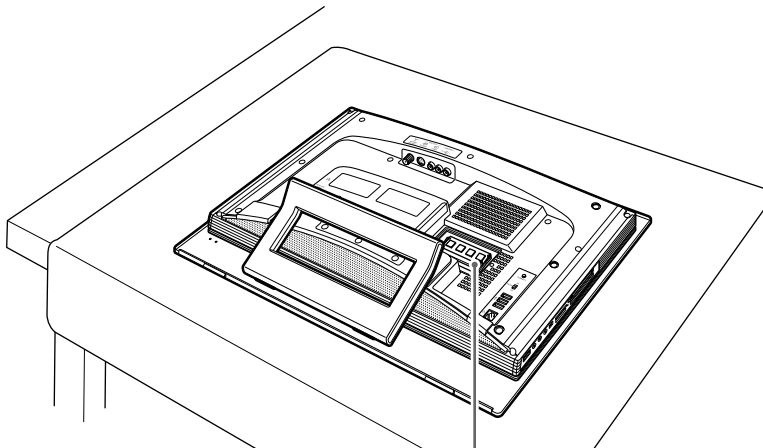
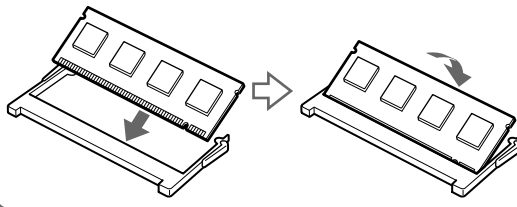
3 メモリカバーを取りはずす。

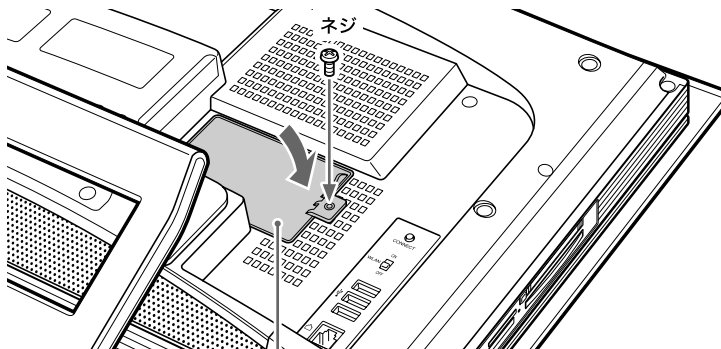
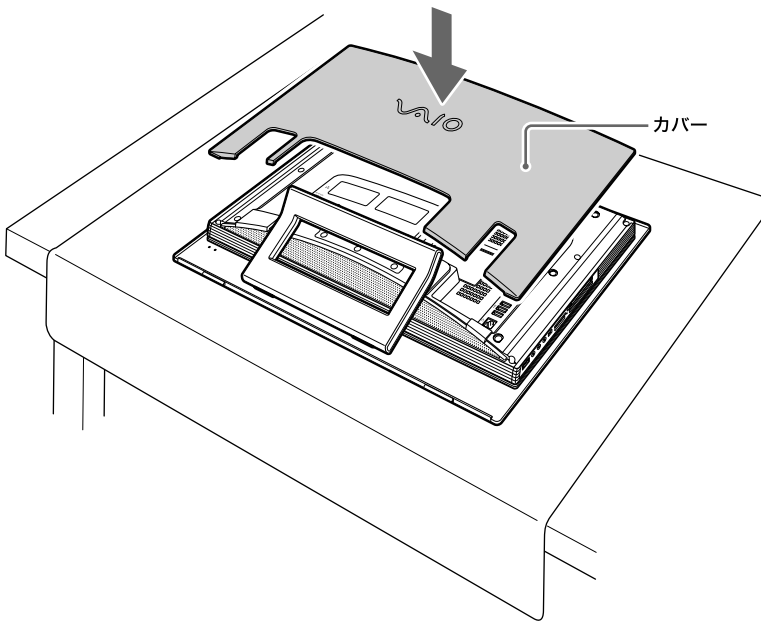
ネジをはずして、メモリカバーを取りはずします。

4 メモリモジュールを取り付ける。

メモリモジュールにはエッジコネクタ部分の中央より右側に切り欠きがあります。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝に合わせて、奥までしっかりと差し込む。

！ご注意
エッジコネクタ部分を傷つけないようにご注意ください。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。

！ご注意
メモリを取り付ける際は、内部に異物を落とさないようにしてください。故障の原因となります。

5 メモリカバーを元に戻し、ネジで留める。

6　本機後面のカバーを、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける。

7　手順2で取りはずした周辺機器とACアダプタを接続し、本機の電源を入れる。

8　[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[バイオの設定]をクリックする。

「バイオの設定」画面が表示されます。

9　[システム情報]をダブルクリックし、さらに[システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

10　「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

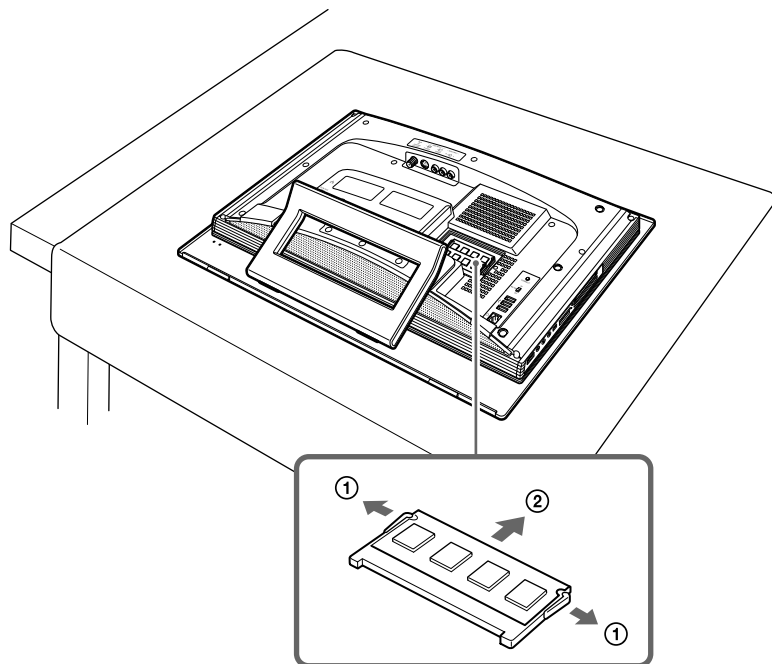
メモリモジュールを取りはずすには

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてからメモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

！ご注意

本機に傷がつかないように布などをしいてください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

リカバリについて

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

ヒント

リカバリ領域とは

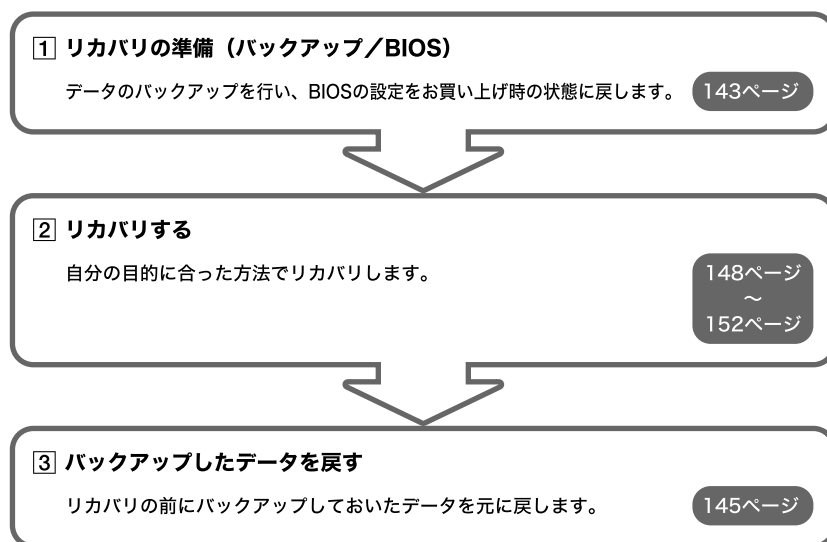
リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

!ご注意

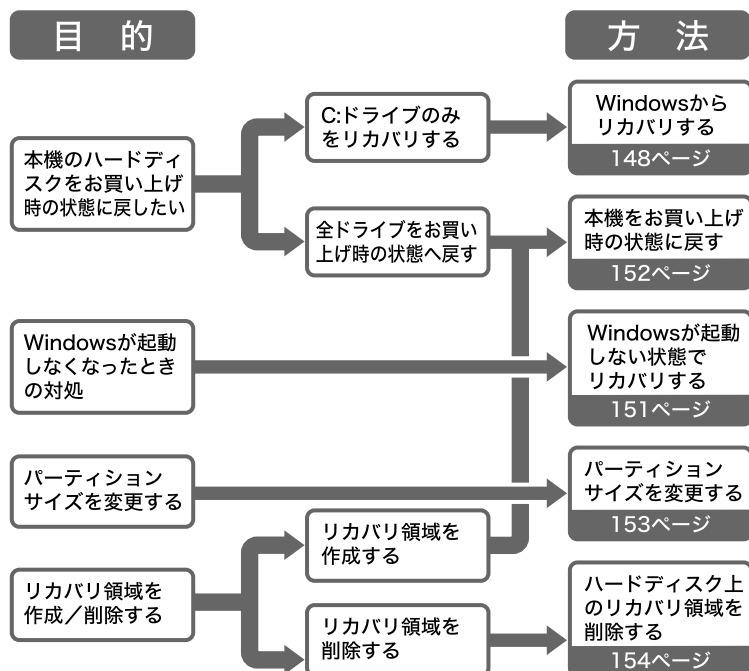
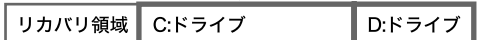
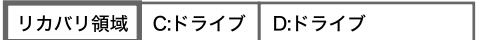
- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。

リカバリの種類／方法

リカバリの流れ

リカバリは、次の流れに従って行います。

ヒント

どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分の目的に合った方法でリカバリしてください。

リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	方法	説明
C:ドライブをリカバリする	• Windowsからリカバリする • Windowsが起動しない状態でリカバリする	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリする	パーティションサイズを変更する	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 ＜リカバリ前＞ リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ C:ドライブとD:ドライブのサイズを変更します。 ＜リカバリ後＞ リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。
お買い上げ時の状態へリカバリする	本機をお買い上げ時の状態に戻す	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 リカバリディスクを使用 ハードディスクの状態 ＜ハードディスクはすべてお買い上げ時の状態に戻ります＞ リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

また、「リカバリディスク」を使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

リカバリの種類	方法	説明
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量をデータの保存用などに使用できるようにします。 ハードディスクの状態 ＜リカバリ前＞ リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ リカバリ領域が削除されます。 ＜リカバリ後＞ C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

リカバリの準備（バックアップ／BIOS）

リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp（バンドル版）」を使用する。
  ［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］→［HD革命 BackUp（バンドル版）］の順にポインタを合わせ、［HD革命 BackUp 起動（ココから始める）］をクリックして起動します。ドライブ全体のバックアップ、またはファイル・フォルダ単位でのバックアップのどちらかを選択してバックアップが行えます。更に、ファイル・フォルダ単位でのバックアップでは、「電子メールのデータ」「マイドキュメント」などを手軽に指定できる手順が用意されています。操作方法などについて詳しくは、本ソフトウェアの起動後にヘルプをご覧ください。
- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-R／CD-RWにコピーする。
- DVDライタブルメディアにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」（148ページ）の手順5で「C:ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ヒント

ここでは、DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R DL／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAMを総称して「DVDライタブルメディア」と略しています。

ここでは、手動でバックアップをとる場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

1　［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

2　［ツール］メニューから［オプション］をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

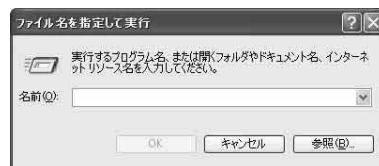
3　［メンテナンス］タブをクリックし、［保存フォルダ］をクリックします。

「保存場所」画面が表示されます。

4　「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから［すべて選択］をクリックする。

5　再度、「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから［コピー］をクリックする。

6　［スタート］ボタンをクリックして［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

7 「名前」のテキストボックスにマウスポインタを合わせ、右クリックして[貼り付け]をクリックし、[OK]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。

8 表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

ヒント

- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
  「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタを合わせ、[SonicStage]をクリックします。
- CD-R／CD-RWやDVDライタブルメディアにデータをコピーする方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[CD／DVD]→「CDに保存」の[CDにデータを保存する]または[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[CD／DVD]→「DVDに保存」の[DVDにデータを保存する]の順にクリックする。)
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。
  Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
  また、録画したビデオ映像のデータ(アナログテレビチューナー搭載モデル)は、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ(機種によって異なります))に保存されています。ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ(機種によって異なります))をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html

！ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-R／CD-RWやDVDライタブルメディアまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻す

BIOSの設定を変えた場合は、お買い上げ時の設定に戻してからリカバリしてください。BIOSをお買い上げ時の状態に戻すには、次のように操作します。

1 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。

BIOSセットアップメニューが起動し、「PhoenixBIOS Setup Utility」画面が表示されます。

2 F9キーを押す。

「Load default configration now?」というメッセージが表示されます。

3 ←または→キーを押して[Yes]を選び、Enterキーを押す。

4 F10(Save and Exit)キーを押す。

「Save configration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

5 ←または→キーを押して[Yes]を選び、Enterキーを押す。

変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows XPが起動します。

リカバリの前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- 専用のUSBフロッピーディスクドライブ(別売り)を取り付けている場合は、取りはずしてください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- **本機は、お買い上げ時に、ライセンス認証は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。**
  リカバリを行った場合は、OSのライセンス認証は自動的に完了するためお客様が認証作業を行う必要はありませんが、Office PersonalまたはOffice Professional Enterpriseのライセンス認証はお客様が認証作業を行う必要があります(「Microsoft Office」ソフトウェアプリインストールモデルをお使いの方のみ)。
- **BIOSのパスワードを設定している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。絶対にBIOSのパスワードを忘れないでください。**

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。
バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp(バンドル版)」を使用してバックアップしたデータは、同ソフトウェアを使用して元に戻します(元に戻すことを「復元」といいます)。復元方法について詳しくはヘルプをご覧ください。

ここでは、手動でデータを復元する場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2 [ファイル]メニューから[インポート]→[メッセージ]の順にクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、[Microsoft Outlook Express 6]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「場所の指定」画面が表示されます。

4 [Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]の ○ をクリックして ◉ にし、[OK]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

5 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

6 [すべてのフォルダ]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

7 [完了]をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

リカバリディスクを作成する

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 • ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
ご購入（下記参照）	

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
※マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です（69ページ）。

！ご注意
本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD+RやDVD-R、CD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスク上のデータが破損した（Windowsが起動しない）など、お買い上げ時の状態に戻したいときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。
万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、次の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

！ご注意

次のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。
本機を使用する準備ができましたら、はじめに、次の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

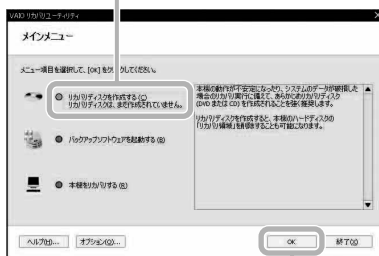
リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

ヒント
リカバリディスクを作成するときには、必ず「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［VAIO リカバリツール］の順にポインタを合わせ、［VAIO リカバリユーティリティ］をクリックする。**

「メインメニュー」画面が表示されます。

2 **［リカバリディスクを作成する］を選んでクリックし、［OK］をクリックする。**

「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されます。

3　内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。

4　使用するディスクを選択する。

DVD-RまたはDVD+Rを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[X枚のDVD-RまたはDVD+R(4.7GB)を使って作成する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックします。
DVD-R DLまたはDVD+R DLのみを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[1枚のDVD-RまたはDVD+R(Double Layer／8.5GB)を使って作成する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックします。
CD-Rのみを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[X枚のCD-Rを使って作成する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックします。

！ご注意

- お使いの機種によってはCD-Rを使ってリカバリディスクを作成できないものもあります。
- 複数のディスクドライブが接続されている場合、「ディスクドライブの確認」画面が表示される場合があります。利用するディスクドライブを選択してください。
- Blu-ray Disc／DVD+RW／DVD-RW／DVD-RAM／CD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。

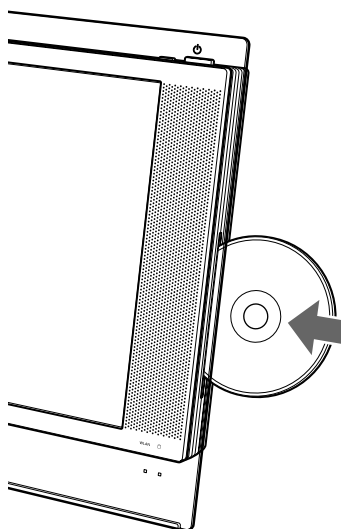
リカバリディスク作成用に必要なディスクの枚数は、手順4の画面で確認できます。
「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

5　[作成開始]をクリックする。

ヒント
リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

リカバリディスクの作成が始まります。
未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6　指示されたディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

レーベル面(文字が書いてある面)を手前にしてディスクをスロットに差し込む。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

ヒント
画面の指示に従ってディスクを入れ換える手順を数回繰り返します。
ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクが自動的に引き出され、ディスク作成完了のメッセージが表示されます。

7 画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、「ディスクの作成が完了しました。」画面が表示されます。

!ご注意
ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

8 [OK]をクリックする。

以上でリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

Windowsからリカバリする

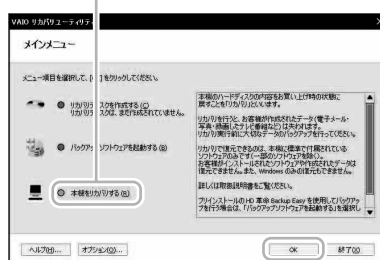
Windowsからリカバリするには、次の手順で操作します。Windowsが起動できない状態で本機をリカバリするときは、「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(151ページ)をご覧ください。

!ご注意
リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻してください(143ページ)。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

ヒント
「リカバリ領域が削除されています。」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す」(152ページ)をご覧ください。

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

バックアップされているかどうかの確認画面が表示されます。

ヒント
「HD革命/BackUp」ソフトウェアを使用してデータのバックアップを行う場合は、[バックアップソフトウェアを起動する]を選択し、[OK]をクリックしてください。

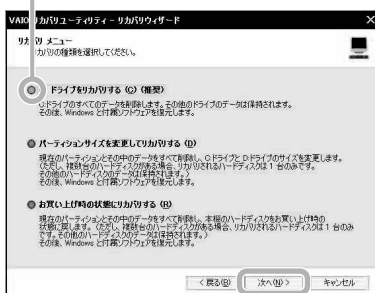
3 [はい]をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C:ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

① ここをクリックする。

② ここをクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

6 画面の内容を確認し、[リカバリ開始]をクリックする。

「リカバリを開始してもよろしいですか?」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

リカバリを中止するときは、[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。
本機が再起動して、しばらくすると「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント
リカバリ作業には数十分かかる場合があります。

しばらくすると「「システムリカバリ」が完了しました。」画面が表示されます。

8 [OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

!ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「キーボードの動作を確認します」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。途中、(ポインタ)だけがしばらく表示されていますが、「キーボードの動作を確認します」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10 「Windowsを準備する」(61ページ)の手順に従って、Windowsをセットアップする。

「「アプリケーションリカバリ」を行います。」画面が表示されます。

!ご注意
Windowsのセットアップ終了後、自動的に再起動します。複数ユーザーを設定している場合は、ユーザー選択画面が表示されます。
この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

ヒント
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

11 [OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、アプリケーションのインストールを開始します。

ヒント
途中でディスクを挿入するようメッセージが表示された場合は、ドライブにディスクを入れてください。

12 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003がプリインストールされていないモデルをお使いの方は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

❑ **Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003をインストールする**

Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの方は、引き続き次の手順を行ってください。

13 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003をインストールする。

Office Personal 2003**プリインストールモデルをお使いの場合**

「Office Personal 2003 のインストールを行います。」画面が表示されるので、付属の「Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」でOffice Personal 2003をインストールする。

Office Professional Enterprise 2003**プリインストールモデルをお使いの場合**

「Office Professional Enterprise 2003のインストールを行います。」画面が表示されるので、付属の「Office Professional Enterprise 2003プレインストールパッケージ」でOffice Professional Enterprise 2003をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

① Office Personal 2003 CDまたはOffice Professional 2003 CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

②「インストールの種類」画面が表示されたら、[完全インストール]の ◯ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

③「ファイルの概要」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
インストールが始まります。

④「セットアップの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールが完了しました。

Web**サイトでの更新および追加ダウンロードについて**

[Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする]のチェックボックスを ☐ にした場合でも、インストール完了後に次の操作を行うと、追加コンポーネントまたはセキュリティ問題の修正プログラムをオンラインで利用できます。オンラインで利用する場合は、インターネットに接続している必要があります。

① Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動し、[ヘルプ]メニューの[更新のチェック]をクリックする。

② Webサイトが表示されたら、ページの左側にある[ダウンロード]が選択されていることを確認する。

③ 必要なOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のアップデートを行う。

ヒント

本機では、「C:￥Program Files￥Office11￥SP2」にOffice 2003 Service Pack 2のインストール用プログラムが保存されています。リカバリ時にOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールを行うと自動で「Office 2003 Service Pack 2」はインストールされますのでお客様がインストールする必要はありません。

Office Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの場合は、手順15に進んでください。

14 Office Personal 2003プレインストールパッケージで、Microsoft(R) Office Home Style+をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

① Microsoft(R) Office Home Style+ CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

②「セットアップ先のフォルダ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。

③「インストールタイプ選択」画面が表示されたら、[標準]の ◯ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

④「インストールの開始」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
インストールが始まります。

⑤「Microsoft(R) Office Home Style+のインストールが正常に終了しました。」メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。
Office Home Style+のインストールが完了しました。

15 「Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールを行います」画面の[OK]をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

16 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

これでリカバリが完了しました。

17 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。
また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動する。
- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアの「ヘルプ」メニューの[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口
電話番号：(0120)801-734　　受付時間：24時間受付

!ご注意
インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。
インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」(93ページ)をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、次の手順に従って本機をリカバリします。
また、リカバリディスクを作成(146ページ)している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。

1 電源ボタンを押して本機の電源を入れ、「VAIO」ロゴが表示されたあと、F10キーを押す(起動には数分かかる場合があります)。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ヒント
リカバリディスクでもリカバリウィザードを起動させることができます。本機の電源を入れた後、すぐにドライブにリカバリディスクを入れてください。

!ご注意
- F10キーを押しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合には、間をおきながら押す(連続して押す)操作をお試しください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスク)の検査を行うことができます。
ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
([ソフト紹介/問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2]の順にクリックする。)
- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す」(152ページ)をご覧ください。
- リカバリ領域を削除している方は、リカバリディスクを使用してリカバリしてください。

2 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

3 「Windowsからリカバリする」(148ページ)の手順4以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

本機をお買い上げ時の状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、次の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合も、この手順を行ってください。

!ご注意
この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(58ページ)をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」(59ページ)をご覧ください。

3 30秒ほど待ってから、電源ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

!ご注意
- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスク)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([ソフト紹介/問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2]の順にクリックする。)

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

7 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

8 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

9 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

10 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクをドライブに入れ、[OK]をクリックする。

引き続きリカバリ作業が行われます。
リカバリ実行中に、ディスクを取り出す、または入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

11 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら画面の指示に従ってディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

12 「Windowsからリカバリする」(148ページ)の手順9以降の操作を行ってください。

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。
本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。Windows OSやプリインストールソフトウェアはC:ドライブに保存されており、D:ドライブ(機種によって異なります)は、「SonicStage」ソフトウェアや「DVgate Plus」ソフトウェア、Do VAIO(アナログテレビチューナー搭載モデル)などで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(お買い上げ時)。

本機のハードディスクのパーティションサイズについて

次の「パーティションサイズを変更するには」の手順2までを行っていただくことにより現在のパーティションサイズを確認することができます。確認後[キャンセル]をクリックしてください。
お買い上げ後に、多くのソフトウェアを追加でインストールしたり、容量の大きなファイルをC:ドライブに保存すると、C:ドライブの空き容量が少なくなり、本機の動作が不安定になることがあります。容量の大きな動画ファイルなどは、D:ドライブに保存することをおすすめします。

本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。
より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます(154ページ)。
パーティションサイズの変更やリカバリ領域の削除を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまうので、本機のご使用前にこれらの操作を行うことをおすすめします。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ヒント

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

次の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

!ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

ヒント

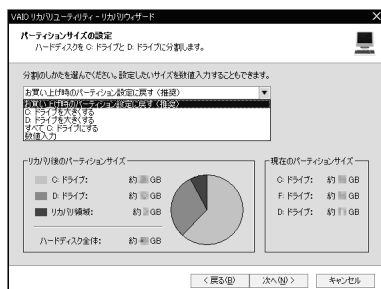
- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。
  バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。
  Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
  また、録画したビデオ映像のデータ(アナログテレビチューナー搭載モデル)は、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ(機種によって異なります))に保存されています。ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ(機種によって異なります))をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html

1 **「Windowsからリカバリする」(148ページ)の手順1〜4を行う。**

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。
ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

3 ハードディスクの分割のしかたを、▼をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

ヒント

「数値入力」を選択すると、指定された範囲のサイズを入力することができます。

!ご注意

- パーティションサイズの選択でC:ドライブにすべてのハードディスクの容量を割り当てた場合にはバックアップソフトをご使用できなくなる可能性があります。
- D:ドライブのサイズを少なくした場合には、D:ドライブをデータの保存先としているソフトウェアをご使用になる前に、データの保存先をC:ドライブに変更することをおすすめします。データ保存ドライブの変更方法は、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 「Windowsからリカバリする」（148ページ）の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

次の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

!ご注意

- 「リカバリディスクを作成するには」（146ページ）の手順に従ってリカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。
- この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（58ページ）をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」（59ページ）をご覧ください。

3 30秒ほど待ってから、電源ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます（起動には数分かかる場合があります）。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスク）の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフト紹介／問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2]の順にクリックする。）

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選択してクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域 オプション」画面が表示されます。

7 [リカバリ領域を削除する]を選択してクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域を削除するように設定します。」画面が表示されます。

8 [はい]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9 [次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

10 「Windowsからリカバリする」(148ページ)の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

困ったときは／サービス・サポート

困ったときはどうすればいいの？

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。
また、メッセージ等が表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 パソコンが起動しないときは『取扱説明書（本書）』をご覧ください

パソコンが起動しないときは、本書の「よくあるトラブルと解決方法」の「電源／起動」（163ページ）をご覧ください。
また、起動はするが操作できない場合なども、「よくあるトラブルと解決方法」（160ページ）をご覧ください。

2 パソコンが動作するときは『バイオ電子マニュアル』をご覧ください

パソコンが動作するときは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックすると起動することができます。
「バイオ電子マニュアル」が起動したら、[Q&Aで調べる]をクリックして、トラブルの内容に合った項目をご覧ください。
また、「バイオ電子マニュアル」には本機の使いかたやご使用上のご注意などの情報も記載されています。詳しくは、「「バイオ電子マニュアル」を見る」（185ページ）をご覧ください。

ヒント

ソフトウェアの使いかたについて

ソフトウェアの使いかたや疑問の解消には、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。また、Windowsに関する使いかたや疑問の解消については、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。「ヘルプとサポートセンター」については、「ヘルプとサポートセンターを見る」（186ページ）をご覧ください。

3 最新の情報は『VAIOカスタマーリンクホームページ』でご確認ください

VAIOカスタマーリンクホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンクホームページのご利用方法については、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」(186ページ)をご覧ください。

4 いずれの方法でも解決しない場合はお問い合わせください

VAIOカスタマーリンク[*1]
(0466)30-3000
(平日:10時～21時、土、日、祝日:10時～17時)

バイオについてのお問い合わせ
「VAIOカスタマーリンク」にお問い合わせください。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる」(195ページ)をご覧ください。

本機の付属ソフトウェアについてのお問い合わせ
「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(205ページ)に掲載されている、それぞれのお問い合わせ先にお問い合わせください。

初心者ダイヤル[*1]
(0466)30-4141
(平日:10時～21時、土、日、祝日:10時～17時)
※2008年2月末日まで有効

初心者の方でもご理解いただきやすいよう、専任のオペレータがわかりやすい言葉で親身になって対応する窓口です。
(カスタマー登録でご登録いただいている電話番号の発信者番号通知を有効に設定された状態でダイヤルしていただくと、直接オペレータにつながります。)

*1 お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

ヒント

ハードウェアの簡易診断について
ハードウェア診断ツールを使って、ハードウェアをチェックすることもできます。起動するには、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[ハードウェア診断ツール]の順にポインタを合わせ、[ハードウェア診断ツール]をクリックしてください。

よくあるトラブルと解決方法

ここでは、よくあるトラブルと解決方法の一部をご紹介します。

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

❑ 電源／起動（163ページ）

- 電源が入らない（本機の電源ランプ（緑色）が点灯しないとき）
- 電源を入れると、本機の電源ランプ（緑色）は点灯するが、画面に何も表示されない
- 電源が切れない
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない
- 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された
- ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった
- 休止状態やスタンバイに移行できない

❑ パスワード（166ページ）

- Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった
- パワーオン・パスワード（BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード）を忘れてしまった

❑ 画面／ディスプレイ（166ページ）

- 画面に何も表示されない
- 画面の色がきれいに表示されない
- 画面が固まって動かない
- 画面が暗い
- 画像が乱れる
- 画面に輝点・滅点（黒点）がある

❑ 文字入力／キーボード（168ページ）

- 文字の入力方法がわからない
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない
- キーボードが使えない
- Caps Lock、NumLkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

❑ マウス（170ページ）

- マウスを動かしてもポインタが動かない
- マウスが使えない

❑ ハードディスク（172ページ）

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった
- ハードディスクから異音がする

❑ CD／DVDドライブ（173ページ）

- CD／DVDメディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

❑ テレビ再生／録画（アナログテレビチューナー搭載モデル）（173ページ）

- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない
- Do VAIOでテレビの音声が出力されない
- 画面の色がきれいに表示されない
- エラーメッセージが表示され、終了、スタンバイ、休止などの操作ができない
- 録画時に「コピー防止信号のため録画できません」というメッセージが表示され録画ができない
- 視聴時と再生時の音量が違う
- 予約したのに録画されていない
- 縞状のノイズが多い

❑ 外部機器からの録画（177ページ）

- アナログ機器（VHSなど）からの映像を録画する方法がわからない（アナログテレビチューナー搭載モデル）
- DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない
- 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない（アナログテレビチューナー搭載モデル）
- 「Click to DVD」ソフトウェアでアナログ入力ができない（アナログテレビチューナー搭載モデル）
- HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう
- HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

❑ FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）（178ページ）

- FeliCa機能が使えない

❑ インスタントモード（179ページ）

- インスタントモードが起動しない
- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない
- CD／DVDの再生ができない、または再生時に画像や音がとぎれる
- リモコンで操作できない
- インスタントモード起動中、画面に何も表示されない。
- ハードディスクに録画できない。

❑ エラーメッセージ（182ページ）

電源投入時のエラーメッセージ

- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

フロッピーディスクのエラーメッセージ

- フロッピーディスクにデータを保存しようとしたら、メッセージが表示された

その他のエラーメッセージ

- 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示される
- 「Could not find Acrobat External Window Handler.An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない
- Windows 終了時に「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」画面が表示されます。

2 [Q&Aで調べる]をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の電源ランプ（緑色）が点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。

接続について詳しくは、「接続する」（56ページ）をご覧ください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

接続について詳しくは、「接続する」（42ページ）をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れると、本機の電源ランプ（緑色）は点灯するが、画面に何も表示されない

A MONITOR OFF（モニターOFF）ランプがオレンジ色に点灯している場合は、MONITOR OFF（モニターOFF）ボタンを押して画面を表示させてください。

MONITOR OFF（モニターOFF）ランプが点灯してる間は画面は表示されません。MONITOR OFF（モニターOFF）ボタンを押し、ランプが消えていることを確認してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

1. 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
2. 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A PCカードをお使いの場合は、PCカードを取り出してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。

Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A 「スタート」メニューの［終了オプション］を選んでも「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、［電源を切る］をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されたら、[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックしてください。

詳しくは、「画面が固まって動かない」(167ページ)をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。

② それでも電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認する。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「Non-System disk or disk error. Replace and strike any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください(153ページ)。

A 「CMOS Checksum Bad」と表示される場合、本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。

バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

A 「CMOS Checksum Error」と表示される場合、BIOSの設定内容が壊れている可能性があります。

次の手順で BIOSをお買い上げ時の設定に戻してください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードの F2キーを押す。
BIOSセットアップメニューが起動し、「PhoenixBIOS Setup Utility」画面が表示されます。

② F9キーを押す。
「Load default configration now?」というメッセージが表示されます。

③ ←または→キーを押して[Yes]を選び、Enterキーを押す。

④ F10(Save and Exit)キーを押す。
「Save configration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

⑤ ←または→キーを押して[Yes]を選び、Enterキーを押す。
変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows XPが起動します。

Q 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された

A 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。次の操作を行ってください。リカバリディスクをドライブに挿入しないでください。

① メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

② 「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して[OK]をクリックする。
必要なファイルがコピーされます。

Q ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe(セーフ)モードで起動し、ドライバを再インストールしてください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。

② 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、↑／PgUpキーまたは↓／PgDnキーを押して[セーフモード]を選択し、Enterキーを押す。

③ Windowsが起動したら、[スタート]ボタンをクリックし、「コントロールパネル」→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順にクリックして表示される画面の[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする。

④ 「デバイスマネージャ」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの[プロパティ]をクリックしてプロパティ画面を表示し、[ドライバ]タブをクリックする。

⑤ [ドライバのロールバック]をクリックし、正常に起動していたときのドライバをインストールする。

⑥ 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q 休止状態やスタンバイに移行できない

A Do VAIOの起動中は、タイマーでの休止状態、スタンバイへの移行はできません。(アナログテレビチューナー搭載モデル)

録画中や予約録画開始数分前、DVD作成中、時刻修正機能が働いているときは、手動でも休止状態、スタンバイには移行できません。

A StationTV Digital for VAIOの起動中は、タイマーでの休止状態、スタンバイへの移行はできません。(デジタルテレビチューナー搭載モデル)

録画中や予約録画開始数分前、ディスク作成中は、手動でも休止状態、スタンバイには移行できません。

パスワード

Q Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A 「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が他にいない場合、「Administrator(ユーザー名)」のパスワードを設定していなければ、WindowsをSafeモードで起動して「Administrator(ユーザー名)」でログオンすれば、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更できます。

Q パワーオン・パスワード(BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード)を忘れてしまった

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- **ユーザーパスワードの場合**
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- **マシンパスワードの場合**
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点をお確かめください。

- 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
  接続について詳しくは、「接続する」(42ページ)をご覧ください。
- 本機の電源スイッチが入っているか確認してください。
- MONITOR OFF(モニターOFF)ボタンが有効になっていないか確認してください。

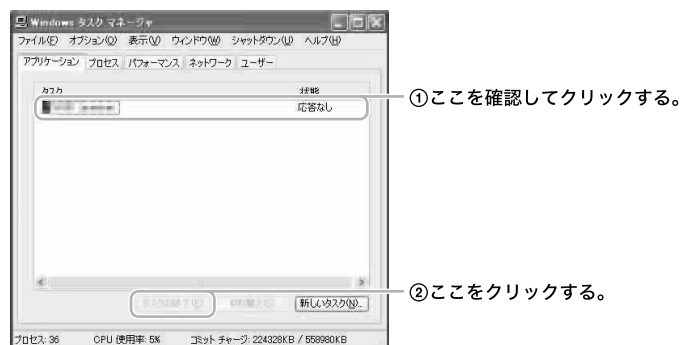
Q 画面の色がきれいに表示されない

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。

[スタート]ボタンをクリックし、[終了オプション]→[電源を切る]の順にクリックして電源を切り、本機の電源ボタンを押して起動し直してください。

Q　画面が固まって動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押す。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

②「Windowsタスクマネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると電源ランプが消灯します。電源ランプ(オレンジ色)が点灯した場合は、いったん手を離し、再び電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q　画面が暗い

A キーボードのFnキーを押しながら F5キーまたは F6キーを押して調節してください。

Q　画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離してください。

Q　画面に輝点・滅点(黒点)がある

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力／キーボード

Q　文字の入力方法がわからない

A 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[できるWindows for VAIO]をクリックする。）

Q　キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボード右上の「Num Lock」インジケーターが表示されているかどうかを確認してください。

表示されていないときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。NumLkキーを押して、インジケーターを表示させてから数字を入力してください。

A 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

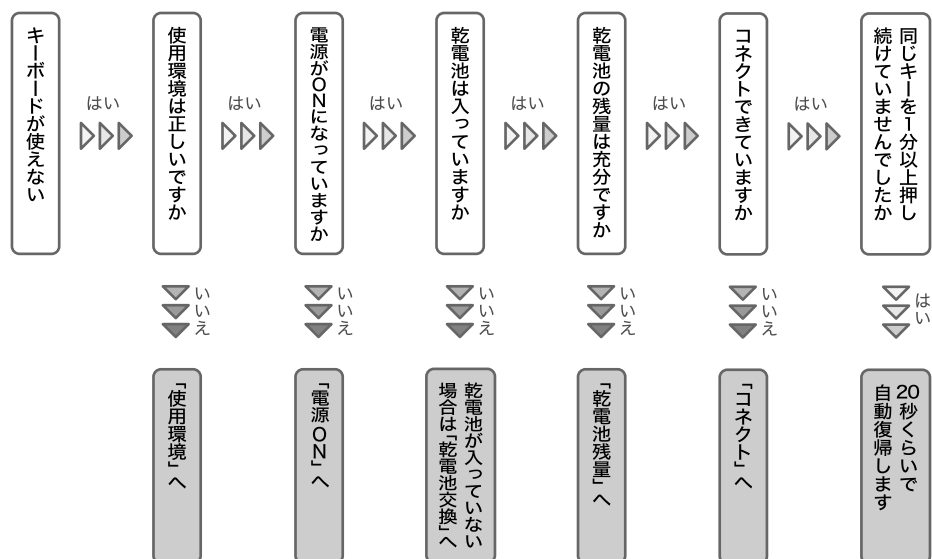
A 「Caps Lock」インジケーターが表示されていないか確認してください。

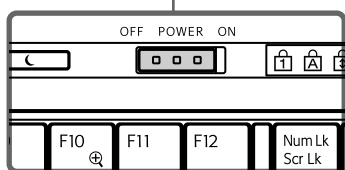
「Caps Lock」インジケーターが表示されていると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。

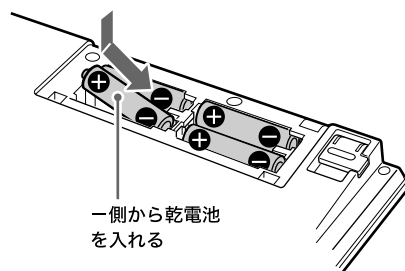
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押して、「Caps Lock」インジケーターが表示されていないことを確認してください。

Q　キーボードが使えない

キーボードが使えないときの状況によって対処方法が異なります。

次の点を確認した上、それぞれの操作をしてください。

- **使用環境**
  本機とキーボードの距離は約15cm以上10m以内でご使用ください。キーボードの近くに金属があったり、本機とキーボードが近すぎたりすると、キー入力やFeliCa通信が不安定になることがあります。
  キーボードは2.4GHz帯の電波を使用しています。無線LANなど同じ2.4GHz帯の電波を使用する無線機器を近くでお使いになると、正常に動作しないことがあります。

- **電源ON**
  本機に付属のキーボードは、乾電池の消耗を抑えるためにPOWER(電源)スイッチが付いています。本機を長時間使用しない場合は、電源をオフにすることをおすすめします。また、ご使用の際には必ずオンになっていることをご確認ください。

- **乾電池交換**
  下記の手順で乾電池を交換してください。

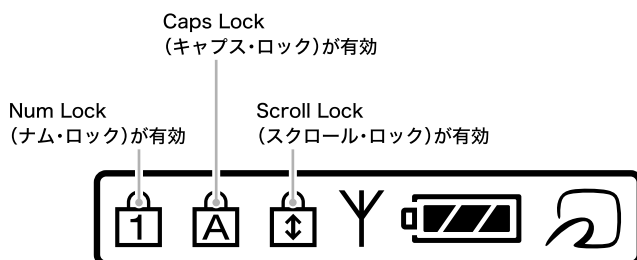
! ご注意

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。

- **乾電池残量**
  キーボードの乾電池の残量が充分かどうかは、キーボードの右上にあるバッテリーインジケーターで確認できます。

- **コネクト**

  コネクトインジケーターにYが表示されていれば、コネクトできています。Yが表示されていない場合はコネクトができていないので、キーボードを本体に近づけてみてください。それでもYが表示されない場合は、再度コネクトをし直してください(57ページ)。
  (インジケーターが表示されていない場合は、Fnキーを1度押してください)

Q Caps Lock、NumLkなどのキーが有効になっているかどうか知りたい

A キーボード右上の各種インジケーターで確認できます。

マウス

Q マウスを動かしてもポインタが動かない

A 「マウスが使えない」の項目(171ページ)を確認してください。

A 次の手順で本機の電源を入れ直してください。

① [Windows] キーを押して「スタート」メニューを表示させ、↑キーまたは↓キーを押して[終了オプション]を選んでEnterキーを押す。

② ↑キーまたは↓キーを押して[電源を切る]を選び、Enterキーを押す。

③ 電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押す。

それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsタスクマネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

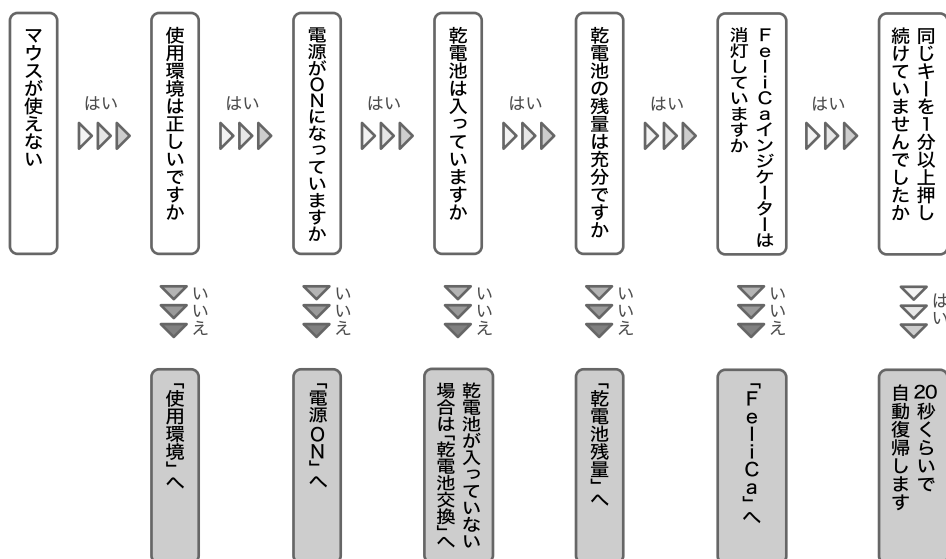
A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。

Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって動かない」(167ページ)をご覧ください。

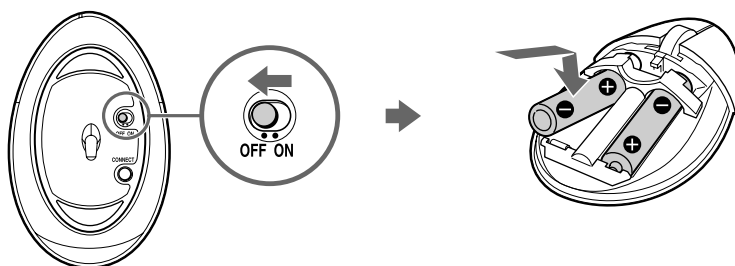
Q　マウスが使えない

マウスが使えないときの状況によって対処方法が異なります。

次の点を確認した上、それぞれの操作をしてください。

- **使用環境**
  本機とマウスの距離は約15cm以上10m以内でご使用ください。マウスの近くに金属があったり、本機とマウスが近すぎたりすると、マウスの動作が不安定になることがあります。マウスは2.4GHz帯の電波を使用しています。無線LANなど同じ2.4GHz帯の電波を使用する無線機器を近くでお使いになると、正常に動作しないことがあります。
- **電源ON**
  本機に付属のマウスは、乾電池の消耗を抑えるためにON／OFF（電源）スイッチが付いています。本機を長時間使用しない場合は、電源を「OFF」にすることをおすすめします。また、ご使用の際には必ず「ON」になっていることをご確認ください。
- **乾電池交換**
  下記の手順で乾電池を交換してください。

❶ ON／OFF（電源）スイッチを「OFF」にする。

❷ 単3形アルカリ乾電池を2本入れる。

! ご注意

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。

- **乾電池残量**
  マウスの乾電池の容量が充分かどうかは、マウスの後部にあるローバッテリーランプで確認することができます。

- **FeliCa**

  キーボード側のFeliCaポート動作中にマウスがスムーズに動作しない場合は、Fnキー＋FeliCaボタンを押すことでFeliCaポートの動作が停止し、マウスがスムーズに動作するようになります。

  ！ご注意

  FeliCaカードアクセス中はこのキーを使用しないでください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。

ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります（140ページ）。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。

「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります（140ページ）。

Q ハードディスクから異音がする

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタを合わせ、［ディスクデフラグ］をクリックする。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② ［最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

CD／DVDドライブ

Q　CD／DVD メディアの読み込み・再生ができない、ドライブがメディアを認識しない

A ご使用のディスクがバイオで使用可能なディスクか確認してください。

使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」(226ページ)をご覧ください。

A ディスクの挿入方法が正しいか確認してください。

ディスクの裏表を、逆にセットしていないか、またはレーベル面が見える向きでドライブにセットしたか確認してください。

ディスクの挿入方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[CD／DVD]→[ディスクを入れる／取り出す]の順にクリックする。)

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A バイオでの動作を保証しているドライブかどうかご確認ください。

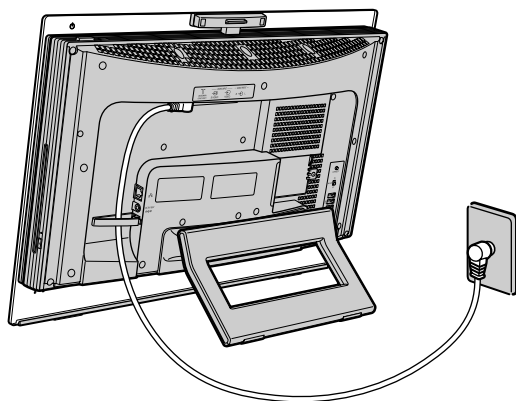
バイオでの動作を保証しているドライブは、以下になります。

- お買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りの VAIO 専用ドライブ

テレビ再生／録画(アナログテレビチューナー搭載モデル)

Q　テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない

A アンテナ接続ケーブルが本機の VHF／UHF(アンテナ)コネクタと正しく接続されているか確認してください。

アンテナの接続について詳しくは、「接続する」のアンテナ接続手順(45ページ)をご覧ください。

A ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。

一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうかを確認してください。

アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。アンテナの接続について詳しくは、「接続する」のアンテナ接続手順（45ページ）をご覧ください。

A Do VAIOをはじめて使うときに行う「Do VAIOの準備」で、チャンネル一覧が正しく取得できなかった可能性があります。

次の手順に従って設定を変更してください。

！ご注意

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてから行ってください。

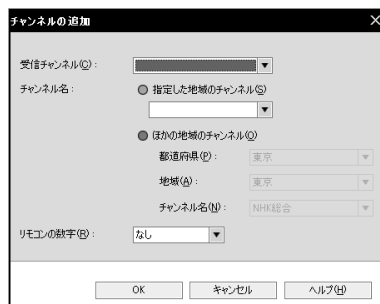
一部のチャンネルが映らない場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO 設定］をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② ［テレビ・ビデオ（チャンネル設定）］をクリックする。
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

③ チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、［削除］をクリックする。

④ 確認画面が表示されるので、［はい］をクリックする。
選択したチャンネルが一覧から削除されます。

⑤ ［追加］をクリックする。
「チャンネルの追加」画面が表示されます。

⑥ 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、［OK］をクリックする。

ヒント

チャンネル名は、「指定した地域のチャンネル」または「ほかの地域のチャンネル」のリストから選択してください。もしご希望のチャンネルがリストに含まれていない場合には「指定した地域のチャンネル」のリストにチャンネル名を入力することもできます。

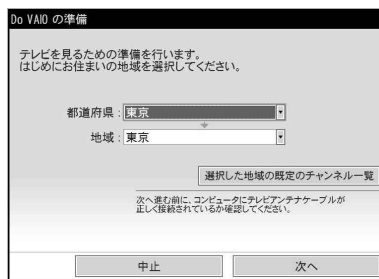
［OK］をクリックすると、一覧にチャンネルが追加されます。
映らないチャンネルについて、手順3〜6を繰り返し、設定してください。

すべてのチャンネルが映らない場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［Do VAIO］の順にポインタを合わせ、［Do VAIO 設定］をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② ［テレビ・ビデオ（チャンネル設定）］をクリックする。
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

③ ［チャンネル一覧の作り直し］をクリックする。

④ 確認画面が表示されるので、［はい］をクリックする。
「Do VAIO の準備」画面が表示されます。

⑤ 本機を使う都道府県および最も近い地域を選択する。

ヒント
［選択した地域の既定のチャンネル一覧］をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

⑥ ［次へ］をクリックする。
チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

ヒント
［検出に失敗したチャンネルを削除する］を ☐ にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。通常は ☑ のままにしておくことをおすすめします。

⑦ ［検出に失敗したチャンネルを削除する］が ☑ になっていることを確認して［完了］をクリックする。

Q　Do VAIOでテレビの音声が出力されない

A 「Do VAIO」画面の をクリックし、消音設定を解除してください。

A 「Sound Reality コントロール パネル」画面を確認してください。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② [サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。

③ [Sound Reality オーディオ]をクリックする。
「Sound Reality コントロール パネル」画面が表示されます。

④ [レベル]タブをクリックする。

⑤ 「レベル」画面で、「マスター」または[WAVE]のミュートがチェックされている場合はチェックをはずす。

Q　画面の色がきれいに表示されない

A Do VAIOでテレビを見たりDVDを再生するときは、ディスプレイの色数を最高(32ビット)に設定してください。その他の設定では画像が正しく表示されない場合があります。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[画面／ディスプレイ]→[設定]→[ディスプレイの解像度／色数を変更する]の順にクリックする。)

Q　エラーメッセージが表示され、終了、スタンバイ、休止などの操作ができない

A 録画中や予約録画開始数分前またはDVD作成中は、終了、スタンバイ、休止はできません。また、手動録画中やDVD作成中はログオフもできません。

録画終了後に再び操作してください。

Q　録画時に「コピー防止信号のため録画できません」というメッセージが表示され録画ができない

A 著作権保護のための信号が含まれている映像を録画しようとすると、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。

放送局側で録画禁止設定が行われている番組など、著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。

著作権保護のための信号が含まれている映像には、次のようなものがあります。

- DVD
- 市販のビデオソフト
- レンタルビデオソフト
- デジタル放送や一部のケーブルテレビなどの映像

Q 視聴時と再生時の音量が違う

A 「Sound Reality コントロール パネル」画面の設定を変更すると、テレビの視聴時や再生時の音量が変わる場合があります。

以下の手順でお買い上げ時の音量設定に戻してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② ［サウンド、音声、およびオーディオデバイス］をクリックする。

③ ［Sound Reality オーディオ］をクリックする。
「Sound Reality コントロール パネル」画面が表示されます。

④ ［レベル］タブをクリックする。

⑤ 「レベル」画面の「ボリューム コントロール」で［マスター］と［WAVE］の音量スライダと消音設定を調整する。

Q 予約したのに録画されていない

A アンテナ接続ケーブルが本機のVHF／UHF（アンテナ）コネクタと正しく接続されているか確認してください。

A 本機の電源を切った状態では予約録画は実行されません。

スタンバイモード、または休止状態にして待機させてください。

Q 縞状のノイズが多い

A アンテナ接続ケーブルは、他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

A 分配していないか確認してください。

分配している場合は、別売りのアンテナブースターをお使いください。

外部機器からの録画

Q アナログ機器（VHSなど）からの映像を録画する方法がわからない（アナログテレビチューナー搭載モデル）

A Do VAIOで録画できます。

Do VAIOでの録画方法について詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

また、ビデオデッキとの接続を確認してください。ビデオデッキの接続については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「楽しむ／保存する」の［テレビ／ビデオ］→「接続／準備」の［ビデオデッキやCS･BSチューナーをつなぐ］の順にクリックする。）

Q DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない

A 「DVgate Plus」ソフトウェアで録画できます。

A 「Click to DVD」ソフトウェアを使って、DV機器の映像から直接DVDを作成することもできます。

「Click to DVD」ソフトウェアでのDVDの作成方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「楽しむ／保存する」の［映像］→「DVDを作る」の［撮影した素材からDVDを作る］の順にクリックする。）

Q 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない(アナログテレビチューナー搭載モデル)

A 本機に接続した機器が動作していない場合があります。

ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。

A ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができない場合があります。

本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面(青い画面など)、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができないことがあります。

Q 「Click to DVD」ソフトウェアでアナログ入力ができない(アナログテレビチューナー搭載モデル)

A Do VAIOでチャンネル設定を行っていない場合は、チャンネル設定を行ってください(72ページ)。

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。

クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A オンラインヘルプの「必要なコンピュータの設定 (必ずお読みください)」を行っていない場合は、「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプをご覧になり、コンピュータの設定を確認してください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。

クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A オンラインヘルプの「必要なコンピュータの設定 (必ずお読みください)」を行っていない場合は、「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプをご覧になり、コンピュータの設定を確認してください。

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)

Q FeliCa機能が使えない

A FeliCaカードを置いたあとに、FeliCaボタンを押してください。

FeliCaボタンを押すと、FeliCa機能を利用することができます。

A キーボードが使用できる状況になっているかを確認してください(169ページ)。

A キーボード周辺の環境を確認してください。

金属製の机などキーボードの近くに金属があると、FeliCaカードとの通信に影響を与えることがあります。

A FeliCa機能を使用する他のソフトウェアなどが起動しています。

使用していないソフトウェアなどは終了してください。

A FeliCaカード／携帯電話の位置を確認してください。

キーボードの （FeliCaプラットフォームマーク）に合わせて置いてください。

!ご注意

携帯電話の形状によっては、FeliCa通信ができないことがあります。

A キーボードのバッテリーインジケーターを確認してください。

!ご注意

乾電池の残量が少ないときにFeliCaを使用すると が点滅します。

が点滅したときは、FeliCaの動作が不安定になることがありますので、乾電池を交換してください。

A キーボード側のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）の準備が完了しているか確認してください。

インジケーターにFeliCaマークがあるか確認してください。なければFeliCaボタンを押してください。

A FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）などに不具合がある可能性があります。

「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[かざそうFeliCa]→[FeliCaポート診断ツール]の順にポインタを合わせ、[FeliCaポート自己診断]をクリックする。
FeliCaカードを置いて、FeliCaボタンを押してください。

② 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。
診断が開始され、結果が表示されます。
FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。
また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

インスタントモード（アナログテレビチューナー搭載モデル）

Q インスタントモードが起動しない

A 電源オフの状態以外からはインスタントモードを起動することはできません。

スタンバイや休止状態にしているときに、テレビボタンやビデオボタンやCD・DVDボタンを押すと、Do VAIOが起動します。

本機の電源を切ってから（59ページ）、インスタントモードを起動してください。

A インスタントモードに必要なファイル（C:ドライブのInstantONフォルダに隠し属性でインストールされています）が圧縮されている場合、インスタントモードは起動しません。次の手順で圧縮解除をすればインスタントモードを起動することができます。

① [スタート]ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行...]クリックする。

② 「名前」ボックスに「C:¥InstantON」と入力して[OK]をクリックする。

③ ツールバーの[フォルダ]をクリックする。
画面左側にフォルダの一覧が表示されます。

④ フォルダの一覧に表示された「InstantON」のフォルダを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
「InstantONのプロパティ」画面が表示されます。

⑤ 「全般」タブの[詳細設定]をクリックする。

⑥「圧縮属性または暗号化属性」の[内容を圧縮してディスク領域を節約する]のチェックをはずし[OK]をクリックする。

⑦「InstantONのプロパティ」画面で[OK]をクリックする。

⑧「属性変更の確認」画面で[OK]をクリックする。

手順⑥で[内容を圧縮してディスク領域を節約する]のチェックが入っていない場合は、以下の操作を行ってください。

⑨「圧縮属性または暗号化属性」の[内容を圧縮してディスク領域を節約する]のチェックを入れて[OK]をクリックする。

⑩「InstantONのプロパティ」画面で[適用]をクリックする。

⑪「属性変更の確認」画面で[このフォルダのみ変更を適用する]を選択して、[OK]をクリックする。

⑫ もう1度「全般」タブの[詳細設定]をクリックする。

⑬「圧縮属性または暗号化属性」の[内容を圧縮してディスク領域を節約する]のチェックをはずし[OK]をクリックする。

⑭「InstantONのプロパティ」画面で[OK]をクリックする。

⑮「属性変更の確認」画面で[OK]をクリックする。

!ご注意
[ディスクのクリーンアップ]で、[古いファイルの圧縮]を選択して実行するとインスタントモードに必要なファイルが圧縮される場合があります。その場合も上記の手順で圧縮を元に戻してください。

Q テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない

A インスタントモードでテレビを見るためには、あらかじめDo VAIOでチャンネル設定をしておく必要があります。

Do VAIOのチャンネル設定を確認してください(173ページ)。

Do VAIOでチャンネル設定を行ったあとは、インスタントモードのチャンネル設定も行ってください(124ページ)。

A 「テレビ再生/録画」の「テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない」(173ページ)の項目を確認してください。

Q CD/DVDの再生ができない、または再生時に画像や音がとぎれる

A ディスクが正しくセットされているか確認してください(122ページ)。

A DVDディスクの地域番号(リージョンコード)を確認してください。

本機では、地域番号(リージョンコード)として「2」または「ALL」が記されていないDVDは再生できません。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ/保存する」の[映像]→[ご注意など]→[再生可能なDVDの地域番号(リージョンコード)について]の順にクリックする。)

A インスタントモードでは、市販のDVD、ビデオフォーマットのDVD、ビデオレコーディングフォーマットのDVD-RW/DVD-RAM以外の再生には対応していません。

インスタントモードで対応していないDVDの再生は、Windowsを起動して、Do VAIOまたは「WinDVD」ソフトウェアで行ってください。
また、DTS形式の音声の再生はサポートしていません。

A 再生面に汚れや傷がある場合は、正しく再生できないことがあります。

ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとってください。汚れを拭きとるときは、柔らかい布を使用してください（219ページ）。

A 結露（214ページ）が生じている可能性があります。

1時間くらい待って電源を入れ直してから、もう1度再生してください。

Q リモコンで操作できない

A リモコンとリモコン受光部を確認してください。

- リモコンとリモコン受光部の間に障害物がある。
障害物を取り除いてください。
- リモコンとリモコン受光部の距離が離れすぎている。
近寄って操作してください。
- リモコンの発光部がリモコン受光部の方を向いていない。
リモコンをリモコン受光部に向けてください。
- リモコンの乾電池が＋／－逆に入っている。
正しい方向に入れ直してください。
- リモコンの乾電池が消耗している。
電池を交換してください。

A 本機の近くにインバーター方式の蛍光灯がある場合は、本機と蛍光灯を離して設置してください。

A インスタントモードを起動してから操作してください。

インスタントモードを起動するには、Windowsが起動していない状態で、リモコンのテレビボタン、ビデオボタンまたはCD・DVDボタンを押します。

Q インスタントモード起動中、画面に何も表示されない

A インスタントモード起動中、しばらく何も操作が行われないと、液晶ディスプレイに何も表示されなくなります。

元の画面に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押してください。

Q ハードディスクに録画できない

A パーティションサイズを確認してください（153ページ）。

録画したデータはD:ドライブに保存されます。リカバリの際に、パーティションサイズの選択でC:ドライブにすべてのハードディスクの容量を割り当てた場合、ハードディスクに録画することができなくなります。元の画面に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A D:ドライブを圧縮する設定にすると、ハードディスクに録画できません。

録画したデータはD:ドライブに保存されます。

次の手順でドライブの設定を変更してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして、［マイ コンピュータ］をクリックする。

② ［ローカルディスク（D:）］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

③ 「ドライブを圧縮してディスク領域を空ける」のチェックをはずす。

④ ［OK］をクリックする。

A インスタントモードに必要な領域が圧縮されている場合、ハードディスクに録画できません。

インスタントモードに必要なファイルは、D:ドライブの「Instant_Mode_Video」フォルダに隠し属性でインストールされています。

次の手順で圧縮解除をすることでハードディスクに録画することができます。

① ［スタート］ボタンをクリックして、［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

② 「名前」のテキストボックスに「D:￥Instant_Mode_Video」と入力して［OK］をクリックする。

③ ツールバーの［フォルダ］をクリックする。
画面左側にフォルダの一覧が表示されます。

④ フォルダの一覧に表示された「Instant_Mode_Video」のフォルダを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。
「Instant_Mode_Videoのプロパティ」画面が表示されます。

⑤ 「全般」タブの［詳細設定］をクリックする。

⑥ 「圧縮属性または暗号化属性」の［内容を圧縮してディスク領域を節約する］のチェックをはずし、［OK］をクリックする。

ヒント
［内容を圧縮してディスク領域を節約する］にチェックされていない場合は、次の操作を行ってから手順7に進んでください。

1) ［内容を圧縮してディスク領域を節約する］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［OK］をクリックする。
2) 「Instant_Mode_Videoのプロパティ」画面で、［適用］をクリックする。
「属性変更の確認」画面が表示されます。
3) ［このフォルダにのみ変更を適用する］を選択し、［OK］をクリックする。
4) もう1度「全般」タブの［詳細設定］をクリックする。
5) 「圧縮属性または暗号化属性」の［内容を圧縮してディスク領域を節約する］のチェックをはずし、［OK］をクリックする。
6) ［OK］をクリックする。

⑦ 「Instant_Mode_Videoのプロパティ」画面で、［OK］をクリックする。
「属性変更の確認」画面が表示されます。

⑧ ［OK］をクリックする。

エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 164ページをご覧ください。

フロッピーディスクのエラーメッセージ

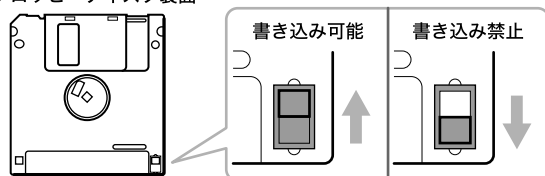
Q フロッピーディスクにデータを保存しようとしたら、メッセージが表示された

A 「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクの容量の空きがありません。

容量の空きが充分にある、別のフロッピーディスクを使って、保存し直してください。

A 「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示されたときは、タブを動かして書き込み可能にしてください。

フロッピーディスクは、穴が見える位置にタブをスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。

フロッピーディスク裏面

その他のエラーメッセージ

Q 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示される

A 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。

次の操作を行ってください。リカバリディスクをドライブに挿入しないでください。

① メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

② 「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して[OK]をクリックする。
必要なファイルがコピーされます。

Q 「Could not find Acrobat External Window Handler.An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない

A 本機を再起動後、以下の手順を行ってください。

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Adobe Reader 7.0]をクリックする。

② 「Adobe Reader-使用許諾契約書」画面が表示されたら、「日本語」を選択し、[同意する]をクリックする。

③ 「Adobe Reader」ソフトウェアが起動したら、画面右上の ✕ をクリックする。

④ 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、先ほど開けなかったPDF形式のファイルを開き、表示されることを確認する。

Q Windows 終了時に「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される

A Windows を終了するときや、Windows を再起動するときに、「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示されても、パソコンの動作に影響はありません。

詳しくは「Norton Internet Security(TM)」の製造元であるシマンテック社(209ページ)で情報が公開されていますのでご確認ください。

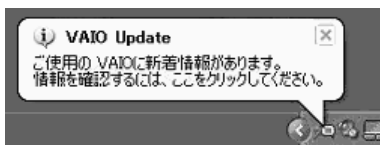
「VAIO Update」を利用するには

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」の情報を、定期的にお知らせするソフトウェアです。
ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO Update」はタスクバーの通知領域からアイコンとバルーンでお知らせします。

ヒント
VAIO Updateは、無料でご利用いただけます（インターネットご利用時にかかる通信費はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください）。

!ご注意
- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。
- VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。設定は「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示されたときに当バルーンをクリックする、もしくは[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO Update 2]→[VAIO Updateの設定]をクリックすることにより設定できます。

!ご注意
ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。
- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号、OSおよびインストールソフトウェアなどの個人情報をサーバーに送信しません。お客様の個人情報を送信することなくサービスをご提供しておりますので、安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためにあり、ここから個人情報への結びつけは行いません。

❑ VAIO Updateバルーン表示画面

❑ VAIO Update画面（前記のバルーン表示をクリックすると表示されます）

①重要なお知らせ

②アップデートプログラム

①重要なお知らせ
セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する「重要なお知らせ」を確認することができます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

②アップデートプログラム
お客様がご使用のバイオを最新の状態にできるアップデートプログラムを確認できます。アップデートプログラムには自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。それぞれ、プログラムの左にあるチェックボックスにチェック（複数選択可）を入れ、[アップデート開始]をクリックすることで、アップデートを開始します。
自動アップデートの場合には、ダウンロードとインストールを行います。
手動アップデートの場合には、ダウンロードまで行いますので、ダウンロード後はプログラムの件名をクリックすると表示される内容に従ってインストールしてください。

* アップデートを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ヒント
VAIO Updateで表示される内容は、お客様がご使用のバイオに必要な情報が表示されています。
アップデートプログラムは、セキュリティ対策などで重要度の高いものには、プログラム名の横に (!) のアイコンが表示されます。
この重要度の高いものについては、アップデートを強くおすすめします。

バイオ内の情報を調べる

本機には、本機の使いかたを手軽に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。
「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときはどうすればいいの？」（158ページ）や関連する項目をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。
「バイオ電子マニュアル」を起動するには、［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックします。

❑ 画面の見かた

① 「バイオ電子マニュアル」の最初の画面に戻ったり、画面を進めたり、戻したり、印刷や文字の大きさを変えることができます。
また、コンピュータ用語の説明を見ることができます。

② 質問文を入力して情報を探したり、検索条件の設定を行うことができます。

③ 「バイオ電子マニュアル」内での現在位置を知ることができます。また青色の文字をクリックすると該当画面に戻ることもできます。

④ ご覧になりたい内容に応じてボタンをクリックすると、それぞれの説明が表示されます。

「バイオ電子マニュアル」で検索する

検索機能を使用すると、バイオの使いかたについてわからないことや知りたいことを調べることができます。
調べたい内容を入力することで、コンピュータ内にあるバイオ電子マニュアルやソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネットに接続している場合はVAIOカスタマーリンクのホームページから最適な解説がすばやく検索できます。

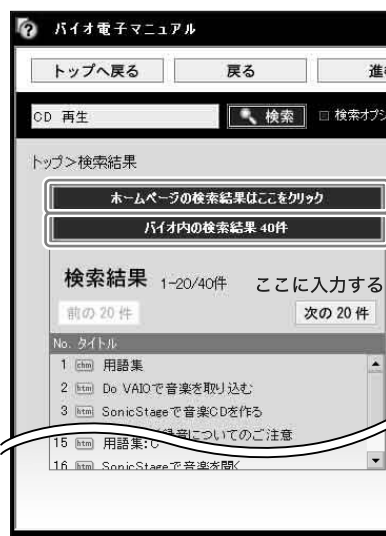
1 検索したい内容をキーワード（単語）や質問文で入力する。

バイオ電子マニュアル内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が得られます。
また、入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
例：**「CD 再生」**

ここに入力する

2 ［検索］をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い（類似度が高い）ものから順に表示されます。

ホームページの検索結果はここをクリックする

コンピュータ内の検索結果はここをクリックする

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 **検索結果の一覧からタイトルをクリックする。**

画面右側に選んだ文書の内容が表示されます。

VAIOカスタマーリンクホームページの文書は別画面で表示されます。

ヘルプとサポートセンターを見る

❑ ヘルプとサポートセンターを見るには

[スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]をクリックすると「ヘルプとサポートセンター」が表示されます。
ヘルプとサポートセンターでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、バイオ電子マニュアルの[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは

ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンクホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的にご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

！ご注意
本書内の「サービス・サポート」の内容は、2006年8月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンクホームページでご確認ください。

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには、次の2とおりの方法があります。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

1 **「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する。**

2 **[お気に入り]をクリックして[2.VAIOサポートページ]にポインタを合わせ、[1.サポート（サービス・サポート情報）]をクリックする。**

VAIOカスタマーリンクホームページが表示されます。

「VAIOナビ」ソフトウェアを使用する

1 **デスクトップ画面の[VAIOナビ]アイコンをダブルクリックして、[VAIOナビ]ソフトウェアを起動する。**

2 **画面左側の[トラブル解決]をクリックして表示された画面で[VAIO サポートページを見る]ボタンをクリックする。**

VAIOカスタマーリンクホームページが表示されます。

VAIOカスタマーリンクホームページを活用する

VAIOカスタマーリンクホームページでは、お客様がお好きな方法で必要な情報や解決策を入手できるよう、「目的別メニュー」と「すべてのメニュー」の2つの入り口をご用意しています。

* 次回からは選択されたメニューから始まります。

目的別メニュー

「目的別メニュー」は4つの大きなメニューで、お客様を目的のサポートメニューへご案内します。
困ったときに、どのメニューから探していいのかわからない方、パソコン初心者の方などにおすすめです。

❑ 困ったときに押すボタン

トラブル解決をしたい、アップデートプログラムをダウンロードしたいなど、困ったときの9つの対処方法をご案内しています。

❑ 初心者の方から多い質問

初心者の方からのお問い合わせの内容をわかりやすくご紹介している「初心者コーナー」へご案内しています。

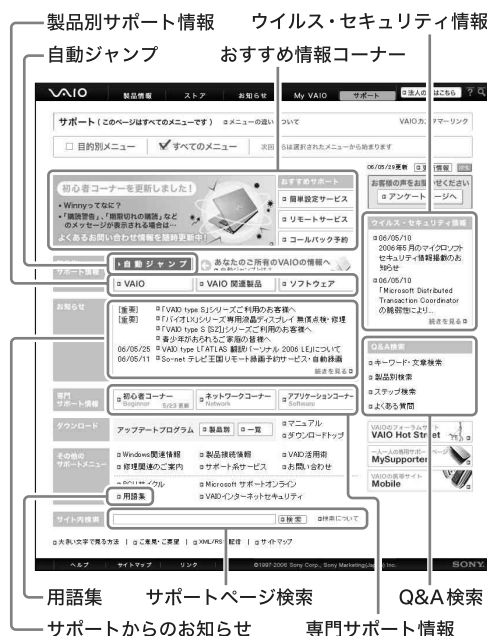
❑ 電話で相談する

電話でのお問い合わせ方法をわかりやすくご紹介しています。

❑ メールで相談する

メールでのお問い合わせ方法をわかりやすくご紹介しています。

すべてのメニュー

「すべてメニュー」はサポートに関するすべてのメニューをわかりやすいように整理しています。
使いたいメニューにダイレクトにいきたい方におすすめです。

❑ 製品別サポート情報

製品別にお知らせやダウンロードなどの最新サポート情報をまとめた「製品別サポート情報ページ」をご利用いただけます。製品ごとのアップデートプログラムや他社製品の接続情報も紹介しています。
ご所有の製品のページを「お気に入り」などに追加することをおすすめします。

❑ Q&A検索

Q&A検索では5つの検索機能（キーワード検索・文章検索・製品別検索・ステップ検索・よくある質問）を使い、VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問（操作や設定、トラブル解決方法など知りたいこと）に対する回答を検索することができます。

❑ ウイルス・セキュリティ情報

バイオをご使用する際におけるセキュリティ関連の最新のお知らせを掲載しています。インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃や、ウイルスによる被害が増えてきています。バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックしていただいて必要な対策をとられることを強くおすすめします（専用ページをクリックすることでウイルス・セキュリティ情報をご覧になれます）。

❑ 専門サポート情報

VAIOカスタマーリンクの専門オペレーターと連携して、サポート情報を提供する専門サポートコーナーです。「初心者」、「ネットワーク」、「アプリケーション」の3つの専門分野に特化した情報をご提供しています。

❑ サポートからのお知らせ

お客様への重要なお知らせおよびVAIOカスタマーリンクからの最新のお知らせを掲載しています（すべてのお知らせをクリックすることでその他のお知らせをご覧になれます）。

❑ おすすめ情報コーナー

VAIOカスタマーリンクよりホットなサポート情報をお知らせいたします。

❑ 自動ジャンプ

「自動ジャンプ」ボタンをクリックするだけで、ご所有のバイオの製品別サポート情報ページがご覧になれます。

❑ サポートページ検索

キーワードによるVAIOカスタマーリンクホームページのサイト内検索ができます（お客様からいただいたお問い合わせとその回答などについては「Q&A検索」からご利用いただけます）。

❑ 用語集

基礎的な用語や最新のキーワードを、初心者の方にもわかりやすく解説しています。

❑ 調べかた

頭文字から探す

①調べたい用語の頭文字をクリックする。

②右上のリストから用語をクリックする。

キーワードで探す

調べたい用語を入力して検索します。

製品別サポート情報

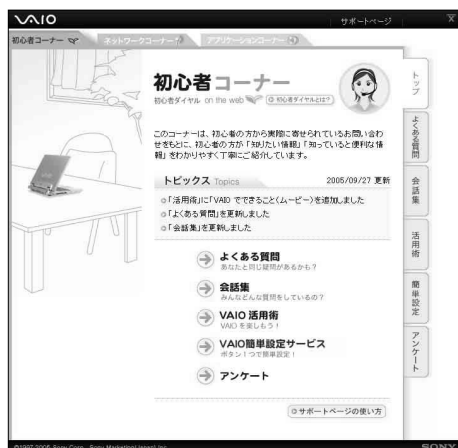
製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

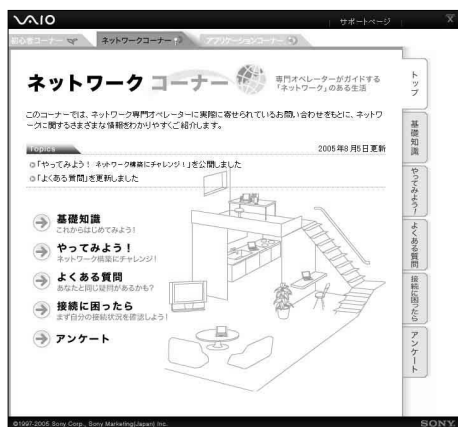
専門サポート情報

VAIOカスタマーリンク電話サポートの各専門オペレーターと連携し、「初心者コーナー」、「ネットワークコーナー」、「アプリケーションコーナー」という3つの専門分野に特化したサポート情報をわかりやすくご紹介しています。

専門サポート情報

初心者コーナー

初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

ネットワークコーナー

ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「接続に困ったら」、「ネットワーク構築にチャレンジ」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

アプリケーションコーナー

アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

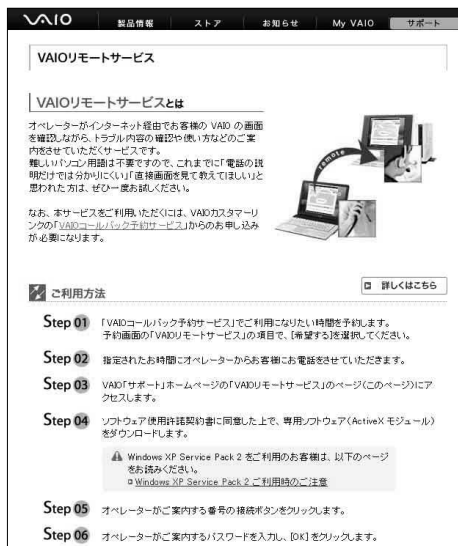
VAIOリモートサービス

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどのご案内をさせていただくサービスです。
難しいパソコン用語は不要ですので、これまでに「電話の説明だけでは分かりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われた方は、ぜひ1度お試しください。

1 **「VAIOコールバック予約サービス」で、ご利用になりたい時間を予約します。**

詳しくは、「マイサポーターでVAIOコールバック予約サービスを利用する」（193ページ）をご覧ください。

2 **指定されたお時間にオペレーターからお客様にお電話をさせていただきます。**

3 VAIOカスタマーリンクホームページの「VAIOリモートサービス」のページにアクセスします。

4 ページ内のソフトウェア使用許諾契約書に同意したうえで、専用ソフトウェアをダウンロードします。

5 オペレーターが案内する番号の接続ボタンをクリックします。

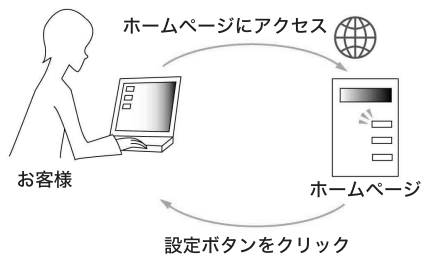
6 オペレーターが案内するパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

7 オペレーターがお客様のバイオに接続し、対応を開始します。

！ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、VAIOカスタマー登録およびインターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、事前にマイサポーターの「マイサポーターでVAIOコールバック予約サービスを利用する」(193ページ)からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

VAIO簡単設定サービス

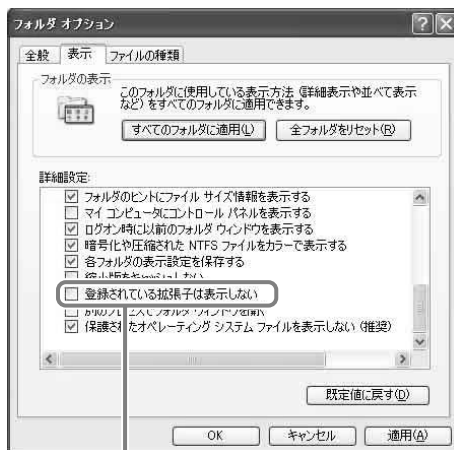
複雑な設定変更もホームページ上の設定ボタンをクリックするだけでOK！
変更手順を表示しながら、設定変更を行い、お客様を問題解決までナビゲートします。

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「VAIO簡単設定サービス」のページにアクセスします。

2 設定したい項目の[簡単設定をはじめる]ボタンをクリックします。

ここでは、例として「ファイルの拡張子を表示する」設定を実行します。

ここをクリックする

3 「VAIO簡単設定サービス」のモジュールが自動的にダウンロードされ、設定の準備が行われます。

4 [続ける]ボタンをクリックして設定を開始すると、変更手順を表示しながら自動的に設定変更が実行されます。

自動的にチェックがはずれる

5 「VAIO簡単設定サービス」が完了すると、お客様のバイオの設定が変更されています。

この例では、ファイルの拡張子が表示されるようになりました。

ファイルの拡張子が表示されている

!ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、インターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、Windows XPを搭載のバイオ専用のサービスです。
- 本サービスをご利用の際は、ほかのアプリケーションをすべて終了させてください。

VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、VAIOカスタマーリンクが提供する携帯電話向けサポートサイトです。「ウイルス・セキュリティ情報」や「よくある質問」といったバイオのサポート情報のほか、「最新製品情報」や「リアルタイムアンケート」などのお楽しみコンテンツも掲載しています。

また、「サポート系コンテンツ」の「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理の進み具合もご確認いただけます。詳しい操作方法については、「「修理／お預かり品状況確認」について」（199ページ）をご覧ください。

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

（対応端末：i-mode・EZweb・Vodafone live!）
また、バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にアクセスできます。

* QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。

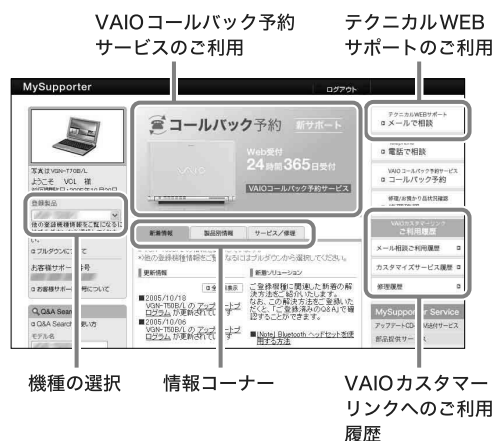
マイサポーターで確認する

「マイサポーター」は、バイオをご所有のお客様ひとりひとりに合わせて、ご所有の機種に対応したサポート情報やご案内を自動的に表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサポートサービスです。
マイサポーター
https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

* マイサポーターの内容は予告なしに変更する場合があります。

ヒント

- マイサポーターをご利用いただくには、お客様がVAIOカスタマー登録を行われていることが必要です（My Sony IDとMy Sony IDパスワードを入力してマイサポーターへログインし、ご利用いただくしくみです）。
- VAIOカスタマー登録については http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2/をご覧ください。

❑ マイサポーターでできること

機種の選択

複数の機種をお持ちの場合は、表示させる機種を選択し、対象機種のサービス・サポートをご確認いただけます。

情報コーナーでチェック

情報コーナーでは、お客様ひとりひとりのご所有機種に対応したおすすめのサービス・サポートなどをご案内します。
情報コーナーには「新着情報」、「製品別情報」、「サービス／修理」があります。

- **新着情報**
  更新情報や新着のソリューション（問題解決のQ＆A）をお知らせします。
- **製品別情報**
  ご所有のバイオが対象となる「お知らせ」や「アップデートプログラム」をご案内します。
- **サービス／修理**
  バイオの付属品、リカバリディスク、各種サポートディスクを有料で送付するサービス、または修理のご依頼方法などをご案内します。

ヒント

- お買い上げの機種またはお客様によっては表示されるメニューが異なります。
- お知らせの内容は登録機種に対応して表示されます。

VAIOコールバック予約サービスの利用

- 詳しくは、「マイサポーターでVAIOコールバック予約サービスを利用する」(193ページ)をご覧ください。

テクニカルWebサポートの利用

- 詳しくは、「マイサポーターでテクニカルWebサポートを利用する」(193ページ)をご覧ください。

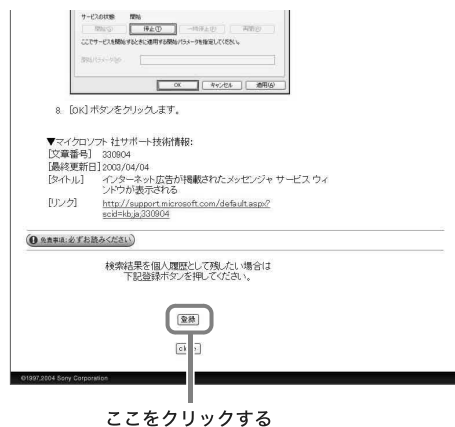
ご利用履歴の確認

お客様のVAIOカスタマーリンクのご利用履歴(テクニカルWebサポート、修理情報)を確認できます。

- **テクニカルWebサポート　ご利用履歴**
  お客様がWebからお問い合わせされた内容とVAIOカスタマーリンクからの回答文の履歴を確認できます(2001年2月以降の履歴を対象とさせていただきます)。
- **VAIOカスタマイズサービス　ご利用履歴**
  メモリの増設など「VAIOカスタマイズサービス」にお申し込みいただいたサービスの履歴を確認できます。
- **修理／関連サービス　ご利用履歴**
  VAIOカスタマーリンクに直接修理をご依頼いただいたバイオ本体の修理履歴を確認できます。

Q&A Search結果の登録

お客様が検索されたQ&Aを履歴に登録すると「ご登録済みのQ&A」に保管されます。解決方法の内容を忘れてしまった場合も、あとからもう1度確認するときに便利です。

ここをクリックする

マイサポーターでVAIOコールバック予約サービスを利用する

VAIOコールバック予約サービスは、マイサポーター内にある「コールバック予約」ページより、ご予約のお申し込みをいただいたご指定の日時にVAIOカスタマーリンク(コールセンター)からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

VAIOコールバック予約サービス
https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

ヒント
VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です(コールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行われていることが必要です)。

予約受付時間:
24時間いつでもご予約可能(システムメンテナンス時を除く)
回答時間:
平日:10:00〜21:00
土、日、祝日　10:00〜17:00

本サービスは、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせに限らせていただきます。

ご注意
VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

マイサポーターでテクニカルWebサポートを利用する

「テクニカルWebサポート」は、バイオに関する技術的な質問をマイサポーター内から所定のフォームで入力すれば、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです(質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます)。

ヒント
このサービスをご利用いただくにはMy Sony IDが必要です。
カスタマー登録について詳しくは「カスタマー登録する」(69ページ)をご覧ください。

❑「テクニカルWebサポート」で新規にお問い合わせをする場合

1 マイサポーターにログインする。

ここをクリックする

2 [テクニカルWEBサポートメールで相談]をクリックする。

ここをクリックする

3 [新規ご利用申込]をクリックする。

4 画面の指示に従って操作する。

VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

VAIO Hot Street(バイオホットストリート)
http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

!ご注意
投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDが必要です。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

各テーマ

[質問する・回答する]

バイオをお使いのうえでわからないことをお客様どうしで質問、回答していただけます。
“困っているけれど、うまく説明ができない!”というときは、「今すぐ質問」をご利用ください。最低限の必要情報を入力するだけで、質問することができます。
質問に対して解決策やヒント、アドバイスなどをお持ちのお客様は、ぜひ回答をお寄せください。

今すぐ質問

「今困っていることを、うまく説明ができない!」など、とにかく困っているときは、ここからご質問ください。なお、トラブルの詳しい症状や製品情報など、具体的な内容がわかっている場合はぜひ従来の「質問する」ボタンからお願いします。

！ご注意

- ご利用にはログインが必要です。
- 質問を入力後にログインしても、入力した内容がそのまま表示されます。

＜実際の投稿例＞

Vメーター

！ご注意

最新の詳しい説明ページは、下記URLからご確認ください。

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

電話でのサポートをご利用の前に

「バイオ内の情報を調べる」（185ページ）や「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」（186ページ）を行ってもトラブルが解決しなかったときは、VAIOカスタマーリンクに電話でお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

ヒント

VAIOカスタマー登録をされると、VAIOカスタマーリンクへの電話での技術的なお問い合わせが行えます。

！ご注意

- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- 自動音声応答により、担当のオペレーターにおつなぎいたします。
  自動音声に応答できない場合は、そのままお待ちいただきますとオペレーターにつながります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS、ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

Windows XP Home EditionとWindows XP Professionalではサポート体制が異なります。
お使いのバイオがWindows XP Home Edition搭載モデルかWindows XP Professional搭載モデルのどちらなのかわからない場合は、「システムのプロパティ」をご覧ください。「システムのプロパティ」を表示するには、[スタート]ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ]を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選びます。

技術的なお問い合わせは（Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合）

バイオの使いかたのご相談や技術的なご質問については、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。
VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

- VAIOコールバック予約サービス
  お客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「マイサポーターでVAIOコールバック予約サービスを利用する」（193ページ）をご覧ください。
- VAIOリモートサービス
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」（189ページ）をご覧ください。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2/）をご覧ください。

お問い合わせについて詳しくは、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（203ページ）をご覧ください。

技術的なお問い合わせは（Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合）

電子マニュアルおよびインターネットを使ったお問い合わせについて
バイオには、お客様のご都合のよい時間にいつでも無料でご利用になれる豊富なサポート用ソフトウェアとインターネットを通じたサポートサービスがございます。バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」（193ページ）（https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/）を、ぜひご活用ください。

❑ お電話でのお問い合わせについて

バイオの使いかたのご相談や技術的なご質問については、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。
VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

- VAIOコールバック予約サービス
  お客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「マイサポーターでVAIOコールバック予約サービスを利用する」（193ページ）をご覧ください。
- VAIOリモートサービス
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」（189ページ）をご覧ください。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2/）をご覧ください。

お問い合わせについて詳しくは、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（203ページ）をご覧ください。

購入日から90日間は・・・

バイオのご購入日から90日間は、お問い合わせ回数にかかわらず無料でご利用いただける電話サポートをご用意しています。バイオの使いかたなど、ご購入直後のお客様の疑問にお答えします。

購入日から90日以降は・・・

バイオご購入日から90日を過ぎたあとも電話サポートをご利用になれるように、「アドバンストサポート」という有料の電話サポートのメニューをご用意しています。お客様のお電話をWindows XP Professional搭載モデル専用のオペレーターにおつなぎして、迅速なサポートをご提供いたします。
ご購入日から90日を過ぎた場合のお電話でのお問い合わせは、下記の「アドバンストサポートチケット」をご購入のうえ、ご利用ください。

❑ インターネット経由でのお問い合わせについて

バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」（https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/）において、原則24時間以内にご回答を返信し迅速な対応をいたします（午前10時までにお受けしたご質問につきましては、原則としてその日のうちに返信させていただきます）。

- 本サポートは、特に期限はなく無料でご利用いただけます。
- メールでのお問い合わせは承っておりません。
- 24時間以内での返信はWindows XP Professional搭載モデルのみのサービスとなっております。

❑ 「アドバンストサポートチケット」をご購入いただくと

ご購入日から90日以降の電話サポートがご利用いただけます。

「アドバンストサポートチケット」とは

ご購入日から90日を過ぎてからお電話でバイオに関する技術的なお問い合わせ（使いかたのご説明など）をされる場合のメニューです。
下記のチケットをご購入いただくと、チケット1枚でお客様のご質問内容1件について、担当のオペレーターが対応いたします。

ヒント

- 本チケットは電子チケットです。お客様のお手元に紙のチケットなどをお届けすることはありません。
- ご質問内容1件とはお電話の回数ではなく、一つの独立した質問で複数に分割できない内容と弊社が判断したものとします。回答完了の判断は弊社の裁量によるものとし、回答完了前に派生した問題は別の問題として数えます。

■チケットの種類と価格（2006年8月現在）

- チケット1枚（単品）：2,100円（税抜価格2,000円）
- チケット3枚：5,250円（税抜価格5,000円）
- 1年間有効（回数フリー）：10,500円（税抜価格10,000円）

■有効期間

ご購入の当日より1年間

購入方法

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口（204ページ）でお電話でお申し込みいただけます。

支払方法

クレジットカード（VISA・MASTER・JCB、1回払いのみ可能）をご利用ください。

ヒント

ご利用者本人のクレジットカード番号、有効期限をご購入時にお伺いいたします。
代金のお支払いは各クレジットカード会社の会員規約に従い、ご指定の口座から自動引き落としとなります。

返品・キャンセル・交換について

商品の性質上、お客様のご都合によるご返品、キャンセル、および交換は受け付けておりません。

その他

本サービスは、サービス購入者が行うすべてのお問い合わせに完全な回答を差し上げることを保証するものではありません。他社製品との接続、弊社にて再現できない使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

「アドバンストサポートチケット」についてのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口（204ページ）にお問い合わせください。

ヒント

「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクでの電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。
一般的に午前中と夕方以降は電話が混雑しており、日中の方がお電話がつながりやすくなっております。
VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況を見るには、VAIOカスタマーリンクホームページにある「困ったときに押すボタン」の中の[電話で相談]を選択し、電話サポートにある[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表]をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

修理を依頼されるときは

修理依頼の手順

修理を依頼される前に、「バイオ電子マニュアル」で調べたり、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」（186ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

点検サービスも行っております
バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

！ご注意
修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。

1 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには以下のような方法があります。

- “メモリースティック”にコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。
- 外付けの記憶装置（HDDなど）にコピーする。

それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の[バイオの使いかた]をクリックして表示される情報をご覧ください。

！ご注意

- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

2 VAIOカルテと筆記用具をご用意ください。

VAIOカルテは本機に付属しています。紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part2_s1.html）またはFAX情報サービス（202ページ）より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

VAIO
VAIOカルテ

このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。

1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合
修理添付用VAIOカルテのおもて面（お客様情報とお支払方法について）と裏面（症状と製品の情報について）の両面にご記入いただき、ソニー指定業者が修理品をお預かりにお伺いした際に、修理品と一緒にお預けください。
2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合
修理添付用VAIOカルテの裏面（症状と製品の情報について）のみご記入いただき、店頭で修理品と一緒にお預けください。

修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030

お電話いただく前にお読み下さい

1. お客様のバイオをお手元にご用意ください。ご指摘症状によっては、ご案内した操作をしていただく事で改善され、お預けいただかなくても問題が解決する場合があります。
2. 販売店様独自の延長保証にご加入されている場合は、延長保証適用について、販売店様へ事前にご確認ください。
3. お客様ご自身によるトラブルシュート「故障かな？と思ったら」が、下記URLから直接ご確認いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/index.html
4. 修理窓口0466-30-3030へお電話いただく場合の通話料は、お客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
5. お電話いただいた際の受付フローは、おおむね以下の通りです。
(1) 担当にお繋ぎするために、音声ガイドでご案内を行なっています。
(2) カスタマー登録されている方は、16桁のサポート番号または13桁のバイオカスタマーIDの入力が必要になります。これらの番号をあらかじめお手元にご用意ください。
(3) 初めの案内で、これからの修理のご依頼をされる方は1、すでに修理をご依頼されている方は2を、お手持ちの電話機から入力していただくことになります。以降は音声ガイドの案内に従って、操作をお願いいたします。
6. 修理品をお預りのお客様へ
WEBから修理お預り品の状況検索が可能です。下記URLから直接ご確認いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/index.html

詳細につきましては、ご購入商品に同梱されている『サービスサポートのご案内』をご参照ください。

VAIOはソニー株式会社の商標です。　SONY
2-050-829-02

ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

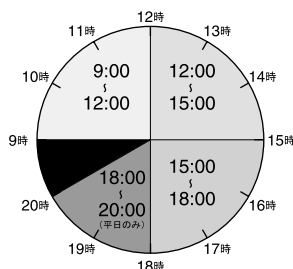
3 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2/）をご覧ください。

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意のうえ、お電話ください。電話がつながりましたら、自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

4 修理が必要と判断させていただいた場合は修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部機種、一部地域を除く）。

- 9：00〜12：00
- 12：00〜15：00
- 15：00〜18：00
- 18：00〜20：00（平日のみ）

！ご注意

上記は2006年8月現在での選択可能な時間帯です。一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引き取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

ヒント

- 受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。
- 引取修理は、VAIOカスタマーリンク修理窓口で修理を受け付け、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。（送料はソニー負担です。）

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

！ご注意

- 保証期間中でも有料になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。（なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります。）

「修理／お預かり品状況確認」について

VAIOカスタマーリンクホームページの「修理／お預かり品状況確認」およびVAIOカスタマーリンクモバイルの「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理のご依頼をいただいた方に、修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。
修理／お預かり品状況確認を見るには、以下の手順に従って操作します。

！ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

1 VAIOカスタマーリンクホームページにある［修理／お預かり品状況確認］をクリックする。

コンピュータから利用する場合

VAIOカスタマーリンクホームページにある［修理/お預かり品状況確認］をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/

携帯電話から利用する場合

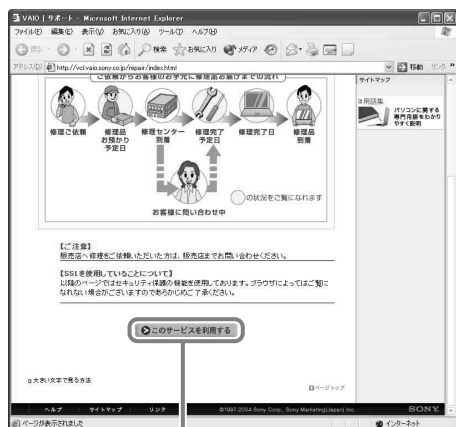
VAIOカスタマーリンクモバイルにアクセスして、"修理品状況確認"をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

2 確認画面を表示させる。

コンピュータから利用する場合

画面下の［このサービスを利用する］をクリックすると、「修理／お預かり品状況確認」画面が表示されます。

携帯電話から利用する場合

画面中の"確認ページはこちら"をクリックすると、「修理品状況確認」画面が表示されます。

ここをクリックする

3 **修理受付番号と電話番号を入力し、[検索]をクリックする。**

修理完了の予定日が表示されます。

❑ 修理対応について

ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。

❑ 修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品または代替品を使用することがあります。
また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

❑ 海外でのご使用時の修理対応について

お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。
また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。
海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証（無料修理）の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
なお、VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）の用意もございます。詳しくは「各種有料サービスのご案内」（200ページ）をご覧ください。

その他のサービスとサポート

各種有料サービスのご案内

バイオをより快適に安心してお使いいただくためのサービス、バイオのクリエイティブな世界を体験していただくためのサービスなど各種サービスをご用意しております。
各種サービスは、バイオオーナー向けサイト MyVAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。
MyVAIO
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

!ご注意
一部の機種では提供されません。
2006年8月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

「VAIO延長保証サービス」は、大切なバイオを安心してお使いいただくために、VAIOカスタマー登録をいただいたお客様への有料サービスとしてご用意しております。

故障対応タイプ
バイオご購入日から1年間のメーカー保証を3年間に延長します。日本国内にて正常な使用状態において対象機器に故障が生じた場合、修理の回数を問わず、無料で修理させていただきます。
バイオご購入日から1年以内であればお申し込みいただけます。

故障プラス事故対応タイプ
故障対応タイプに加えて、お客様の過失による破損や漏水、火災、落雷、水害による事故についてもバイオご購入日から3年間の無料修理をさせていただきます。
バイオご購入日から60日以内であればお申し込みいただけます。

* ソニースタイルやVAIOオーナーメードでご購入いただいたバイオはサービス対象外となります。

各サービスの対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

❑ VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）

「VAIO Overseas Service」は、海外で安心してお使いいただくためにVAIOカスタマー登録をいただいたお客様への有料サービスとしてご用意しております。
海外の対象地域にご滞在中に故障した場合、1年間お電話でサポートいたします。

また、修理が必要な場合、現地での無料引き取り修理を行います。（対象はノートブック型バイオのみとさせていただきます。）
対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

❑ 設置設定サービス

スタッフが直接お客様のご自宅へお伺いし、有料でサポートする以下のようなサービスをご用意しております。

パソコンはじめてパック
バイオをお買い上げいただいたときの開梱、接続、設置、設定、動作確認などを行います。

インターネット設定＋無線LANパック
ADSL、光などインターネット回線の種類を問わず、インターネット、電子メールの設定と簡単な操作説明を行います。

データお引越しパック
以前に使用していたパソコンから新たに購入したバイオへデータのお引越しを行います。

OSアップグレード
新しいOSにアップグレード作業を行います。

出張アップグレードサービス
メモリやハードディスクなどのアップグレード作業を行います。

各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。
ホームページ
http://www.sony.co.jp/Setting/
デジホームサポートデスク
電話番号：(0570)073-111（一般及び携帯電話）
電話番号：(03)5789-3474（PHS）
受付時間　10：00～18:00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

「Norton Internet Security online」
ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。

「Norton AntiVirus online」
インターネットや電子メールから不正侵入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

❑ VAIOメール

「基本サービス」
バイオをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能（Webメール、データ保管など）も充実しています。

「メールオプションパック」
基本サービスに、「メールウイルスチェック」、「メールエクスチェンジ」、「メール転送」、「メールリジェクト」の4つの機能をセットにしたお得なパックです。単体でのお申し込みも可能です。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIOカスタマー登録をいただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

❑ セミナー・個人レッスン

セミナー
バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

個人レッスン
バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集WordやExeclなどといったソフトウェアのレッスンを行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Stepup/

❑ 部品提供サービス

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品をソニーサービスステーション、お電話（VAIOカスタマーリンク修理窓口）、ホームページ（対象機種のみ）にて有料で提供させていただくサービスをご用意しております。

購入可能な部品例
キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプタやバッテリなど。
一般にお客様が触れたり、交換するのが難しい部品については提供いたしておりません。

詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、1年間の保証がついたソニー純正の各種カスタマイズサービスをご用意しております。(対象機種に限ります。)

ハードディスクアップグレードサービス

動画ファイルの記憶領域やユーザーデータの保存領域が拡張できます。

メモリーアップグレードサービス

データの処理速度や複数のアプリケーションソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

キーボード交換サービス

標準キーボードから英語配列キーボードに交換いたします。

各サービスの対象機種や料金、注意事項などの詳細については、下記ホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ アップデートCD-ROM送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有料で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

❑「アドバンストサポート」

Windows XP Professional、Windows 2000搭載モデル用のサポートプログラムをご用意しております。
詳しくは「技術的なお問い合わせは(Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合)」(196ページ)をご覧ください。

❑ 訪問修理サービス

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。(対象はデスクトップ型バイオのみとさせていただきます。)
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前に「VAIOカスタマーリンクホームページ内」の訪問修理サービスをご確認ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス

FAX番号:(0466)30-3040

!ご注意
一部の機種では提供されません。

お問い合わせ先について

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
「バイオ電子マニュアル」の[ソフト紹介/問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(205ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

❑ VAIOカスタマー登録(69ページ)に関するお問い合わせは

カスタマー専用デスク

電話番号:(0466)38-1410

受付時間:平日10:00〜18:00(年末年始を除く)

通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
なお、バイオの使いかたについてのお問い合わせ、修理の受付については「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたのお問い合わせ／修理の受付

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

使いかたのお問い合わせは
VAIOカスタマーリンク
電話番号：(0466)30-3000
「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております(2006年8月 現在)。

- VAIOコールバック予約サービス
  お客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「マイサポーターでVAIOコールバック予約サービスを利用する」(193ページ)をご覧ください。
- VAIOリモートサービス
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」(189ページ)をご覧ください。

初心者ダイヤル
電話番号：(0466)30-4141
※2008年2月末日まで有効
初心者の方でもご理解いただきやすいよう、専任スタッフがわかりやすい言葉で親身になって対応する窓口です。
また、VAIOカスタマーリンクホームページの「初心者コーナー」では初心者ダイヤルの専門オペレーターと連携して、初心者の方が「知りたい情報」や「知っていると便利な情報」をわかりやすく紹介したページをご用意しております。(188ページ)

修理の受付は
VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：(0466)30-3030
お問い合わせの際は、お手元にバイオ本体をご用意ください。ご指摘の症状によっては、ご案内した操作で問題が解決する場合があります。

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合、技術的なお問い合わせに対しては、本機のご購入日から90日間無料で対応いたします。ご購入日から91日以降は、「アドバンストサポート」による有料でのサポートメニューをご用意しております(196ページ)。
- 受付時間外でのお問い合わせや通話料が気になる方には、VAIOカスタマーリンクホームページのマイサポーターにてサポート情報をご用意しておりますのでご活用ください(193ページ)。
- 付属のソフトウェアについては、バイオ電子マニュアルの[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(205ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。
- お問い合わせには、あらかじめ「VAIOカスタマー登録」を行っていただくようお願いいたします(69ページ)。

受付時間
平日 10：00〜21：00
土、日、祝日 10：00〜17：00
(**365日年中無休**)

一般的に午前中は電話が混雑しており、午後の方がお電話がつながりやすくなっております。
VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある「お問い合わせ」の中の[電話による技術的なお問い合わせ]を選択して、本文中央に表示される[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表]もあわせてご確認ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① 本機の型名(保証書などに記載されているものです)

② 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)

ヒント
型名、製造番号は、機銘板ラベル(26ページ)に記載されています。

③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

ヒント
発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

④ 本機に接続している**周辺機器名**(メーカー名と型名)

⑤ 表示された**エラーメッセージ**

⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン

⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**

⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか

⑨ その他お気づきの点

修理の場合は

⑩ VAIOカルテ（修理をお申し込みになるとき）

⑪ 筆記用具（修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です）

その他のお問い合わせ

通話料および通信料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

!ご注意

- バイオの使いかたに関するお問い合わせや、修理の受付については「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（203ページ）をご覧ください。
- 下記のお問い合わせ先では技術的なお問い合わせなどはお受けできません。あらかじめご了承ください。

❑ VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」（196ページ）は

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口

電話番号：（0466）30-3099

受付時間：平日　10：00〜21：00

　　　　土・日・祝　10：00〜17：00（365**日年中無休**）

❑ FAXでの情報提供（202ページ）は

VAIOカスタマーリンクFAX情報サービス

FAX番号：0466-30-3040

❑ VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は

電話番号：（0466）30-3016

受付時間：平日　10：00〜21：00

　　　　土・日・祝　10：00〜17：00

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（198ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
また、ご使用の機種によって付属されているソフトウェアが異なります。「本機に付属されているソフトウェアを確認する」(224ページ)もあわせてご覧ください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機の電子マニュアル「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

1　[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2　画面左側の[ソフト紹介/問い合わせ先]をクリックする。

3　表示されたリストから項目を選びソフトウェア名をクリックする。

!ご注意

- Windows XPは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログオンしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
  ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、[スタート]ボタンをクリックして[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

AVエンターテインメント

❑ Do VAIO
VAIOカスタマーリンク

❑ Do VAIOバックアップツール
VAIOカスタマーリンク

❑ Image Converter 2 Plus
VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO インフォ TV
VAIOカスタマーリンク

❑ StationTV Digital for VAIO
VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集・再生

❑ DVgate Plus
VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Premiere(R) Elements(R) 日本語版
アドビ システムズ　テクニカルサポート
アドビソフトウェア使用中に発生したクラッシュやエラーなどのトラブル・製品の不具合に関する無償電話サポートをご利用いただけます。アドビソフトウェアの操作方法は無償電話サポートの対象となりません。無償電話サポートのサポート範囲を越えるサポートにつきましては、有償サポートプログラムAdobe(R) Expert Support（アドビエキスパートサポート）または、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

!ご注意
DVgate Plus、VAIO Edit Components、Click to DVDのソニー社製品に関するサポートについてはVAIOカスタマーリンクへお問い合わせください。
電話番号：
（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/

❑ VAIO Edit Components
VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media(R) Player
VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD for VAIO
（ドルビーバーチャルスピーカー／ドルビーヘッドホン対応）
VAIOカスタマーリンク

DVD作成

❑ Click to DVD
VAIOカスタマーリンク

音楽

❑ SonicStage CP
VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio
VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ PictureGear Studio
VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R) 日本語版
アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜17時30分（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/
アドビソフトウェア使用中に発生したクラッシュやエラーなどのトラブル・製品の不具合に関する無償電話サポートをご利用いただけます。アドビソフトウェアの操作方法は無償電話サポートの対象となりません。無償電話サポートのサポート範囲を越えるサポートにつきましては、有償サポートプログラムAdobe(R) Expert Support（アドビエキスパートサポート）または、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

ホームネットワーク

❑ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ VAIO カメラユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

❑ Yahoo!メッセンジャー

ヤフー株式会社
ホームページ:
http://ms.yahoo.co.jp/bin/messenger-ms/feedback

❑ MSN (R) Messenger

マイクロソフト株式会社
ホームページ:
http://support.msn.com/eform.aspx?productKey=messenger&page=support_home_options_form_byemail&ct=eformts

❑ Skype

http://www.skype.com/intl/ja/

❑ ドットフォンパーソナルV (みんなでTV電話スタータ)

ドットフォン パーソナルV サポートセンタ
電話番号:(0120)050-506
受付時間:9時〜21時(土曜、日曜、祝日含む、年末年始を除く)
ホームページ:http://coden.ntt.com/ipphone/pv/

インターネット・メール

❑ Microsoft(R) Outlook Express

VAIOカスタマーリンク

❑ Microsoft Internet Explorer(R)

VAIOカスタマーリンク

❑ Yahoo!ツールバー

ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
電子メール:
https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
※上記ホームページから送信いただけます。
ホームページ:
http://www.yahoo.co.jp/
http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html
(Yahoo!ツールバーヘルプページ)

❑ i- フィルター(体験版)

デジタルアーツ株式会社　i-フィルター・サポートセンター
電話番号:(03)3580-5678
受付時間:月曜〜金曜:10時〜18時、土曜、日曜、祝日:10時〜20時 (年末年始を除く)
電子メール:p-support@daj.co.jp
ホームページ:http://www.daj.co.jp/
ユーザーサポートお問い合わせフォーム
https://sec2.daj.co.jp/userform/ask/form.htm

❑ Liquid Surf for VAIO

Portrait Displays, Inc.
ホームページ:http://www.portrait.com/jp/

ISPサインアップ

❑ So-net簡単スターター

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号:
(一般固定電話から) (0570)00-1414
(携帯PHS・IP電話から) 札幌 (011)711-3765
(携帯PHS・IP電話から) 仙台 (022)256-2221
(携帯PHS・IP電話から) 東京 (03)3446-7555
(携帯PHS・IP電話から) 名古屋 (052)819-1300
(携帯PHS・IP電話から) 大阪 (06)6577-4000
(携帯PHS・IP電話から) 広島 (082)286-1286
(携帯PHS・IP電話から) 福岡 (092)624-3910
受付時間:9時〜21時 (年中無休)
ファックス番号:(03)3446-7557
電子メール:info@so-net.ne.jp
ホームページ:http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ OCN スタートパック for Windows

カスタマーズフロント
電話番号:(0120)506506
受付時間:9時〜21時(年末・年始は除く)
ホームページ:http://www.ocn.ne.jp/

ワープロ・表計算

❏ Microsoft(R) Office Personal Edition 2003（Service Pack 2含む）

マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号：東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：期間、回数の指定はありません。こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜、日曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動するときは
目的に合わせて、［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］から各ソフトウェアをクリックして起動します。

❏ Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003（Service Pack 2含む）

マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号：東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。本件について詳しくは、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：期間、回数の指定はありません。こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜、日曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional Enterprise 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動するときは
目的に合わせて、［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］から各ソフトウェアをクリックして起動します。

実用ツール

ロキシオ デジタルメディア エスイー
❏ Roxio DigitalMedia SE
ソニックサポートセンター
電話番号:(03)5232-6400
受付時間:10時〜12時、13時〜17時(土曜、日曜、祝祭日、年末年始を除く)
電子メール:下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ:http://www.sonicjapan.co.jp/support/

❏ 駅すぱあと
ユーザーサポートセンター
電話番号(テクニカル):(03)5373-3522
電話番号(バージョンアップ):(03)5373-3521
受付時間:月曜〜金曜:9時30分〜12時、13時〜17時
(祝日、年末年始、夏期休暇を除く)
ファックス番号:(03)5373-3523
電子メール:support@val.co.jp
ホームページ:http://ekiworld.net/

❏ デジタル全国地図
ゼンリンお客様相談室
電子メール:itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ:http://www.its-mo.net/

エイチディ バックアップ
❏ HD革命/BackUp(バンドル版)
株式会社アーク情報システム　サポート係
電話番号:(03)3234-9251
受付時間:月曜〜金曜:10時〜12時、13時〜17時(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号:(03)3234-9252
電子メール:kakumei@ark-info-sys.co.jp
ホームページ:http://www1.ark-info-sys.co.jp/

アドビ リーダー
❏ Adobe(R) Reader(R)
Adobe Reader(無償配布ソフトウェア)に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムAdobe(R) Expert Support(アドビエキスパートサポート)または、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ:http://www.adobe.com/jp/support/

アトラス エルイー
❏ ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE
ATLASサポートセンター
電話番号:(03)5462-1934
受付時間:月曜〜金曜:9時〜12時、13時〜17時(祝日を除く)
ファックス番号:(03)5462-2344
電子メール:atlas-qa@css.fujitsu.com
ホームページ:http://software.fujitsu.com/jp/atlas/

ノートン インターネット セキュリティ
❏ Norton Internet Security(TM) 2006
SONYユーザ様用サービスページ(ユーザ登録・サポート登録・更新方法)
ホームページ:http://www.symantec.co.jp/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

❏ 超五感プレゼン -180
ソースネクスト株式会社
電子メール:
http://www.sourcenext.com/support/customer.html
ホームページ:http://www.sourcenext.com/support/

マイクロソフト オフィス パワーポイント ビューワー
❏ Microsoft Office PowerPoint Viewer 2003
本ソフトウェアに関するお問い合わせは一切お受けしておりません。

❏ 一太郎ビューア
一太郎ビューアのサポートサービスは行っておりません。一太郎ビューアの最新情報につきましては、下記URLをご確認ください。
ホームページ:https://www.ichitaro.com/viewer/download.html

❏ 携帯万能 体験版
トリスター　サポートセンター
電話番号:(03)5326-3650
受付時間:10時〜22時
ファックス番号:(03)5326-3651
電子メール:support-tri@nihon-e.co.jp
ホームページ:http://www.ssitristar.com/oem/vaio/

プラスファイブ
❏ 大富豪 Plus5 体験版
株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号:(03)5283-3625
受付時間:月曜〜金曜:13時〜18時(祝日を除く)
ファックス番号:(03)5283-3665
電子メール:support@unbalance.co.jp
ホームページ:http://www.unbalance.co.jp/

エーアイ フォー ウィンドウズ
❏ AI 囲碁 for Windows 体験版
株式会社アイフォー
電話番号:(03)5339-9300
受付時間:月曜〜金曜:10時〜12時、13時〜17時(年末年始、夏期休暇、祝日を除く)
ファックス番号:(03)5339-9410

エーアイ フォー ウィンドウズ
❏ AI 将棋 for Windows 体験版
株式会社アイフォー
電話番号:(03)5339-9300
受付時間:月曜〜金曜:10時〜12時、13時〜17時(年末年始、夏期休暇、祝日を除く)
ファックス番号:(03)5339-9410

❑ AI 麻雀 for Windows 体験版

株式会社アイフォー
電話番号：(03)5339-9300
受付時間：月曜〜金曜：10時〜12時、13時〜17時（年末年始、夏期休暇、祝日を除く）
ファックス番号：(03)5339-9410

❑ AQUAZONE ビジュアル・エディション 水中庭園 トライアル版

ユーザーサポートセンター
電話番号：(03)5339-3610
受付時間：月曜〜金曜：10時〜17時（年末年始、祝日を除く）
電子メール：support@e-frontier.co.jp
ホームページ：http://www.aztv.gr.jp/

❑ タイピング競馬 体験版

株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：(03)5283-3625
受付時間：月曜〜金曜：13時〜18時（祝日を除く）
ファックス番号：(03)5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ サンリオ タイニーパーク・ランチャー＋ハローキティのいろとかたち

株式会社サンリオ　コンテンツ事業部
電話番号：(03)3779-8097
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜18時（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：(03)3779-8098
電子メール：
contents-support@mailnews.sanrio.co.jp

❑ ドラネットキッズ入学準備体験版

小学館　ドラネット事務局
電話番号：(0120)745-330
受付時間：火曜〜金曜：10時〜19時 土曜：10時〜18時（日曜、月曜、祝日は休み）
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ ドラネット小学一年生体験版

小学館　ドラネット事務局
電話番号：(0120)745-330
受付時間：火曜〜金曜：10時〜19時 土曜：10時〜18時（日曜、月曜、祝日は休み）
電子メール：info@doranet.ne.jp
ホームページ：http://www.doranet.ne.jp/

❑ ホームページ・ビルダー 体験版

ダイヤルＩＢＭ（製品のご購入相談のみ）
電話番号：(0120)04-1992
受付時間：月曜〜金曜：9時〜18時（年末年始、祝日を除く）
ホームページ：
http://www.ibm.com/jp/software/internet/hpb/　（製品ホームページ）
http://www.ibm.com/jp/software/esupport/　（製品の技術的なFAQのページ）

❑ 新世紀ビジュアル大辞典 体験版

株式会社学習研究社　「学研電子辞典」係
電子メール：taiken-dc@gakken.co.jp

❑ えいご漬け 改訂版（体験版）

プラト株式会社
電話番号：(03)3456-3803
受付時間：月曜〜金曜 ：10時〜19時（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：(03)3456-3804
電子メール：support@plato-web.com
ホームページ：http://www.plato-web.com/

❑ 筆ぐるめ

富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター
電話番号：(03)5600-2551
受付時間：9時30分〜12時、13時〜17時（土曜、日曜、祝日、および富士ソフトABC株式会社休業日を除く）
ファックス番号：(03)3634-1322
電子メール：users@fsi.co.jp
ホームページ：http://www.fsi.co.jp/fgw/

❑ 時事通信社「家庭の医学」デジタル版II

時事通信出版局 デジタルコンテンツグループ
電話番号：(03)3591-8690
受付時間：月曜〜金曜：10時〜17時
（年末年始、祝日を除く）
ホームページ：http://book.jiji.com/igaku/index2.htm

❑ わが家の家計簿 フェリカ対応版

株式会社夢工房　わが家シリーズサポートセンター
電話番号：(078)291-7126
受付時間：9時〜12時、13時〜17時（土曜、日曜、祝日を除く）
ファックス番号：(078)291-7127
24時間受付（ご質問に対する回答は上記受付時間内）
電子メール：wagaya@yumekobo.jp
ホームページ：http://www.megasoft.co.jp/

FeliCa関連アプリケーション

❑ かざそうFeliCa(フェリカ)
VAIOカスタマーリンク

❑ Edy Viewer(エディ ビューワー)
Edy救急ダイヤル
電話番号:
(0570)081-999
(0570)085-001(ナビダイヤル)
受付時間:9時30分〜21時
ホームページ:http://www.edy.jp/

❑ SFCard Viewer(エスエフカード ビューア)
ジャストシステム　サポートセンター
電話番号:
東京:(03)5412-3980/大阪:(06)6886-7160
受付時間:月曜〜金曜:10時〜19時、土曜、日曜、祝日:10時〜17時(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)
ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

❑ スクリーンセーバーロック
ジャストシステム　サポートセンター
電話番号:
東京:(03)5412-3980/大阪:(06)6886-7160
受付時間:月曜〜金曜:10時〜19時、土曜、日曜、祝日:10時〜17時(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)
ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

❑ かんたん登録
ジャストシステム　サポートセンター
電話番号:
東京:(03)5412-3980/大阪:(06)6886-7160
受付時間:月曜〜金曜:10時〜19時、土曜、日曜、祝日:10時〜17時(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)
ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

❑ FeliCa(フェリカ)ブラウザエクステンション
ジャストシステム　サポートセンター
電話番号:
東京:(03)5412-3980/大阪:(06)6886-7160
受付時間:月曜〜金曜:10時〜19時、土曜、日曜、祝日:10時〜17時(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)
ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

❑ かざしてログオン
VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for(フォー) VAIO(バイオ)
VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター
ジャストシステム　サポートセンター
電話番号:
東京:(03)5412-3980/大阪:(06)6886-7160
受付時間:月曜〜金曜:10時〜19時、土曜、日曜、祝日:10時〜17時(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)
ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ VAIO(バイオ)ナビ
VAIOカスタマーリンク

❑ LifeFLOW(ライフフロー)
VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO(バイオ) Action(アクション) Setup(セットアップ)
VAIOカスタマーリンク

❑ メモリースティックフォーマッタ
ソニー株式会社　テクニカルインフォメーションセンター
ホームページ:
http://www.sony.net/memorystick/support/

❑ バイオの設定
VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ **バイオ電子マニュアル**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO ハードウェア診断ツール**

VAIOカスタマーリンク

❑ **できるWindows XP for VAIO**

インプレスカスタマーセンター
電話番号：(03)5213-9295

❑ **VAIOリカバリユーティリティ**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO Update**

VAIOカスタマーリンク

その他

❑ **Java(TM) Software**

サン・マイクロシステムズ株式会社
ホームページ：http://www.java.com/ja/

❑ **VAIOオンラインカスタマー登録**

ソニーマーケティング株式会社
カスタマー専用デスク
電話番号：(0466)38-1410
受付時間：月曜～金曜：10時～18時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

注意事項

使用上の ご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。

「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。

まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりが多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近くに置かないでください。故障の原因となることがあります。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006％未満です）。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク（アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置）が内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買い上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。
- ハードディスクの増設に対応したモデルをお使いの場合には、増設用のハードディスクドライブベイに増設したハードディスクのみ取りはずすことができます。

ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

Do VAIOについて（アナログテレビチューナー搭載モデル）

本機へアナログ入力するときのご注意

Do VAIOのテレビ録画機能を使って、本機のアナログ入力コネクタから動画を取り込むとき、動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

ケーブルテレビを受信するときのご注意

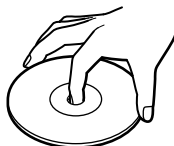
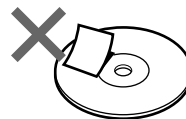
ケーブルテレビの受信はケーブルテレビの放送（サービス）が行われている地域のみで可能です。ケーブルテレビを受信する場合は、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要になります。詳しくは、各地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

システムの復元をご使用になるときのご注意

システムの復元を使って復元ポイントに戻すと、レジストリの情報が復元前の状態に戻ります。その場合、Do VAIOの設定が失われることがあります。

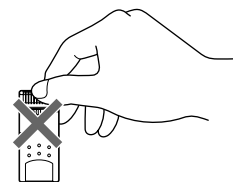
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- メモリースティック デュオ アダプターは、“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力がかからないようご注意ください。
- 挿入するときは、“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”本体を破損するおそれがあります。
- “メモリースティック”と“メモリースティック デュオ”は同時に差し込まないでください。本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”本体が破損するおそれがあります。

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

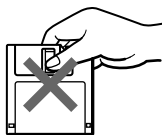
“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめフォーマット（初期化）してからご使用ください。

機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所

ExpressCard モジュールの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でExpressCard モジュールの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ExpressCard モジュール内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ExpressCard モジュールを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- ExpressCard スロットからはみ出すExpressCard モジュールを挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にExpressCard モジュールに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュール部分を持って本機を持ち上げるなど、ExpressCard モジュールに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。

－ ExpressCardモジュールを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。ExpressCardモジュールに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- IEEE802.11a準拠のワイヤレスLAN機能とIEEE802.11b/g準拠のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- 緊急でワイヤレスLAN機能を停止させる必要がある場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「インターネット／ネットワーク」の[ワイヤレスLAN]→[ワイヤレスLANの通信を終了する]の順にクリックする。）

ACアダプタについてのご注意

- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。

ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作の保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

8cmディスクを使用するときのご注意

8cmディスクをお使いになるときは

本機で8cmディスクを使うときは、必ず8cmディスクを付属の8cmディスクアダプターに取り付けてから、本機のドライブに入れてください。

8cmディスクアダプターの装着方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[映像]→[ディスクを入れる／取り出す]の順にクリックする。）

！ご注意

- アダプターを装着しないで使用したり、正しく装着されていない状態で使用すると、8cmディスクが認識されなかったり、取り出せなくなったり、ディスクの破損、または本機の故障の原因になることがあります。
- ディスクに指紋等の汚れが付いたときは、やわらかい布などでディスクの中心から外へ向かって放射状に軽くふき取ってからご使用ください。
- このアダプターは本機のみで使用できます。
- 使用できるのは8cmディスクのみです。
- ディスクの種類によっては使用できない場合があります。
- 8cmディスクの書き込みには対応していません。

- お使いにならないときは、ディスクをアダプターからはずしてください。ディスクをアダプターに取り付けたまま長時間放置すると、ディスクが変形する場合があります。

CD再生／録音についてのご注意

- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- 高速読み書き対応のドライブを搭載しているため、ディスクの状態によっては回転音が気になる場合がありますが、機能に問題はありません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、この音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証できません。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は、録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）についてのご注意

- カメラのレンズ前面のプレートに触らないでください。
- プレートが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- i S400（i.LINK）コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を撮影するときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）から撮影することはできません。

お手入れ

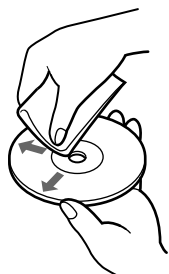
本機／マウスのお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

キーボードのお手入れ

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

！ご注意

- お手入れをするときは必ず乾電池を抜いてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。

汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（いずれも有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、VAIOホームページ内「サポート」ページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）の「セキュリティについて」より「ハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご覧ください。

主な仕様

シリーズ			type L［19型］
モデル			VGC-LA71DB
OS			Microsoft® Windows® XP Home Edition（Service Pack 2）
プロセッサー*1 *2	名称		インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T5600（拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー）
	動作周波数		1.83 GHz
	キャッシュメモリー	1次	64KB
		2次	2MB
	システムバス		667MHz
チップセット			インテル® 945PM Express チップセット
メインメモリー	標準/最大		1GB（512MB × 2）/2 GB*3 （ビデオメモリー共有）デュアルチャンネル転送対応*4
	メモリーバス		DDR2 SDRAM、DDR2 533対応（533MHz動作）
	スロット数（空き）		SO-DIMMスロット × 2（0）
表示機能	グラフィックアクセラレーター		NVIDIA® GeForce® Go 7400 with NVIDIA® TurboCache™*5
	ビデオメモリー		最大256MB（メインメモリー共有）*6
	液晶表示装置 （本体/専用ディスプレイ）		19型ワイドTFTカラー液晶［クリアブラック液晶］ （ピュアカラー）（ARコート） 最大傾斜角度 +25度〜+10度（垂直からの可動範囲）
	表示モード 本体/専用ディスプレイ		最大約1619万色（1680 × 1050, 1280 × 1024, 1280 × 800, 1280 × 768, 1024 × 768, 800 × 600）
テレビ機能	デジタルチューナー		地上デジタルチューナー × 1
記憶装置	ハードディスクドライブ*7		約300GB（Serial ATA/300,7200回転/分）（HDDリカバリー領域最大約8GB（出荷時）/C：約50GB/D：残り）
	記録時間*8	デジタル放送	地上デジタル放送 約23.5時間/デジタル標準画質放送 約45.5時間
		DV映像	約17時間
		HDV映像	約19時間
	BD/DVD/CDドライブ*9 *10	ドライブ	DVDスーパーマルチドライブ（DVD ± R 2層記録対応）*11
		最大読みだし速度	DVD：約8倍速（DVD-ROMの場合）、CD：約24倍速（CD-ROMの場合）
		最大書きこみ速度	DVD+R：約2.4倍速（2層）、約8倍速（1層）*12 DVD+RW：約4倍速 DVD-R：約2倍速（2層）、約8倍速（1層）*13 *14 DVD-RW：約4倍速*15 DVD-RAM：約5倍速*16 CD-R：約24倍速 CD-RW：約16倍速
主な外部接続端子	本体	USB	Hi-Speed USB（USB 2.0）× 4
		i.LINK（IEEE1394）	4ピン（S400）× 1
		ネットワーク（LAN）	100BASE-TX/10BASE-T × 1
		オーディオ入力	ステレオ、ミニジャック × 1
		ヘッドホン出力	ステレオ、ミニジャック × 1
		マイク入力	ステレオ、ミニジャック × 1
		TVアンテナ入力/B-CASカードスロット	地上デジタルアンテナ入力（F型同軸）端子 × 1、B-CASカードスロット × 1
		モデム用モジュラージャック*17	LINE × 1（最大56kbps*18（V.92およびV.90対応）/ 最大14.4kbps（FAX時））
		その他	DC IN（電源供給）× 1
ワイヤレス通信			ワイヤレスLAN（内蔵）（IEEE802.11b/g準拠、WPA2対応、Wi-Fi適合）*19 *20 *21
FeliCaポート（非接触ICカードリーダー/ライター）			搭載（キーボードに内蔵）
メモリースティックスロット*22			メモリースティック（標準/Duoサイズ対応、メモリースティックPRO対応、高速データ転送対応、マジックゲート対応）× 1
その他対応メモリーカードスロット			SDメモリーカード*23 *24/マルチメディアカード（MMC）× 1
PCカードスロット			ExpressCard/54 × 1 （ExpressCard/34としても使用可）、 Type II × 1
オーディオ機能			DSD対応高音質サウンドチップ「Sound Reality™」 （インテル® High Definition Audio準拠）、内蔵モノラルマイク
スピーカー/アンプ			ステレオ：最大3W＋3W（JEITA）
内蔵カメラ			Webカメラ《MOTION EYE》 （有効画素数31万画素）
キーボード/マウス/ポインティングデバイス			FeliCaポート付きワイヤレスキーボード（デジタル無線方式） ワイヤレススクロール機能付き光学マウス（デジタル無線方式）
主な付属品			取扱説明書、ACアダプター、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス VAIOマルチリモコン RM-DTU2M テレビアンテナ接続ケーブル（3m）× 1 8㎝ディスクアダプター　VGP-VDA1 B-CASカード Microsoft® Office Personal Edition 2003 プリインストールパッケージ
電源			ACアダプター 入力：AC100V-240V　1.6A-0.7A 50-60Hz（付属の電源コードはAC100V用） 出力：DC19.5V 6.2A

シリーズ		type L［19型］
モデル		VGC-LA71DB
消費電力	通常時	76W
	スタンバイ時	2.2W
温湿度条件		動作時5～35℃、20～80%（ただし結露しないこと、および35℃における湿度は65%以下） 保存時－20～60℃、結露しないこと
外形寸法		本体最小傾斜時：約 幅532mm×高さ357mm×奥行189mm 本体最大傾斜時：約 幅532mm×高さ327.9mm×奥行229.5mm キーボード：約 幅388mm×高さ31.3mm×奥行159mm
質量		約6.8kg（本体）/約0.93kg（キーボード（電池含まず））
対応増設メモリーモジュール（別売）		VGP-MM512M VGP-MM1GA

*1 プロセッサーの処理能力は、使用状況により変化します。

*2 VAIOは、インテル®バーチャライゼーション・テクノロジーには対応しておりません。

*3 メモリーを最大に増設するには出荷時に装着済のメモリーモジュールを取り外す必要があります。

*4 シングルチャンネル（2枚1組でない）転送はパフォーマンスが不足する場合があります。デュアルチャンネル（2枚1組）転送でお使いください。

*5 NVIDIA TurboCacheテクノロジーは、ビデオメモリーの容量、帯域幅に応じてシステムメモリーをダイナミックに活用し、最適なシステムパフォーマンスを実現します。

*6 使用状況により自動的にメモリーサイズが変更されます。

*7 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。ファイルシステムはNTFSです。

*8 記録可能な映像の時間は、映像の内容や使用状況によって多少前後することがあります。

*9 本機のドライブは8cmディスクの書きこみには対応しておりません。

*10 使用するディスクによっては一部の記録/再生に対応していない場合があります。

*11 本機のドライブは8cmディスクには対応しておりません。付属の8cmディスクアダプターで読みだしにのみ対応します。

*12 DVD+R DL（Double Layer）の書きこみは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクでのみ可能です。

*13 DVD-R DL（Dual Layer）の書きこみは、「Dual Layer DVD-R」に対応したDVD-Rディスクのみ可能です。

*14 DVD-Rは、「DVD-R for General Version 2.0/2.1」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。

*15 DVD-RWは「DVD-RW Ver.1.1/1.2」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。

*16 DVD-RAM Ver.1（片面2.6GB）の書きこみには対応しておりません。DVD-RAM Ver. 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*17 一般電話回線のみに対応しています。交換機（PBXやホームテレホンなど）を経由する回線には対応しておりません。

*18 56kbpsはデータ受信時の理想値です。データ送信時は規格上33.6kbpsが最大速度になります。

*19 通信速度（IEEE802.11b：規格値 11Mbps、IEEE802.11a/g：規格値54Mbps）は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況により通信が切断される場合があります。通信速度の規格値は、無線規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*20 IEEE802.11gは、IEEE802.11bとの混在環境では相互に干渉の恐れがあり、通信速度が低下する場合があります。

*21 IEEE802.11b/gについては、1～13チャンネルに対応。

*22 機器により使用できるメモリースティックの容量に制限があります。
使用する機器の取扱説明書、あるいはソニードライブの「メモリースティック対応表 www.sony.co.jp/mstaiou」をご確認ください。

*23 SDメモリーカードの著作権保護機能には対応しておりません。

*24 SDHCメモリーカードには対応しておりません。

シリーズ			type L［19型］	type L［19型］	type L［19型］
モデル			VGC-LA71B	VGC-LA51B	VGC-LA51
OS			Microsoft® Windows® XP Home Edition（Service Pack 2）		
プロセッサー*1 *2	名称		インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T5500（拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー）	インテル® Celeron® M プロセッサー 430	
	動作周波数		1.66 GHz	1.73 GHz	
	キャッシュメモリー	1次	64KB		
		2次	2MB	1MB	
	システムバス		667MHz	533MHz	
チップセット			インテル® 945GM Expressチップセット		
メインメモリー	標準/最大		1GB（512MB × 2）/2 GB*3 （ビデオメモリー共有）デュアルチャンネル転送対応*5	512MB（512MB × 1）/2 GB*3 *4 （ビデオメモリー共有）	
	メモリーバス		DDR2 SDRAM、DDR2 533対応（533MHz動作）	DDR2 SDRAM、DDR2 533対応（533MHz動作）	
	スロット数（空き）		SO-DIMMスロット × 2（0）	SO-DIMMスロット × 2（1）	
表示機能	グラフィックアクセラレーター		インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレーター 950 （チップセットに内蔵）		
	ビデオメモリー		最大128MB（メインメモリー共有）*6		
	液晶表示装置 （本体/専用ディスプレイ）		19型ワイドTFTカラー液晶［クリアブラック液晶］ （ピュアカラー）（ARコート） 最大傾斜角度 +25度～+10度（垂直からの可動範囲）		
	表示モード 本体/専用ディスプレイ		最大約1619万色（1680 × 1050, 1280 × 1024, 1280 × 800, 1280 × 768, 1024 × 768, 800 × 600）		
テレビ機能	アナログチューナー		地上アナログチューナー × 1		
記憶装置	ハードディスクドライブ*7		約250GB（Serial ATA/150,7200回転/分）（HDDリカバリー領域最大約8GB（出荷時）/C：約50GB/D：残り）		
	記録時間*8	MPEG映像	高画質 約51時間/標準 約99.5時間/長時間 約154.5時間		
		DV映像	約13.5時間		
		HDV映像	約15時間	－	
	BD/DVD/CDドライブ*9 *10	ドライブ	DVDスーパーマルチドライブ（DVD ± R 2層記録対応）*11		
		最大読みだし速度	DVD：約8倍速（DVD-ROMの場合）、CD：約24倍速（CD-ROMの場合）		
		最大書きこみ速度	DVD+R：約2.4倍速（2層）、約8倍速（1層）*12 DVD+RW：約4倍速 DVD-R：約2倍速（2層）、約8倍速（1層）*13 *14 DVD-RW：約4倍速*15 DVD-RAM：約5倍速*16 CD-R：約24倍速 CD-RW：約16倍速		
主な外部接続端子	本体	USB	Hi-Speed USB（USB 2.0）× 4		
		i.LINK（IEEE1394）	4ピン（S400）× 1		
		ネットワーク（LAN）	100BASE-TX/10BASE-T × 1		
		ビデオ入力*17	ビデオ × 1、Sビデオ × 1		
		オーディオ入力	ステレオ、ピンジャック × 1（ビデオ入力用） ステレオ、ミニジャック × 1（PCオーディオ用）		
		ヘッドホン出力	ステレオ、ミニジャック × 1		
		マイク入力	ステレオ、ミニジャック × 1		
		TVアンテナ入力	地上アナログアンテナ入力（F型同軸）端子 × 1		
		モデム用モジュラージャック*18	LINE × 1（最大56kbps*19（V.92およびV.90対応）/ 最大14.4kbps（FAX時））		
		その他	DC IN（電源供給）× 1		
ワイヤレス通信			ワイヤレスLAN（内蔵）（IEEE802.11b/g準拠、WPA2対応、Wi-Fi適合）*20 *21 *22		
FeliCaポート（非接触ICカードリーダー/ライター）			搭載（キーボードに内蔵）		
メモリースティックスロット*23			メモリースティック（標準/Duoサイズ対応、メモリースティックPRO対応、高速データ転送対応、マジックゲート対応）× 1		
その他対応メモリーカードスロット			SDメモリーカード*24 *25/マルチメディアカード（MMC）× 1		
PCカードスロット			ExpressCard/54 × 1 （ExpressCard/34としても使用可）、 Type II × 1		
オーディオ機能			DSD対応高音質サウンドチップ「Sound Reality™」 （インテル® High Definition Audio準拠）、内蔵モノラルマイク		
スピーカー/アンプ			ステレオ：最大3W + 3W（JEITA）		
内蔵カメラ			Webカメラ《MOTION EYE》 （有効画素数31万画素）		
キーボード/マウス/ポインティングデバイス			FeliCaポート付きワイヤレスキーボード（デジタル無線方式） ワイヤレススクロール機能付き光学マウス（デジタル無線方式）		
主な付属品			取扱説明書、ACアダプター、ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス VAIOマルチリモコン RM-VC10 テレビアンテナ接続ケーブル（3m）× 1 8㎝ディスクアダプター　VGP-VDA1 Microsoft® Office Personal Edition 2003 プリインストールパッケージ（VGC-LA71B・LA51Bのみ）		
電源			ACアダプター 入力：AC100V-240V　1.6A-0.7A 50-60Hz（付属の電源コードはAC100V用） 出力：DC19.5V 6.2A		
消費電力	通常時		72W	60W	
	スタンバイ時		2.2W		
温湿度条件			動作時5～35℃、20～80%（ただし結露しないこと、および35℃における湿度は65%以下） 保存時－20～60℃、結露しないこと		

シリーズ	type L［19型］	type L［19型］	type L［19型］
モデル	VGC-LA71B	VGC-LA51B	VGC-LA51
外形寸法	本体最小傾斜時：約 幅532mm×高さ357mm×奥行189mm 本体最大傾斜時：約 幅532mm×高さ327.9mm×奥行229.5mm キーボード：約 幅388mm×高さ31.3mm×奥行159mm		
質量	約6.8kg（本体）/約0.93kg（キーボード（電池含まず））		
対応増設メモリーモジュール（別売）	VGP-MM512M VGP-MM1GA		

*1 プロセッサーの処理能力は、使用状況により変化します。
*2 VAIOは、インテル®バーチャライゼーション・テクノロジーには対応しておりません。
*3 メモリーを最大に増設するには出荷時に装着済のメモリーモジュールを取り外す必要があります。
*4 増設する際は、同じ容量のメモリモジュールを2枚1組で装着するとデュアルチャンネル転送モードになり、パフォーマンスが向上します。
*5 シングルチャンネル（2枚1組でない）転送はパフォーマンスが不足する場合があります。デュアルチャンネル（2枚1組）転送でお使いください。
*6 使用状況により自動的にメモリーサイズが変更されます。
*7 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。ファイルシステムはNTFSです。
*8 記録可能な映像の時間は、映像の内容や使用状況によって多少前後することがあります。
*9 本機のドライブは8cmディスクの書きこみには対応しておりません。
*10 使用するディスクによっては一部の記録/再生に対応していない場合があります。
*11 本機のドライブは8cmディスクには対応しておりません。付属の8cmディスクアダプターで読みだしにのみ対応します。
*12 DVD+R DL（Double Layer）の書きこみは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクでのみ可能です。
*13 DVD-R DL（Dual Layer）の書きこみは、「Dual Layer DVD-R」に対応したDVD-Rディスクのみ可能です。
*14 DVD-Rは、「DVD-R for General Version 2.0/2.1」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。
*15 DVD-RWは「DVD-RW Ver.1.1/1.2」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。
*16 DVD-RAM Ver.1（片面2.6GB）の書きこみには対応しておりません。DVD-RAM Ver. 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*17 ビデオ入力または出力を行うには、AVケーブルVMC-20FR（別売）などをご利用ください。
*18 一般電話回線のみに対応しています。交換機（PBXやホームテレホンなど）を経由する回線には対応しておりません。
*19 56kbpsはデータ受信時の理想値です。データ送信時は規格上33.6kbpsが最大速度になります。
*20 通信速度（IEEE802.11b：規格値 11Mbps、IEEE802.11a/g：規格値54Mbps）は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況により通信が切断される場合があります。通信速度の規格値は、無線規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
*21 IEEE802.11gは、IEEE802.11bとの混在環境では相互に干渉の恐れがあり、通信速度が低下する場合があります。
*22 IEEE802.11b/gについては、1〜13チャンネルに対応。
*23 機器により使用できるメモリースティックの容量に制限があります。
使用する機器の取扱説明書、あるいはソニードライブの「メモリースティック対応表 www.sony.co.jp/mstaiou」をご確認ください。
*24 SDメモリーカードの著作権保護機能には対応しておりません。
*25 SDHCメモリーカードには対応しておりません。

テレビチューナー

■MPEGハードウェアエンコーダーボード

モデル	VGC-LA71B・LA51シリーズ
共通仕様	• ビデオキャプチャー機能（ビデオ入力→リアルタイム変換機能）、テレビ録画機能搭載、AV入力対応 • TVチューナー（VHF1〜12ch、UHF13〜62ch、CATV C13〜C38ch*1、ステレオ/2カ国語）*2 • 録画モード（選択可能）： 高画質モード（MPEG2 8Mbps 720×480 30fps）約17分/1GB 標準モード（MPEG2 4Mbps 720×480 30fps）約33分/1GB 長時間モード（MPEG2 2.5Mbps 352×480 30fps）約52分/1GB • 録音形式：MPEG1 Audio Layer2、256kbps、16bit、48KHz、ステレオ
（DNR）ノイズリダクション	○
三次元Y/C分離回路	○
タイムベースコレクター	○
アナログテレビチューナー	1チューナー

*1 CATVの受信はサービス(放送)の行われている地域のみ可能です。
CATVを受信するには、使用する機種ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
なお、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画はできません。
詳しくはその地域のCATV会社にお問い合わせ下さい。
*2 BS・CSなどの衛星放送および地上デジタル放送は、本機の内蔵チューナーでは受信できません。

■地上デジタルチューナー*1

モデル	VGC-LA71DB
共通仕様	• 地上デジタルテレビ放送受信機能 • デジタル放送録画機能（著作権保護機能） • 録画モード：地上デジタル放送（約21Mbps）約6分/1GB デジタル標準画質放送（約11Mbps）約12分/1GB

*1 地上デジタル放送のみに対応します。BS・110度CSデジタル放送には対応しておりません。

本機に付属されているソフトウェアを確認する

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。

表の見かた

○：　ご使用の機種に付属されています。

□：　ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。

ー：　ご使用の機種には付属されておりません。

	VGC-LA91S	VGC-LA71DB	VGC-LA71B	VGC-LA51B	VGC-LA51
AVエンターテインメント					
Do VAIO Ver.1.6	○	○	○	○	○
Do VAIOバックアップツール	○	○	○	○	○
Image Converter 2 Plus	○	○	○	○	○
VAIO インフォ TV	○／ー*	ー	○	○	○
StationTV Digital for VAIO	○／ー*	○	ー	ー	ー
ビデオ編集・再生					
DVgate Plus Ver.2.2	○	○	○	○	○
Adobe(R) Premiere(R) Elements(R) 2.0 日本語版	○／ー*	○	○	ー	ー
VAIO Edit Components Ver.6.0	○／ー*	○	○	ー	ー
Windows Media(R) Player 10	○	○	○	○	○
WinDVD for VAIO（6ch ドルビーバーチャルスピーカー/ドルビーヘッドホン対応）	○	○	○	○	○
DVD作成					
Click to DVD Ver.2.5	○	○	○	○	○
音楽					
SonicStage CP	○	○	○	○	○
SonicStage Mastering Studio Ver.2.2	○	○	○	○	○
静止画・写真					
PictureGear Studio Ver.2.0	○	○	○	○	○
Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R) 4.0 日本語版	□／ー*	□	□	ー	ー
ホームネットワーク					
VAIO Media Ver.5.0	○	○	○	○	○
VAIO Media Integrated Server Ver.5.0	○	○	○	○	○
コミュニケーション					
VAIO カメラユーティリティ	○	○	○	○	○
Yahoo!メッセンジャー	○	○	○	○	○
MSN(R) Messenger 7.5	○	○	○	○	○
Skype	○	○	○	○	○
ドットフォンパーソナルV（みんなでＴＶ電話スタータ）	○	○	○	○	○
インターネット・メール					
Microsoft(R) Outlook Express 6	○	○	○	○	○
Microsoft Internet Explorer 6 (R)	○	○	○	○	○
Yahoo!ツールバー	○	○	○	○	○
i-フィルター 4（体験版）	○	○	○	○	○
Liquid Surf for VAIO	○	○	○	○	○
ISP サインアップ					
So-net簡単スターター	○	○	○	○	○
OCNスタートパック for Windows	○	○	○	○	○
ワープロ・表計算					
Microsoft(R) Office Personal Edition 2003（Service Pack 2含む）	○／ー*	○	○	○	ー
Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003（Service Pack 2含む）	○／ー*	ー	ー	ー	ー
実用ツール					
Roxio DigitalMedia SE 7	○	○	○	○	○
駅すぱあと	○	○	○	○	○
デジタル全国地図	○	○	○	○	○
HD革命/BackUp（バンドル版）	○	○	○	○	○

	VGC-LA91S	VGC-LA71DB	VGC-LA71B	VGC-LA51B	VGC-LA51
Adobe(R) Reader(R) 7.0	○	○	○	○	○
ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE	○	○	○	○	○
Norton Internet Security(TM) 2006	○	○	○	○	○
超五感プレゼン-180	□	□	□	□	□
Microsoft Office PowerPoint Viewer 2003	○	○	○	○	○
一太郎ビューア 3.0	○	○	○	○	○
実用ツール（VAIOソフトウェアセレクション）					
携帯万能16 体験版	○	○	○	○	○
大富豪 Plus5 体験版	○	○	○	○	○
AI囲碁 Version 15 for Windows 体験版	○	○	○	○	○
AI将棋 Version 13 for Windows 体験版	○	○	○	○	○
AI麻雀 Version 9 for Windows 体験版	○	○	○	○	○
AQUAZONE ビジュアル・エディション 水中庭園 トライアル版	○	○	○	○	○
タイピング競馬 体験版	○	○	○	○	○
サンリオ タイニーパーク・ランチャー＋ハローキティのいろとかたち	○	○	○	○	○
ドラネットキッズ入学準備体験版	○	○	○	○	○
ドラネット小学一年生体験版	○	○	○	○	○
ホームページ・ビルダー V10 体験版	□	□	□	□	□
新世紀ビジュアル大辞典 体験版	○	○	○	○	○
えいご漬け 改訂版（体験版）	○	○	○	○	○
実用ツール（暮らし役立ちパック）					
筆ぐるめ Ver.13	○	○	○	○	○
時事通信社「家庭の医学」デジタル版II	○	○	○	○	○
わが家の家計簿 フェリカ対応版	○	○	○	○	○
FeliCa（フェリカ）					
かざそうFeliCa	○	○	○	○	○
Edy Viewer V2.0	○	○	○	○	○
SFCard Viewer	○	○	○	○	○
スクリーンセーバーロック2	○	○	○	○	○
かんたん登録2	○	○	○	○	○
FeliCaブラウザエクステンション	○	○	○	○	○
かざしてログオン	○	○	○	○	○
かざポン for VAIO	○	○	○	○	○
パーソナルシェルター	○	○	○	○	○
設定・ユーティリティ					
VAIOナビ	○	○	○	○	○
LifeFLOW	○	○	○	○	○
VAIO Action Setup Ver.2.5	○	○	○	○	○
メモリースティックフォーマッタ	○	○	○	○	○
バイオの設定 Ver.1.1	○	○	○	○	○
サポート・ヘルプ					
バイオ電子マニュアル	○	○	○	○	○
VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.2	○	○	○	○	○
できるWindows XP for VAIO	○	○	○	○	○
VAIO リカバリユーティリティ	○	○	○	○	○
VAIO Update Ver.2.1	○	○	○	○	○
その他					
Java(TM) Software	○	○	○	○	○
VAIOオンラインカスタマー登録	○	○	○	○	○

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能
○：再生のみ可能、記録不可
×：再生、記録不可

DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R／RW	◎
DVD-R／RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R／RW	◎
VIDEO CD	○

*1 DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。
*2 DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。
*3 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0／2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*4 DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1／1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*5 DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*6 DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。DVD-RAM Version 2.2／12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 付属の8cmディスクアダプターで読みだしにのみ対応します。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状ディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R／+RW・DVD-R／-RWディスクにはDVDビデオ形式、DVD-RW・DVD-RAMディスクにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- データ形式での追記は、付属の「DigitalMedia SE（デジタルメディア エスイー）」ソフトウェアにより可能です。なお、追記にて記録したデータは、他のDVDドライブでは読み出せない場合があります。

- DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RW／CD-R／CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWディスクは、DVD-RW6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWディスクは、DVD+RW8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW／DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
- CPRM対応のDVD-R／DVD-RW／DVD-RAMに、番組を直接録画することはできません。また、CPRM対応のDVD-Rへのムーブ（移動）には対応しておりません（CPRM:Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です）（デジタルテレビチューナー搭載モデル）。
- 録画したデジタル放送の番組はCPRM対応のDVD-RW／DVD-RAMに移動（ムーブ）することができます（デジタルテレビチューナー搭載モデル）。

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R／CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R DL／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- 録画したデジタル放送の番組を移動（ムーブ）したCPRM対応のDVD-RW／DVD-RAMは、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生することができます。また、DVD-RW（VRモード）再生対応のプレーヤーでも、CPRM対応のDVD-RWに移動（ムーブ）して記録したことのあるディスクは、再生できないなどの制限があります（デジタルテレビチューナー搭載モデル）。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやマウスを操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しない。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しない。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしない。

索引

🡆 バイオ電子マニュアル

が付いている項目に関連する情報は、本機にプレインストールされている「バイオ電子マニュアル」内に詳しい情報が記載されています。

「バイオ電子マニュアル」の起動方法

［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックします。

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）および“Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK、、MEMORY STICK、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、OpenMG、OpenMG はソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ" " "はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- Intel、Pentium、CeleronはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、Officeロゴ、Outlook、PowerPointおよびInfopathは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 DD はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- 「ボーダフォンライブ！」は、Vodafone Group Plcの登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Mutlichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford.Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、PhotoshopおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- (C)2001、2003 UNBALANCE Corporation
- AI囲碁は、株式会社アイフォーの登録商標です。
  (C) David Fotland 2006
  (C) i4 CORPORATION 2006
- AI将棋は、株式会社アイフォーの登録商標です。
  (C) HIROSHI YAMASHITA 2006
  (C) i4 CORPORATION 2006
- AI麻雀は、株式会社アイフォーの登録商標です。
  (C) i4 CORPORATION 2006
- (C)1976, 2005 SANRIO CO., LTD.（E）
- IBM、ホームページ・ビルダーはIBM Corporationの商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

困ったときにご覧ください。
状況に合った解決方法を提供しています。

テーマ別にバイオの楽しみかたを紹介

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

バイオで楽しむためのカスタマー専用情報を提供しています。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオならできること、バイオだからできることを紹介しています。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
(0466) 30-3000

受付時間
平日：10時～21時
土、日、祝日：10時～17時

初心者ダイヤル
(0466) 30-4141 ※2008年2月末日まで有効
初心者の方でもご理解いただきやすいよう、専任のオペレータがわかりやすい言葉で親身になって対応する窓口です。（カスタマー登録でご登録いただいている電話番号の発信者番号通知を有効に設定された状態でダイヤルしていただくと、直接オペレータにつながります。）

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
(0466) 38-1410

受付時間
平日：10時～18時
（年末年始は除く）

有償サービス

VAIOホームページでは、登録カスタマーのみなさまにさまざまな有償サービスをご提供しています。

■VAIOメール
http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/
プロバイダに左右されない「@xxx.vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。

■VAIOソフトウェアセレクション
http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/
クリエイティブ系や実用ソフトなどをVAIOカスタマー優待価格でダウンロード販売します。

■VAIOカスタマイズサービス
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/
ご愛用のバイオのハードディスクやメモリをアップグレードします。
ノートブック型では英語キーボード交換サービスも行っています。

■VAIO延長保証サービス
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/
バイオ本体の保証期間を３年間に延長します。

■VAIO Overseas Service
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/
海外でバイオのサポートを電話で受けられるサービスです。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35
http://www.sony.co.jp/

2-890-103-**01** (1)